

基本計画書

基本計画書									
事項		記入欄							備考
計画の区分		大学の収容定員に係る学則変更							
設置者		カレッジ・ユニバーシティ 学校法人 西大和学園							
大学の名称		ヤマダ・イブ 大和大学							
大学本部の位置		大阪府吹田市片山町2丁目5番1号							
大学の目的		大和大学は、教育基本法及び学校教育法の定めるところに基づき、高い専門性と幅広い視野を授けるとともに、豊かな人間性を涵養し、一人ひとりの「ひと」を見つめ、学術文化の向上と社会の平和と発展に貢献する有能な人材を育成することを目的とする。							
新設学部等の目的		3年制課程の看護師養成施設を卒業あるいは卒業見込みの者を対象に、看護学分野に関する知識と技能とともに、保健医療の実践を担うことができる応用能力、医療人としての豊かな人間性を備えた人材育成を図るため、保健医療学部看護学科に4年次編入学定員を設定する。 また、理工系人材を求める社会からの要請、及び、文部科学省による「理工系人材育成戦略」「大学・高専機能強化支援事業」の趣旨に照らし、「広い教養と倫理観の上に政治、経済の各分野を広く俯瞰する視点を獲得し、さらに各分野における豊かな専門的知識・理論に裏打ちされた実学的・実践的視点を修得することで、学術文化の向上と社会の発展に貢献することができる人材」を養成する人材像に掲げる理工学部理工学科、及び「情報学を基軸とする情報科学、社会科学の文理融合の学びにより、多角的な視点で情報をとらえ、課題解決に意欲的に取り組み、社会の発展と豊かな暮らしの創造に貢献する人材」を養成する人材像に掲げる情報学部情報学科の収容定員を変更する。							
新設学部等の概要	新設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位	学位の分野	開設時期及び開設年次	所在地
	教育学部	年	人	年次人	人			年 月 第 年次	
	教育学科	4	190	3年次 5	770	学士（教育学）	教育学・保育学関係	平成26年4月 第1年次 平成26年4月 第3年次	大阪府吹田市片山町2丁目5番1号
	保健医療学部								
	看護学科	4	100	4年次 10 (0)	410 (400)	学士（看護学）	保健衛生学関係（看護学関係）	令和7年4月 第4年次	同上
	総合リハビリテーション学科	4	120	4年次 5 (理学療法専攻) 5 (作業療法専攻)	490	学士（保健医療学）	保健衛生学関係（リハビリテーション関係）	平成26年4月 第1年次 令和5年4月 第4年次	同上
	政治経済学部								
	政治・政策学科	4	60	—	240	学士（政治・政策学）	法学関係	平成28年4月 第1年次	同上
	経済経営学科	4	120	—	480	学士（経済経営学）	経済学関係	平成28年4月 第1年次	同上
	グローバルビジネス学科	4	80	—	320	学士（グローバルビジネス）	経済学関係	令和6年4月 第1年次	同上

	理工学部								
	理工学科	4	295 (230)	—	1180 (920)	学士（理 学）、学士 （工学）	理学関係、工学 関係	令和7年4 月 第1年次	同上
	社会学部								
	社会学科	4	200	—	800	学士（社会 学）	社会学・社会福 祉学関係	令和3年4 月 第1年次	同上
	情報学部								
	情報学科	4	250 (200)	—	1000 (800)	学士（情報 学）	工学関係、経済 学関係	令和7年4 月 第1年次	同上
	計		1,415 (1,300)	3年次 5 4年次 20 (10)	5,690 (5,220)				
同一設置者内における変更状況 （定員の移行、 名称の変更等）		該当なし							
教育 課程	新設学部等の名称	開設する授業科目の総数				卒業要件単位数			
		講義	演習	実験・実習	計				
		—科目	—科目	—科目	—科目	—単位			
学部等の名称		基幹教員					助手	基幹教員以外の 教員 （助手を除く）	
		教授	准教授	講師	助教	計			
新	教育学部 教育学科	22 (22)	6 (6)	0 (0)	0 (0)	28 (28)	人	人	大学設置基準別 表第一イに定め る基幹教員数の 四分の三の数 9 人
	a. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事 する者であって、主要授業科目を担当するもの	22 (22)	6 (6)	0 (0)	0 (0)	28 (28)			
	b. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事 する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当 するもの（aに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
	小計（a～b）	22 (22)	6 (6)	0 (0)	0 (0)	28 (28)			
	c. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事す る者であって、年間8単位以上の授業科目を担当す るもの（a又はbに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
	d. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事す る者以外の者又は当該大学の教育研究に従事し、か つ専ら当該大学の複数の学部等で教育研究に従事す る者であって、年間8単位以上の授業科目を担当 するもの（a、b又はcに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
	計（a～d）	22 (22)	6 (6)	0 (0)	0 (0)	28 (28)			
	保健医療学部 看護学科	7 (7)	2 (2)	7 (7)	2 (2)	18 (18)	人	人	大学設置基準別 表第一イに定め る基幹教員数の 四分の三の数 10 人
	a. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事 する者であって、主要授業科目を担当するもの	7 (7)	2 (2)	7 (7)	2 (2)	18 (18)			
	b. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事 する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当 するもの（aに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
	小計（a～b）	7 (7)	2 (2)	7 (7)	2 (2)	18 (18)			
	c. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事す る者であって、年間8単位以上の授業科目を担当す るもの（a又はbに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
	d. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事す る者以外の者又は当該大学の教育研究に従事し、か つ専ら当該大学の複数の学部等で教育研究に従事す る者であって、年間8単位以上の授業科目を担当 するもの（a、b又はcに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
	計（a～d）	7 (7)	2 (2)	7 (7)	2 (2)	18 (18)			

総合リハビリテーション学科		人	人	人	人	人	人	人
		8 (8)	4 (4)	4 (4)	1 (1)	17 (17)	0 (0)	7 (7)
	a. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって、主要授業科目を担当するもの	8 (8)	4 (4)	4 (4)	1 (1)	17 (17)		大学設置基準別表第一に定める基幹教員数の四分の三の数 12人
	b. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（aに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)		
	小計（a～b）	8 (8)	4 (4)	4 (4)	1 (1)	17 (17)		
	c. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（a又はbに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)		
	d. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事する者以外の者又は当該大学の教育研究に従事し、かつ専ら当該大学の複数の学部等で教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（a、b又はcに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)		
	計（a～d）	8 (8)	4 (4)	4 (4)	1 (1)	17 (17)		
政治経済学部 政治・政策学科		人	人	人	人	人	人	人
		8 (8)	3 (3)	1 (1)	0 (0)	12 (12)	0 (0)	10 (10)
	a. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって、主要授業科目を担当するもの	8 (8)	3 (3)	1 (1)	0 (0)	12 (12)		大学設置基準別表第一に定める基幹教員数の四分の三の数 9人
	b. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（aに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)		
	小計（a～b）	8 (8)	3 (3)	1 (1)	0 (0)	12 (12)		
	c. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（a又はbに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)		
	d. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事する者以外の者又は当該大学の教育研究に従事し、かつ専ら当該大学の複数の学部等で教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（a、b又はcに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)		
	計（a～d）	8 (8)	3 (3)	1 (1)	0 (0)	12 (12)		
経済経営学科		人	人	人	人	人	人	人
		6 (6)	4 (4)	0 (0)	1 (1)	11 (11)	0 (0)	8 (8)
	a. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって、主要授業科目を担当するもの	6 (6)	4 (4)	0 (0)	1 (1)	11 (11)		大学設置基準別表第一に定める基幹教員数の四分の三の数 8人
	b. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（aに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)		
	小計（a～b）	6 (6)	4 (4)	0 (0)	1 (1)	11 (11)		
	c. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（a又はbに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)		
	d. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事する者以外の者又は当該大学の教育研究に従事し、かつ専ら当該大学の複数の学部等で教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（a、b又はcに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)		
	計（a～d）	6 (6)	4 (4)	0 (0)	1 (1)	11 (11)		
グローバルビジネス学科		人	人	人	人	人	人	人
		4 (4)	2 (2)	2 (2)	0 (0)	8 (8)	0 (0)	17 (17)
	a. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって、主要授業科目を担当するもの	4 (4)	2 (2)	2 (2)	0 (0)	8 (8)		大学設置基準別表第一に定める基幹教員数の四分の三の数 6人
	b. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（aに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)		
	小計（a～b）	4 (4)	2 (2)	2 (2)	0 (0)	8 (8)		
	c. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（a又はbに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)		
	d. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事する者以外の者又は当該大学の教育研究に従事し、かつ専ら当該大学の複数の学部等で教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（a、b又はcに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)		
	計（a～d）	4 (4)	2 (2)	2 (2)	0 (0)	8 (8)		

分	理工学部 理工学科		人	人	人	人	人	人	人
			29 (29)	4 (4)	8 (8)	0 (0)	41 (41)	0 (0)	31 (31)
		a. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって、主要授業科目を担当するもの	29 (29)	4 (4)	8 (8)	0 (0)	41 (41)		
		b. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（aに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)		
		小計（a～b）	29 (29)	4 (4)	8 (8)	0 (0)	41 (41)		
		c. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（a又はbに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)		
		d. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事する者以外の者又は当該大学の教育研究に従事し、かつ専ら当該大学の複数の学部等で教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（a、b又はcに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)		
		計（a～d）	29 (29)	4 (4)	8 (8)	0 (0)	41 (41)		
	社会学部 社会学科		人	人	人	人	人	人	人
			12 (12)	11 (11)	0 (0)	0 (0)	23 (23)	0 (0)	26 (26)
		a. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって、主要授業科目を担当するもの	12 (12)	11 (11)	0 (0)	0 (0)	23 (23)		
		b. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（aに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)		
		小計（a～b）	12 (12)	11 (11)	0 (0)	0 (0)	23 (23)		
		c. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（a又はbに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)		
		d. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事する者以外の者又は当該大学の教育研究に従事し、かつ専ら当該大学の複数の学部等で教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（a、b又はcに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)		
		計（a～d）	12 (12)	11 (11)	0 (0)	0 (0)	23 (23)		
	情報学部 情報学科		人	人	人	人	人	人	人
			16 (16)	3 (3)	0 (0)	0 (0)	19 (19)	0 (0)	4 (4)
		a. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって、主要授業科目を担当するもの	16 (16)	3 (3)	0 (0)	0 (0)	19 (19)		
		b. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（aに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)		
		小計（a～b）	16 (16)	3 (3)	0 (0)	0 (0)	19 (19)		
		c. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（a又はbに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)		
		d. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事する者以外の者又は当該大学の教育研究に従事し、かつ専ら当該大学の複数の学部等で教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（a、b又はcに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)		
		計（a～d）	16 (16)	3 (3)	0 (0)	0 (0)	19 (19)		
	計		112 (112)	39 (39)	22 (22)	4 (4)	177 (177)	0 (0)	115 (115)
既設分	該当なし		— (—)	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)
		a. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって、主要授業科目を担当するもの	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)		
		b. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（aに該当する者を除く）	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)		
		小計（a～b）	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)		
		c. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（a又はbに該当する者を除く）	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)		
		d. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事する者以外の者又は当該大学の教育研究に従事し、かつ専ら当該大学の複数の学部等で教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（a、b又はcに該当する者を除く）	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)		
		計（a～d）	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)		
	計		— (—)	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)
	合 計		112 (112)	39 (39)	22 (22)	4 (4)	177 (177)	0 (0)	115 (115)

大学設置基準別表第一に定める基幹教員数の四分の三の数
15人

大学設置基準別表第一に定める基幹教員数の四分の三の数
11人

大学設置基準別表第一に定める基幹教員数の四分の三の数
13人

職 種				専 属		その他		計						
事 務 職 員				16 (16)		19 (19)		35 (35)						
技 術 職 員				5 (5)		0 (0)		5 (5)						
図 書 館 職 員				1 (1)		4 (4)		5 (5)						
そ の 他 の 職 員				0 (0)		0 (0)		0 (0)						
指 導 補 助 者				0 (0)		0 (0)		0 (0)						
計				22 (22)		23 (23)		45 (45)						
校 地 等	区 分		専 用		共 用		共用する他の 学校等の専用		計					
	校 舎 敷 地		52,080.33㎡		11,858.00㎡		63,005.43㎡		126,943.76㎡					
	そ の 他		4,246.88㎡		0㎡		6,436.15㎡		10,683.03㎡					
	合 計		56,327.21㎡		11,858.00㎡		69,441.58㎡		137,626.79㎡					
校 舎			専 用		共 用		共用する他の 学校等の専用		計					
			46,156.19㎡ (46,156.19㎡)		0㎡ (0㎡)		0㎡ (0㎡)		46,156.19㎡ (46,156.19㎡)					
教 室 ・ 教 員 研 究 室			教 室		180室		教 員 研 究 室		205室					
図 書 ・ 設 備	新設学部等の名称		図書 〔うち外国書〕		学術雑誌 〔うち外国書〕		機械・器具		標本					
			冊		種		点		点					
	大学全体		62,322 [5,337] (62,322 [5,337])		31 [0] (31 [0])		115 [8] (115 [8])		19 [15] (19 [15])		17,029 (17,029)		106 (106)	
	計		62,322 [5,337] (62,322 [5,337])		31 [0] (31 [0])		115 [8] (115 [8])		19 [15] (19 [15])		17,029 (17,029)		106 (106)	
スポーツ施設等			スポーツ施設			講堂			厚生補導施設					
			3,856.94㎡			0㎡			1,936.72㎡					
経費 の 見 積 り 及 び 維 持 方 法 の 概 要	経費の 見積り	区 分	開設前年度	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次					
		教員1人当り研究費等		300千円	300千円	300千円	300千円	－千円	－千円					
		共 同 研 究 費 等		3,000千円	3,000千円	3,000千円	3,000千円	－千円	－千円					
		図 書 購 入 費	1,033千円	1,033千円	1,033千円	1,033千円	1,033千円	－千円	－千円					
	学生1人当り 納付金	設 備 購 入 費	1,000千円	1,000千円	1,000千円	1,000千円	1,000千円	1,000千円	－千円	－千円				
		学部	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次						
		教育学部	1,350千円	1,230千円	1,230千円	1,230千円	－千円	－千円						
		保健医療学部	1,760千円	1,760千円	1,760千円	1,760千円	－千円	－千円						
		政治経済学部 グローバルビジネス学科	1,270千円	1,250千円	1,250千円	1,250千円	－千円	－千円						
		政治経済学部 グローバルビジネス学科以外	1,180千円	1,180千円	1,180千円	1,180千円	－千円	－千円						
		理工学部	1,640千円	1,570千円	1,570千円	1,570千円	－千円	－千円						
		社会学部	1,180千円	1,180千円	1,180千円	1,180千円	－千円	－千円						
	情報学部	1,360千円	1,260千円	1,260千円	1,260千円	－千円	－千円							
	学生納付金以外の維持方法の概要			私立学校等経常費補助金、資産運用収入、雑収入等										

西大和学園中
学・高等学校
(必要面積
18,120㎡)
白鳳短期大学
(必要面積7,100
㎡)
と共用

既設大学等の状況	大 学 等 の 名 称	大和大学							
	学 部 等 の 名 称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	収容定員充足率	開設年度	所 在 地
		年	人	年次人	人		倍		大阪府吹田市片山町2丁目5番1号
	教育学部						1.08		
	教育学科	4	190	3年次 ⁵ (初等幼児教育専攻のみ)	770	学士（教育学）	1.08	平成26年度	
	保健医療学部						1.07		
	看護学科	4	100	—	400	学士（看護学）	1.19	平成26年度	
	総合リハビリテーション学科	4	120	4年次 ⁵ (理学療法専攻) ⁵ (作業療法学専攻)	490	学士（保健医療学）	0.98	平成26年度 令和5年度 (第4年次)	
	政治経済学部						1.07		
	政治・政策学科	4	60	—	200	学士（政治・政策学）	1.08	平成28年度	令和5年度 入学定員増 (20人)
	経済経営学科	4	120	—	400	学士（経済経営学）	1.11	平成28年度	令和5年度 入学定員増 (40人)
	グローバルビジネス学科	4	80	—	80	学士（グローバルビジネス）	0.81	令和6年度	令和6年度 学科設置
	理工学部						1.06		
	理工学科	4	230	—	920	学士（理学）、学士（工学）	1.06	令和2年度	
	社会学部						1.08		
社会学科	4	200	—	800	学士（社会学）	1.08	令和3年度		
情報学部						1.09			
情報学科	4	200	—	400	学士（情報学）	1.09	令和5年度	令和5年度 学部設置	
既設大学等の状況	大 学 等 の 名 称	大和大学白鳳短期大学部							
	学 部 等 の 名 称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	収容定員充足率	開設年度	所 在 地
		年	人	年次人	人		倍		奈良県北葛城郡王寺町葛下1丁目7番17号
	総合人間学科（2年課程）						0.72		
	こども教育専攻	2	100	—	200	短期大学士（こども保育学）	0.72	平成14年度	
	総合人間学科（3年課程）						0.99		
	看護学専攻	3	100	—	300	短期大学士（看護学）	1.08	平成17年度	
	リハビリテーション学専攻								
	理学療法学課程	3	40	—	120	短期大学士（リハビリテーション学）	0.92	平成19年度	
作業療法学課程	3	30	—	90	短期大学士（リハビリテーション学）	0.82	平成28年度		
附属施設の概要		該当なし							

学校法人 西大和学園 設置認可等に関わる組織の移行表

令和6年度

令和7年度

	入学定員	編入学定員	収容定員	
大和大学				
教育学部				
教育学科	190	3年次 5	770	
保健医療学部				
看護学科	100	-	400	
総合リハビリテーション学科	120	4年次 10	490	
政治経済学部				
政治・政策学科	60	-	240	
経済経営学科	120	-	480	
グローバルビジネス学科	80	-	320	
理工学部				
理工学科	230	-	920	
社会学部				
社会学科	200	-	800	
情報学部				
情報学科	200	-	800	
計	1300	3年次 5 4年次 10	5220	
大和大学白鳳短期大学部				
総合人間学科				
こども教育専攻	100	-	200	
看護学専攻(3年制)	100	-	300	
リハビリテーション学専攻(3年制)				
理学療法学課程	40	-	120	
作業療法学課程	30	-	90	
計	270	-	710	

	入学定員	編入学定員	収容定員	変更の事由
大和大学				
教育学部				
教育学科	190	3年次 5	770	
保健医療学部				
看護学科	100	4年次 <u>10</u>	<u>410</u>	定員変更(10)
総合リハビリテーション学科	120	4年次 10	490	
政治経済学部				
政治・政策学科	60	-	240	
経済経営学科	120	-	480	
グローバルビジネス学科	80	-	320	
理工学部				
理工学科	<u>295</u>	-	<u>1180</u>	定員変更(65)
社会学部				
社会学科	200	-	800	
情報学部				
情報学科	<u>250</u>	-	<u>1000</u>	定員変更(50)
計	<u>1415</u>	3年次 5 4年次 <u>20</u>	<u>5690</u>	
大和大学白鳳短期大学部				
総合人間学科				
こども教育専攻	100	-	200	
看護学専攻(3年制)	100	-	300	
リハビリテーション学専攻(3年制)				
理学療法学課程	40	-	120	
作業療法学課程	30	-	90	
計	270	-	710	

1（書類等の題名）

- ① 都道府県内における位置関係図（1 ページ）
- ② 都道府県内における位置関係図（課外活動運動場／奈良県北葛城郡河合町）（2 ページ）
- ③ 最寄り駅からの距離・交通機関図（大学キャンパス／大阪府吹田市）（3 ページ）
- ④ 最寄り駅からの距離・交通機関図（課外活動運動場／奈良県北葛城郡河合町）（4 ページ）
- ⑤ 校舎・運動場等配置図（課外活動運動場／奈良県北葛城郡河合町）（6 ページ）

2（出典）

- ① MapFan Web（ｼﾞｵﾀｸﾉﾛｼﾞｰｽﾞ社提供の地図検索サイト）より
- ②③④⑥ Mapion(ONE COMPATH が提供の地図検索サイト)より

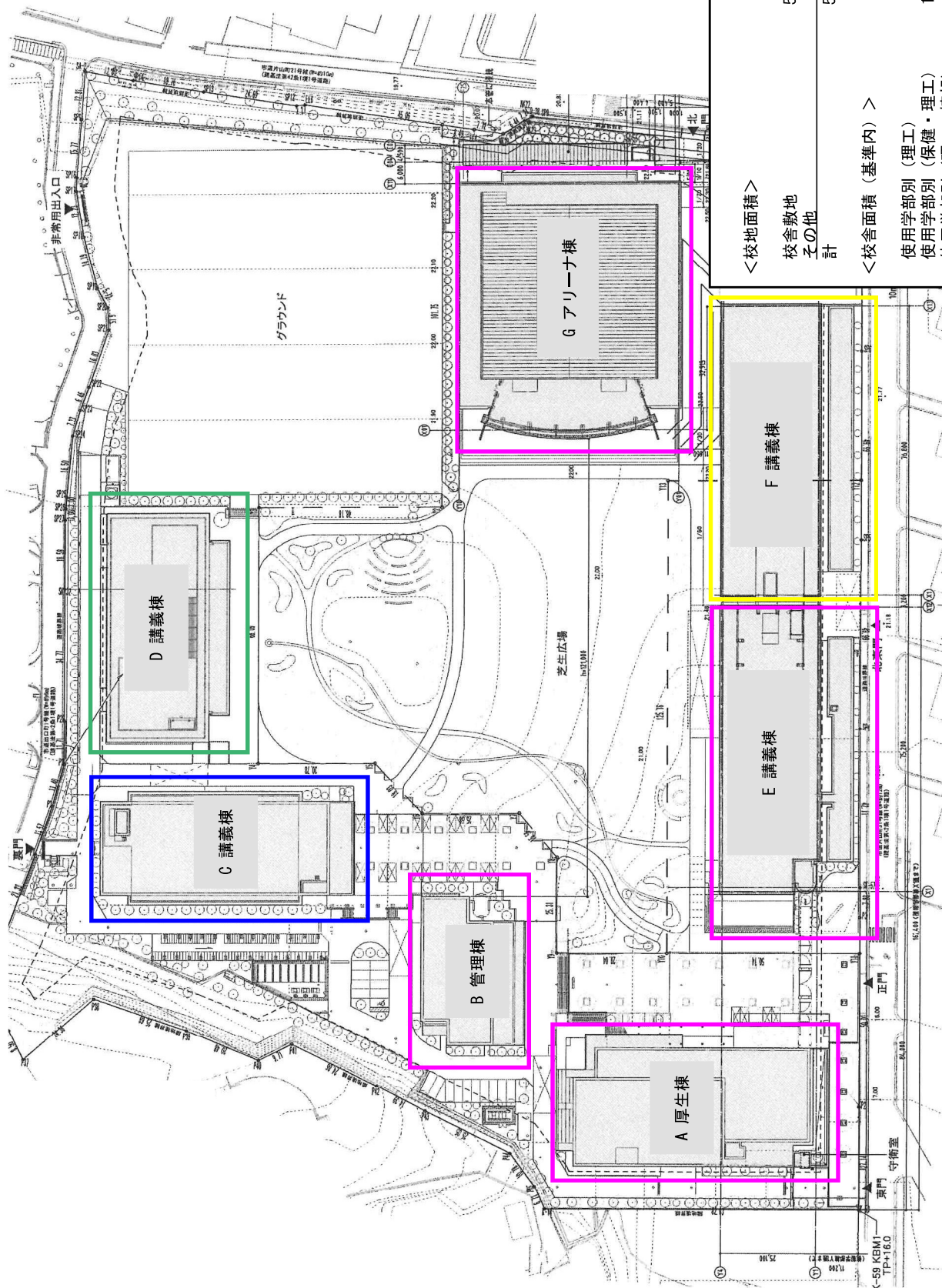
3（引用範囲）

- ① 大阪府の地図
<https://mapfan.com/pref/27>
- ② 奈良県の地図
<https://www.mapion.co.jp/map/admi29.html>
- ③ JR 吹田駅周辺の地図
<https://www.mapion.co.jp/m2/34.76416068176116,135.5247246665234,19/q=JR%E5%90%B9%E7%94%B0%E9%A7%85>
- ④ 王寺町の地図
<https://www.mapion.co.jp/m2/34.59470117,135.70658416,16>
- ⑥ 河合町薬井の地図
<https://www.mapion.co.jp/m2/34.58887187122334,135.7121157457266,17>

4（その他の説明）

- ①②⑤ 該当箇所を切り抜き使用した
- ③④ 最寄駅から本学等への導線に太線を引いた

3. 校舎・運動場等配置図（大学キャンパス / 大阪府吹田市）



<校地面積>

校舎敷地	52,080.33㎡
その他	4,246.88㎡
計	56,327.21㎡

<校舎面積（基準内）>

使用学部別（理工）	9,369.99㎡
使用学部別（保健・理工）	12,041.21㎡
使用学部別（理工・情報）	8,664.92㎡
使用学部別（保健・理工・情報）	16,080.07㎡
計	46,156.19㎡

1 （書類等の題名）

校舎平面図（7 ページ～13 ページ）、校舎等建物面積表（14 ページ～28 ページ）及び校舎改修工事工程表（29 ページ）

2 （出典）

本学作成

3 （引用範囲）

平面図、建物面積表、工事工程表

4 （その他の説明）

保安上の観点及び公表することを前提とした資料ではないため公表を差し控えた

大和大学学則（抜粋）

第1章 総則

（目的）

第1条 大和大学(以下「本学」という。)は、教育基本法及び学校教育法の定めるところに基づき、高い専門性と幅広い視野を授けるとともに、豊かな人間性を涵養し、一人ひとりの「ひと」を見つめ、学術文化の向上と社会の平和と発展に貢献する有能な人材を育成することを目的とする。

（自己評価等）

第2条 本学の目的を達するために、教育研究活動等の状況について、自ら点検及び評価を行い、その結果を公表するものとする。

2 点検及び評価については、別に定める。

3 本学は、第1項の点検及び評価の結果について、政令で定める期間ごとに、文部科学大臣の認証を受けた者による評価を受けるものとする。

（情報の公開）

第3条 本学は、教育研究活動等の状況について、刊行物への掲載その他広く周知を図ることができる方法によって、積極的に情報を公開するものとする。

（教育内容等の改善のための組織的な研修等）

第4条 本学は、授業の内容及び方法の改善を図るための組織的な研修及び研究を行う。

（社会的・職業的自立に関する指導等）

第5条 本学は、学部等の教育上の目的に応じ、学生が卒業後自らの資質を向上させ、社会的及び職業的自立を図るために必要な能力を、教育課程の実施及び厚生補導を通じて培うことができるよう、大学内の組織間の有機的な連携を図り、適切な体制を整えるものとする。

第2章 学部、学科等及び修業年限

（学部）

第6条 本学に、次の学部を置き、学部ごとに次のとおり教育研究上の目的を定める。

・教育学部

教育学科のもとに、初等幼児教育専攻、国語教育専攻、数学教育専攻、英語教育専攻の4つの専攻を置き、初等幼児教育専攻は初等幼児教育を柱に、国語教育、数学教育、英語教育の各専攻は、それぞれの教科教育を柱に関連する領域に関する専門的知識を身につけることによって、教育保育分野に貢献する人材を育成する。

・保健医療学部

看護学、理学療法学、作業療法学、言語聴覚学の各分野について、理論及び応用の研究を行うとともに、十分な知識と技能を有し、保健医療の実践を担うことができる応用能力及び豊かな人間性を備えた看護師、保健師、助産師、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士等の人材を育成する。

・政治経済学部

政治経済学部のもとに、政治・政策学科、経済経営学科、グローバルビジネス学科を置き、政治・政策学科のもとに政治学専攻、政策学専攻、経済経営学科のもとに経済学専攻、経営学専攻を設け、政治、経済の各分野を広く俯瞰し、各分野における豊かな専門的知識・理論に裏打ちされた実学的・実践的視点をもった人材を育成する（2年次専攻選択制）。

・理工学部

理工学科のもとに数理科学専攻、生物生命科学専攻、機械システム工学専攻、電気電子情報工学専攻、建築学専攻を設け、幅広い視野、専門的知識、また、強い探究心、使命感を有し、持続可能な社会の実現に向けて、創造性、独創性、発想力を発揮してイノベーションを創出することができる科学技術者、研究者を育成する。

・社会学部

社会学科のもとに現代社会学コース、メディア社会学コース、社会心理学コースを設け、社会学に関する理論、知識を活かし、社会が抱える課題の解決に意欲的に取り組み、社会の発展と幸せな暮らしの創造に貢献する人材を養成する（2年次コース選択制）。

・情報学部

情報学を基軸とする情報科学、社会科学の文理融合の学びにより、多角的な視点で情報をとらえ、課題解決に意欲的に取り組み、社会の発展と豊かな暮らしの創造に貢献する人材を養成する（3年次コース選択制）。

（修業年限）

第7条 本学学部の修業年限は4年とする。

（入学定員）

第8条 本学の学部、学科及び課程別の入学定員及び収容定員は、次のとおりとする。

	学科	専攻・コース	入学定員	収容定員
教育学部	教育学科	初等幼児教育専攻	190名 (3年次編入 初等幼児教育 専攻5名)	770名
		国語教育専攻		
		数学教育専攻		
		英語教育専攻		
保健医療学部	看護学科		100名 (4年次編入 10名)	410名
	総合リハビリテーション学科	理学療法学専攻	40名 (4年次編入5名)	165名
		作業療法学専攻	40名 (4年次編入5名)	165名
		言語聴覚学専攻	40名	160名

政治経済学部	政治・政策学科	政治学専攻	60 名	240 名
		政策学専攻		
	経済経営学科	経済学専攻	120 名	480 名
		経営学専攻		
	グローバルビジネス学科	—	80 名	320 名
理工学部	理工学科	数理科学専攻	295 名	1,180 名
		生物生命科学専攻		
		機械システム工学専攻		
		電気電子情報工学専攻		
		建築学専攻		
社会学部	社会学科	現代社会学コース	200 名	800 名
		メディア社会学コース		
		社会心理学コース		
情報学部	情報学科	情報科学専攻	250 名	1,000 名
		データサイエンス専攻		
		情報経済経営専攻		

第3章 職員組織

(職員)

第9条 本学に、教授、准教授、講師、助教、助手、事務職員及びその他の職員を置く。

2 本学に、非常勤講師、客員教授、その他必要な職員を置くことができる。

(学長及びその他役職)

第10条 本学に、学長を置く。学長は大学を代表するとともに、大学を統括する。

2 本学に、副学長を置くことができる。副学長は学長を助け、学長の命を受けて校務をつかさどる。

3 本学に、学部長を置く。学部長は、当該学部の学務、所属職員を統括する。

4 本学に、学部長補佐を置くことができる。学部長補佐は、学部長を助け、学部長の命を受けて学部の校務をつかさどる。

5 本学に、その他必要な役職を置くことができる。

第4章 大学協議会及び教授会

(大学協議会)

第11条 本学の管理運営に関する重要事項を審議し、理事会との連絡調整を図るため、大学協議会を置く。

2 大学協議会は、学長、副学長、学部長、学部長補佐、室長、部長及び学長が必要と認めた職員によって構成する。

3 大学協議会は、学長が招集し、その議長となる。学長が議長をつとめることができない場合は、学長が指名した者がこれに代わるものとする。

4 大学協議会は、次の事項について審議し、学長が最終決定する。

- 一 大学運営、将来計画に関する事項
- 二 学則、諸規程等の制定改廃に関する事項
- 三 学部等編成、学生定員に関する事項

新旧対照表

旧学則

(学部)

第6条 本学に、次の学部を置き、学部ごとに次のとおり教育研究上の目的を定める。

・教育学部

教育学科のもとに、初等幼児教育専攻、国語教育専攻、数学教育専攻、英語教育専攻の4つの専攻を置き、初等幼児教育専攻は初等幼児教育を柱に、国語教育、数学教育、英語教育の各専攻は、それぞれの教科教育を柱に関連する領域に関する専門的知識を身につけることによって、教育保育分野に貢献する人材を育成する。

・保健医療学部

看護学、理学療法学、作業療法学、言語聴覚学の各分野について、理論及び応用の研究を行うとともに、十分な知識と技能を有し、保健医療の実践を担うことができる応用能力及び豊かな人間性を備えた看護師、保健師、助産師、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士等の人材を育成する。

・政治経済学部

政治経済学部のもとに、政治・政策学科、経済経営学科、グローバルビジネス学科を置き、政治・政策学科のもとに政治学専攻、政策学専攻、経済経営学科のもとに経済学専攻、経営学専攻を設け、政治、経済の各分野を広く俯瞰し、各分野における豊かな専門的知識・理論に裏打ちされた実学的・実践的視点をもった人材を育成する（2年次専攻選択制）。

新学則

(学部)

第6条 本学に、次の学部を置き、学部ごとに次のとおり教育研究上の目的を定める。

・教育学部

教育学科のもとに、初等幼児教育専攻、国語教育専攻、数学教育専攻、英語教育専攻の4つの専攻を置き、初等幼児教育専攻は初等幼児教育を柱に、国語教育、数学教育、英語教育の各専攻は、それぞれの教科教育を柱に関連する領域に関する専門的知識を身につけることによって、教育保育分野に貢献する人材を育成する。

・保健医療学部

看護学、理学療法学、作業療法学、言語聴覚学の各分野について、理論及び応用の研究を行うとともに、十分な知識と技能を有し、保健医療の実践を担うことができる応用能力及び豊かな人間性を備えた看護師、保健師、助産師、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士等の人材を育成する。

・政治経済学部

政治経済学部のもとに、政治・政策学科、経済経営学科、グローバルビジネス学科を置き、政治・政策学科のもとに政治学専攻、政策学専攻、経済経営学科のもとに経済学専攻、経営学専攻を設け、政治、経済の各分野を広く俯瞰し、各分野における豊かな専門的知識・理論に裏打ちされた実学的・実践的視点をもった人材を育成する（2年次専攻選択制）。

・理工学部

理工学科のもとに数理科学専攻、情報科学専攻、機械工学専攻、電気電子工学専攻、建築学専攻を設け、幅広い視野、専門的知識、また、強い探究心、使命感を有し、持続可能な社会の実現に向けて、創造性、独創性、発想力を発揮してイノベーションを創出することができる科学技術者、研究者を育成する。

・社会学部

社会学に関する理論、知識を活かし、社会が抱える課題の解決に意欲的に取り組み、社会の発展と幸せな暮らしの創造に貢献する人材を養成する（2年次コース選択制）。

・情報学部

情報学を基軸とする情報科学、社会科学の文理融合の学びにより、多角的な視点で情報をとらえ、課題解決に意欲的に取り組み、社会の発展と豊かな暮らしの創造に貢献する人材を養成する。

（入学定員）

第7条 本学の学部、学科及び課程別の入学定員及び収容定員は、次のとおりとする。

・理工学部

理工学科のもとに数理科学専攻、生物生命科学専攻、機械システム工学専攻、電気電子情報工学専攻、建築学専攻を設け、幅広い視野、専門的知識、また、強い探究心、使命感を有し、持続可能な社会の実現に向けて、創造性、独創性、発想力を発揮してイノベーションを創出することができる科学技術者、研究者を育成する。

・社会学部

社会学に関する理論、知識を活かし、社会が抱える課題の解決に意欲的に取り組み、社会の発展と幸せな暮らしの創造に貢献する人材を養成する（2年次コース選択制）。

・情報学部

情報学を基軸とする情報科学、社会科学の文理融合の学びにより、多角的な視点で情報をとらえ、課題解決に意欲的に取り組み、社会の発展と豊かな暮らしの創造に貢献する人材を養成する（3年次コース選択制）。

（入学定員）

第7条 本学の学部、学科及び課程別の入学定員及び収容定員は、次のとおりとする。

	学科	専攻・コース	入学定員	収容定員
教育学部	教育学科	初等幼児教育専攻	190名 (3年次編入)	770名
		国語教育専攻	初等幼児教育専攻	
		数学教育専攻	初等幼児教育専攻	
		英語教育専攻	5名	
保健医療学部	看護学科		<u>100名</u>	<u>400名</u>
	総合リハビリテーション学科	理学療法学専攻	40名 (4年次編入5名)	165名
		作業療法学専攻	40名 (4年次編入5名)	165名
		言語聴覚学専攻	40名	160名
政治経済学部	政治・政策学科	政治学専攻	60名	240名
		政策学専攻		
	経済経営学科	経済学専攻	120名	480名
		経営学専攻		
	グローバルビジネス学科	—	80	320名

	学科	専攻・コース	入学定員	収容定員
教育学部	教育学科	初等幼児教育専攻	190名 (3年次編入)	770名
		国語教育専攻	初等幼児教育専攻	
		数学教育専攻	初等幼児教育専攻	
		英語教育専攻	5名	
保健医療学部	看護学科	—	<u>100名</u> (4年次編入10名)	<u>410名</u>
	総合リハビリテーション学科	理学療法学専攻	40名 (4年次編入5名)	165名
		作業療法学専攻	40名 (4年次編入5名)	165名
		言語聴覚学専攻	40名	160名
政治経済学部	政治・政策学科	政治学専攻	60名	240名
		政策学専攻		
	経済経営学科	経済学専攻	120名	480名
		経営学専攻		
	グローバルビジネス学科	—	80	<u>320名</u>

理 工 学 部	理 工 学 科	数 理 科 学 専 攻	<u>230</u> 名	<u>920</u> 名
		情 報 科 学 専 攻		
		機 械 工 学 専 攻		
		電 気 電 子 工 学 専 攻		
		建 築 学 専 攻		
社 会 学 部	社 会 学 科	現 代 社 会 学 コー ス	200 名	800 名
		メ デ ィ ア 社 会 学 コー ス		
		社 会 心 理 学 コー ス		
情 報 学 部	情 報 学 科	—	<u>200</u> 名	<u>800</u> 名

理 工 学 部	理 工 学 科	数 理 科 学 専 攻	<u>295</u> 名	<u>1,180</u> 名
		生 物 生 命 科 学 専 攻		
		機 械 シ ス テ ム 工 学 専 攻		
		電 気 電 子 情 報 工 学 専 攻		
		建 築 学 専 攻		
社 会 学 部	社 会 学 科	現 代 社 会 学 コー ス	200 名	800 名
		メ デ ィ ア 社 会 学 コー ス		
		社 会 心 理 学 コー ス		
情 報 学 部	情 報 学 科	情 報 科 学 専 攻	<u>250</u> 名	<u>1,000</u> 名
		デ ー タ サ イ エ ン ス 専 攻		
		情 報 経 済 経 営 専 攻		

学則の変更の趣旨等を記載した書類

目次

1 学則変更（収容定員変更）の内容	・・・ p.2
2 学則変更（収容定員変更）の必要性	・・・ p.2
3 学則変更（収容定員変更）に伴う教育課程等の変更内容	・・・ p.4

学則の変更の趣旨等を記載した書類

1 学則変更（収容定員変更）の内容

令和 7（2025）年 4 月 1 日より、大和大学学則第 8 条「入学定員」の条文を以下の通り改定する。

○ 保健医療学部 看護学科

＜編入学定員・収容定員＞

（旧）入学定員 100 名	編入学定員 ー	収容定員 400 名
（新）入学定員 100 名	<u>編入学定員 4 年次 10 名</u>	<u>収容定員 410 名</u>

○ 理工学部 理工学科

＜入学定員・収容定員＞

（旧）入学定員 230 名	収容定員 920 名
（新） <u>入学定員 295 名</u>	<u>収容定員 1,180 名</u>

○ 情報学部 情報学科

＜入学定員・収容定員＞

（旧）入学定員 200 名	収容定員 800 名
（新） <u>入学定員 250 名</u>	<u>収容定員 1,000 名</u>

2 学則変更（収容定員変更）の必要性

○ 保健医療学部 看護学科

本学保健医療学部看護学科は、平成 26（2014）年 4 月の開学と同時に開設し、今年 10 年目を迎え、社会的認知も広がり、順調に入学定員の充足を果たしている。

また、本学は、系列校に、大和大学白鳳短期大学部総合人間学科看護学専攻（入学

定員 100 名) を有しており、受験時に、本学とともに系列の短期大学部を併願受験し、大学への進学意思を持ちながら短期大学部に進学する学生も多い。

また、大学の立地の観点においても、本学の位置する大阪府、及び隣接する京都府、兵庫県、奈良県に 3 年制課程の看護師養成校が集中しており、それら養成校を卒業後、大学に編入学し、発展的、実践的な学びを深め、医療現場や大学院進学を目指したいと考える学生のニーズに応えるには、本学は最適の立地に位置している。

また、これら近隣の 3 年制課程養成校の学生を対象とするアンケート調査結果、また、継続的な高齢者人口の高まり、医療技術のさらなる進展の観点から、発展的、実践的な学びを深め、医療現場や大学院進学を目指したいと考える学生を育て、世に輩出する意義、必要性は高いと考え、本学部学科に 3 年制課程の看護師養成校卒業生、卒業予定者を対象とする 4 年次編入学定員を設定し、収容定員変更を行うこととした。

○ 理工学部 理工学科

本学理工学部は、5 専攻を擁する理工学科 1 学科からなる学部として、令和 2 (2020) 年 4 月に開設した。

開設来、質の高い教育研究の実践、個々の学生の希望進路の実現を図るべく、学部所属教員が一丸となって教育研究に取り組み、今春卒業した第 I 期生は、有名企業就職や、国公立大学大学院への合格を多数果たす等、高い進路実績をあげることができた。社会、高校生からの本学部学科への評価、期待は年々高まっており、学生確保の見通しに記載の通り、堅調に志願者数を伸ばしてきている。

そこで、文部科学省が推し進める「理工系人材育成戦略」「デジタル・グリーン等の成長分野をけん引する高度専門人材の育成推進」の趣旨をふまえ、「理学」「工学」系統分野の学びの強化を図るため、本学部学科の「情報科学専攻」を「情報学部」に発展的一本化させるとともに、「情報」関連の学びを含む「機械工学専攻」「電気電子工学専攻」の専攻名称を変更し、本学部学科の養成する人材の領域拡張を図るため、他専攻と同様、「理学」「工学」領域の幅広い知識、視野の修得を基礎に、医療・食料・環境問題等のひとの暮らしや未来の創造に寄与する理工系人材を養成する「生物生命科学専攻」を新たに設け、収容定員変更を行うこととした。

○ 情報学部 情報学科

本学情報学部情報学科は、令和 5 年 4 月、「情報学を基軸とする情報科学、社会科学の文理融合の学びにより、多角的な視点で情報をとらえ、課題解決に意欲的に取り組み、社会の発展と豊かな暮らしの創造に貢献する人材を養成する」ことを教育目標に掲げ開設した。

後述の学生確保の見通しに記載する通り、本学部学科の志願者動向は、開設初年度、

戻り率を十分読むことができず入学定員超過率が1.25倍を超過してしまったが、堅調に推移しており、前述の文部科学省が推し進める「理工系人材育成戦略」「デジタル・グリーン等の成長分野をけん引する高度専門人材の育成推進」の趣旨に則り、情報社会を担う有意な人材の社会への輩出を一層促進するため、また、理工学部理工学科の「情報科学専攻」の発展的一体化に対応し、適正な競争率維持を図るため、収容定員変更を行うこととした。

3 学則変更（収容定員変更）に伴う教育課程等の変更内容

（1）教育課程の変更内容

○ 保健医療学部 看護学科

この度設定する4年次編入制度では、本学科の養成する人材像「看護学分野について、理論及び応用の研究を行うとともに、十分な知識と技術を有し、保健医療の実践を担うことができる応用能力及び豊かな人間性を備えた看護師を育成する」の趣旨に照らし、1年次入学生の教育課程を基礎に、編入前の3年制課程養成校における既修得単位の読み替えを行うとともに、1年次入学生の教育課程開設授業科目や、新たに開設する「幅広い視野や、発展的・実践的な学び」を目的とした4年次編入生用授業科目を修得することを卒業要件に、医療現場で活躍する即戦力人材や、卒業後、さらに大学院等に進学し、より高度な学びを深める人材の養成を図る学びを展開する。

○ 理工学部 理工学科

本学部学科では、前述の通り、収容定員変更とともに、「情報科学専攻」の「情報学部」への発展的一体化、「情報」関連の学びを含む「機械工学専攻」「電気電子工学専攻」の「機械システム工学専攻」「電気電子情報工学専攻」への名称変更、また、「理学」「工学」領域の幅広い知識、視野の修得を基礎に、医療・食料・環境問題等のひとの暮らしや未来の創造に寄与する理工系人材を養成する「生物生命科学専攻」を新たに設ける。

そこで、令和7年度入学生の教育課程から、「専門教育科目」区分の「機械工学」「電気電子」分野区分に情報関連の授業科目を開設するとともに、科目区分名称を「機械システム工学専攻科目」「電気電子情報工学科目」に変更し、新たに設ける「生物生命科学」関連の科目区分を開設することで、専門の学びの整理、拡張を図る。

また、本学部学科所属の全学生が共通して学ぶ「共通専門教育科目」区分に「機械システム工学」「電気電子情報工学」の概論科目や、新たに設ける「生物生命科学」関

連の授業科目を追加開設することで、本学部学科が掲げる『「理学」「工学」を俯瞰的に見つめる幅広い視野、客観的な観察、論理的・創造的な思考力により、新たな価値を作り出し、社会の発展に貢献しようとする技術者、研究者』を育成する学びをさらに深化させるとともに、なお一層、幅広い知識、能力、視野を備えた理工系人材の養成を図ることができる教育課程とした。

○ 情報学部

本学部の教育課程の変更はない。

(2) 教育方法及び履修指導方法の変更内容

○ 保健医療学部 看護学科

編入学生の教育、履修指導は、4年次担任教員が担当し、大学生活や履修の進め方、留学、進学等の全般に関する相談、指導にあたる。

また、編入学時に実施するオリエンテーション、個人面談において、履修のてびき、及び、授業の目的と内容、到達目標、各回の授業内容、使用する教科書・参考書、評価方法等を記載したシラバスを用いて、養成する人材像、教育課程の編成、入学前修得単位の単位数の考え方、卒業要件、大学生活等について説明を行うとともに、ポータルサイトを活用し、学生が円滑に履修計画を策定できる体制を整備する。

○ 理工学部 理工学科

本学部学科に在籍する学生の教育、履修指導は、各専攻各学年の担任教員が担当し、大学生活や履修の進め方、留学、進学等の全般に関する相談、指導にあたる。

また、入学時に実施するオリエンテーション、個人面談において、履修のてびき、及び、授業の目的と内容、到達目標、各回の授業内容、使用する教科書・参考書、評価方法等を記載したシラバスを用いて、養成する人材像、教育課程の編成、入学前修得単位の単位数の考え方、卒業要件、大学生活等について説明を行うとともに、ポータルサイトを活用し、学生が円滑に履修計画を策定できる体制を整備する。

○ 情報学部 情報学科

本学部学科に在籍する学生の教育、履修指導は、各学年の担任教員が担当し、大学生活や履修の進め方、留学、進学等の全般に関する相談、指導にあたる。

また、入学時に実施するオリエンテーション、個人面談において、履修のてびき、及び、授業の目的と内容、到達目標、各回の授業内容、使用する教科書・参考書、評価方法等を記載したシラバスを用いて、養成する人材像、教育課程の編成、入学前修得単位の単位数の考え方、卒業要件、大学生活等について説明を行うとともに、ポータルサイトを活用し、学生が円滑に履修計画を策定できる体制を整備する。

(3) 教員組織の変更内容

○ 保健医療学部 看護学科

本学部学科の現在の教員組織は、収容定員 400 名に対して基幹教員 16 名（うち教授 7 名）と必要基幹教員数 12 名（うち教授 6 名）を超える教員を配置しており、必要基幹教員数における ST 比率 33.3 に対して 25.0 の教員配置状況にある。

また、収容定員変更後は、完成年度において、収容定員 410 名に対する必要基幹教員数 13 名（うち教授 7 名）を超える基幹教員数 18 名（うち教授 7 名）の配置を計画しており、必要基幹教員数における ST 比率 31.5 に対して 22.7 の教員配置状況となる。

また、編入学生の教育指導は、4 年次担当の専任教員が 1 年次入学生とともにあたり、編入学前の修得単位の読み替えを行うため、4 年次の 1 年間に履修する授業科目は 32～34 単位で、その大半を 1 年次入学生教育課程の既設授業科目から履修することになるため、計画の教員組織体制で、現行の教員組織体制と同等以上の教育の質の維持を図ることができるものとする。

○ 理工学部 理工学科

本学部学科の現在の教員組織は、収容定員 920 名に対して基幹教員 40 名（うち教授 29 名）と必要基幹教員数 18 名（うち教授 9 名）をはるかに超える教員を配置しており、必要基幹教員数における ST 比率 51.1 に対して 23.0 の教員配置状況にある。

また、収容定員変更後は、情報の学びの情報学部への一本化、及び新たな生物生命科学分野の開設を念頭に、完成年度において、収容定員 1,180 名の必要基幹教員数 20 名（うち教授 10 名）を超える基幹教員数 41 名（うち教授 29 名）、必要基幹教員数における ST 比率 59.0 に対して 28.7 の教員配置を計画しており、教育研究の質は十分維持できるものとする。

○ 情報学部 情報学科

本学部学科の現在の教員組織は、収容定員 800 名に対して基幹教員 19 名（うち教授 16 名）と必要基幹教員数 16 名（うち教授 8 名）を超える教員を配置しており、必要基幹教員数における ST 比率 50.0 に対して 42.1 の教員配置状況にある。

また、収容定員変更後は、完成年度において、収容定員 1,000 名に対する必要基幹教員数 17 名（うち教授 9 名）を超える基幹教員数 19 名（うち教授 16 名）、必要基幹教員数における ST 比率 58.8 に対して 52.6 の比率の教員配置を計画している。

また、理工学部理工学科情報科学専攻の発展的一体化に伴い、理工学部所属教員の兼担による授業科目担当も計画しており、教育研究の質は十分維持できる図るものと考えている。

（４）大学全体の施設・設備の変更内容

この度の各学部学科の収容定員変更に伴い、以下の校舎改修工事、設備備品・図書資料等整備を図ることにより、各学部学科の教育研究が円滑、効果的に展開される体制の整備を図る。

○ 保健医療学部 看護学科

本学科の編入定員増に対応し、B管理棟 4・5 階の改修工事を実施し、4 階に少人数授業、個別指導、ゼミ活動展開等として活用可能な共同研究室（約 378.37 m²）を整備するとともに、全学共用設備整備として、各棟の教室・講義室、学生スペースの机・椅子の増設、及び、教務システムの増強等、収容定員増に対応した教育研究環境の整備を行う計画であり、収容定員変更前と同等以上の施設・設備整備環境が担保されているものと考えている。

○ 理工学部 理工学科

本学部学科の収容定員増、及び、新たに生物生命科学専攻を設けることに対応し、C講義棟の改修工事を行い、2 階に生物生命研究室（約 122.3 m²）を整備するとともに、3 階に生物生命実験室・実験設備室（約 193.20 m²）設置、インキュベーター、多目的冷却遠心機、サーマルサイクラー、電気泳動装置、微生物顕微鏡、細胞破碎装置等の生物生命科学関連の設備整備を図る。

また、D理工棟 3 階の改修工事を行い、講義室 C（約 191.32 m²）、演習室（約 78.59

㎡)を整備するとともに、F講義棟3・4階の改修工事に伴い、F講義棟4階大講義室4A(約407.04㎡)を情報学部・政治経済学部と共通使用可能な体制を整備する。

また、理工学部・情報学部の教育研究強化に対応した情報システム増設整備とともに、全学共用設備整備として、各棟の教室・講義室、学生スペースの机・椅子の増設、及び、教務システムの増強等、収容定員増に対応した教育研究環境の整備を行う計画であり、収容定員変更前と同等以上の施設・設備整備環境が担保されているものと考ええる。

○ 情報学部 情報学科

本学部学科の収容定員増に対応し、F講義棟3・4階の改修工事を行い、4階大講義室4A(約407.04㎡)を理工学部・政治経済学部と、中講義室4A(約271.36㎡)、中講義室4B(約271.36㎡)、演習室4A(約135.68㎡)、演習室4B(約135.68㎡)を政治経済学部と共通使用可能な体制を整備する。

また、E講義棟2階中講義室2A(約189.14㎡)、中講義室2B(約196.83㎡)、中講義室2C(約196.83㎡)、中講義室2D(約144.68㎡)、中講義室2E(約141.65㎡)、中講義室2F(約138.63㎡)、講義室2A(約150.13㎡)、講義室2B(約147.62㎡)、講義室2C(約139.94㎡)を社会学部と共通使用可能な体制を整備する。

また、理工学部・情報学部の教育研究強化に対応した情報システム増設整備とともに、全学共用設備として、各棟の教室・講義室、学生スペースの机・椅子の増設、及び、教務システムの増強等、収容定員増に対応した教育研究環境の整備を行う計画であり、収容定員変更前と同等以上の施設・設備整備環境が担保されているものと考ええる。

教 育 課 程 等 の 概 要																
(保健医療学部看護学科)																
科目 区分	授業科目の名称	配当年次	主要授業科目	単位数			授業形態			基幹教員等の配置						備考
				必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手	基幹（助手を除外する）教員	
共通基礎科目	人間と文化	心理学概論	1後	2			○								1	
	人間と社会	日本国憲法	1前	2			○								1	
	人間と自然	情報処理	1前	2				○							1	
		基礎統計学	1前	1				○				1			1	
		AIデータサイエンス入門	1前	2			○								1	
	外国語科目	英語Ⅰ	1前	2				○		1						
		英語Ⅱ	2後	2				○		1						
	保健体育科目	スポーツ	2前	2				○							1	
	キャリア・ガイダンス科目	基礎セミナーⅠ	1通	○	2			○		3	1	1	2			
		基礎セミナーⅡ	2通	○	2			○		2		2				
		卒業研究Ⅰ	3通	○	2			○		3		2				
		卒業研究Ⅱ	4通	○	2			○		4	1	2				
	小計（17科目）		—	—	23	0	0	—		7	2	7	2	0	5	
専門教育科目	専門共通科目	チーム医療概論Ⅰ	1前	○	1			○							4	
		チーム医療概論Ⅱ	1前	○	1			○							4	
	人体の構造と機能	人体の構造と機能Ⅰ（循環・骨格・筋系等）	1前	○	2				○	1					2	
		人体の構造と機能Ⅱ（神経・内分泌・消化器等）	1前	○	2				○							
		生化学	1前	○	2			○		1						
	疾病の成り立ちと回復の促進	病態学総論	1後	○	1			○		1						
		病態治療論Ⅰ（呼吸と循環）	1後	○	2			○		1						
		病態治療論Ⅱ（代謝と栄養）	1後	○	2			○		1						
		病態治療論Ⅲ（神経と運動）	1後	○	2			○		1						
		病態治療論Ⅳ（血液）	1後	○	1			○		1						
		病態治療論Ⅴ（排泄・感覚）	1後	○	1			○		1						
		微生物と感染	1前	○	2			○		1						
		治療学総論	1前	○	1			○		1						
		薬理学	2前	○	2			○		1						
	健康支援と社会保障制度	看護と法律	1後	○	1			○		1						
		公衆衛生学	1前	○	2			○		1						
		保健医療福祉行政論Ⅰ	2前	○	2			○		1						
		食品・栄養学	1後	○	1			○				1				
	基礎看護学	基礎看護学総論Ⅰ	1前	○	2			○		1						
		基礎看護学総論Ⅱ	1後	○	2			○		1	1	1				
		基礎看護技術論Ⅰ	1前	○	2			○			1	1				
		基礎看護技術論Ⅱ	1後	○	2			○			1	1				
		基礎看護学演習Ⅰ	1前	○	2				○	1	1	1				
		基礎看護学演習Ⅱ	1後	○	2				○	2	1	1				
		基礎看護学演習Ⅲ	1後	○	2				○	1	1	1				
		基礎看護学実習Ⅰ	1後	○	1				○	1	1	1				
		基礎看護学実習Ⅱ	2前	○	2				○	3	2	7	1			
	臨床応用看護学	成人看護学総論	1後	○	2			○								
		成人・老年臨床看護学Ⅰ	2前	○	2			○								
		成人・老年臨床看護学Ⅱ	2前	○	2			○								
		成人・老年看護学演習Ⅰ	2後	○	2				○							
		老年看護学総論	1後	○	2			○				1				
		成人・老年臨床看護学Ⅲ	2前	○	2			○				2				
		成人・老年看護学演習Ⅱ	2後	○	2				○			2				
		成人・老年看護学実習Ⅰ（急性期）	3前	○	2				○			1				
		成人・老年看護学実習Ⅱ（慢性期）	3前	○	2				○			1				
		小児看護学総論	1後	○	2			○		1						
		小児臨床看護学	2前	○	2			○			1	1				
		小児看護学演習	2後	○	2				○	1						
		小児看護学実習	3前	○	2				○	1	1					
		母性看護学総論	1後	○	2			○		1			2	1		
		母性臨床看護学	2前	○	2			○		1			1			
		母性看護学演習	2後	○	2				○	1			2	1		
		母性看護学実習	3前	○	2				○	1			2	1		
	統合看護学	精神看護学総論	1後	○	2			○		1						
		精神臨床看護学	2前	○	2			○		1						
		精神看護学演習	2後	○	2				○	1						
		精神看護学実習	3前	○	2				○	1						
		地域・在宅看護学総論	2前	○	2			○		1						
		地域・在宅臨床看護学	2前	○	2			○				2				
		地域・在宅看護学演習	2後	○	2				○	1						
		地域・在宅看護学実習Ⅰ	3後	○	2				○	1			2			
		地域・在宅看護学実習Ⅱ	3後	○	3				○	1			2			
		地域・在宅看護学実習Ⅲ	3後	○	3				○	1			2			
		家族ケア論	2後	○	2			○		3			2			
		国際看護	2後	○	1			○		1			1			
		災害看護	2後	○	1			○		1						
		看護と安全	2前	○	2			○		1						
		看護倫理	1前	○	1			○			1					
		看護管理	2後	○	1			○				1				
		統合実習	3後	○	2				○	4	2	7	1			

	公衆衛生看護学	公衆衛生看護学総論	2 前			2	○			1							
		公衆衛生看護活動論Ⅰ	2 前			2	○					2					
		公衆衛生看護活動論Ⅱ	2 後			2	○					1					
		公衆衛生看護活動論Ⅲ	2 前			1	○			1							
		学校保健論（学校安全を含む）	2 前			1	○					1					
		産業保健論	2 前			1	○			1							
		公衆衛生看護管理論	2 後			1	○			1							
		疫学	2 後			2	○					1					
		保健統計学	2 後			1	○					1					
		保健医療福祉行政論Ⅱ	2 後			2	○					1					
		公衆衛生看護学総論実習Ⅰ	3 後			1			○		1		1				
		公衆衛生看護学総論実習Ⅱ	4 前			1			○		1		1				
	公衆衛生看護学総論実習Ⅲ	4 後			3			○		1		2					
	助産学	助産学概論	2 前			2	○			1		2	1				
		周産期医学	2 前			2	○			1		2	1				
		助産管理論	2 後			2	○			1		2	1				
		助産診断・技術学概論	2 前			2	○			1		2	1				
		助産診断・技術学Ⅰ	2 後			2		○				1	1				
		助産診断・技術学Ⅱ	2 後			2		○				2					
		助産診断・技術学Ⅲ	2 後			2		○		1		2	1				
		助産診断・技術学Ⅳ	2 後			2		○		1		1					
		地域母子保健	2 前			2		○		1		2					
		助産学実習Ⅰ	4 前			5			○	1		2	1				
	助産学実習Ⅱ	4 後			6			○	1		2	1					
	卒業論文	研究方法論	2 後	○	2		○			2		1					
		卒業論文	4 通	○	2		○			5	2	7	2				
	小計（87科目）			—	—	115	49	0	—		7	2	7	2	0	0	
	合計（104科目）			—	—	138	49	0	—		7	2	7	2	0	5	
	学位又は称号			学士（看護学）			学位又は学科の分野			保健衛生学関係（看護学関係）							
	卒業・修了要件及び履修方法									授業期間等							
	看護学科の卒業に必要な単位数 138単位以上 （看護師国家試験受験資格は、卒業要件を満たせば得られる） ○保健師課程（選択制で選抜を行う） 保健師国家試験受験資格は、卒業要件を満たし、かつ、科目区分「公衆衛生看護学」欄に記載しているすべての科目（20単位）を修得すると得られる。ただし、これらの科目は、この課程を履修する者のみが履修登録できる。 ○助産師課程（選択制で選抜を行う） 助産師国家試験受験資格は、卒業要件を満たし、かつ、科目区分「助産学」欄に記載しているすべての科目（29単位）を修得すると得られる。ただし、これらの科目は、この課程を履修する者のみが履修登録できる。									1 学年の学期区分			2期				
										1 学期の授業期間			15週				
										1 時限の授業の標準時間			90分				

4年次編入生用授業科目(保健医療学部看護学科)

授業科目の名称	配当年次	主要授業科目	単位数			授業形態			基幹教員等の配置						備考
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手	基幹(助手を除外する教員)	
チーム医療実践論	4 前	○	2			○			1						「チーム医療概論Ⅰ」及び「チーム医療概論Ⅱ」に読替 「研究方法論」に読替 「卒業研究Ⅱ」に読替 「卒業論文」に読替
看護学発展実践演習Ⅰ	4 後	○	2			○			1						
看護学発展実践演習Ⅱ	4 通	○	2				○		3	1	2				
看護学発展実践演習Ⅲ	4 通	○	2				○		5	2	7	1			

教 育 課 程 等 の 概 要																				
(理工学部理工学科)																				
科目 区分			授業科目の名称	配当年次	主要授 業科目	単位数			授業形態			基幹教員等の配置						備考		
						必 修	選 択	自 由	講 義	演 習	実験・実 習	教 授	准 教授	講 師	助 教	助 手	基 幹 （ 助手 を除 く） 教員			
共通基礎科目	教養科目	人間と文化	言葉と文学	1・2・3・4前			2		○								1			
			くらしと芸術	1・2・3・4前			2		○								1			
			心理学概論	1・2・3・4前			2		○								1			
			哲学概論	1・2・3・4後			2		○								1			
			生活文化概論	1・2・3・4前			2		○								1			
		人間と社会	経済学概論	1・2・3・4前			2		○									1		
			くらしと福祉	1・2・3・4後			2		○									1		
			くらしと人権	1・2・3・4後			2		○									1		
			日本国憲法	1・2・3・4前			2		○									1		
			教育基礎論	1・2・3・4後			2		○									1		
		人間と自然	国際関係論	1・2・3・4前			2		○									1		
			情報処理入門	1前	○	2					○				2				1	
			基礎数学	1前			2				○				2				1	
			基礎物理学	1前			2				○								1	
			基礎化学	1前・後			2				○									
	外国語科目	基礎生物学	1前・後			2				○			1						※2	
		医療の進歩と先端生命科学	1後			2				○				1					※2	
		AIデータサイエンス入門	1前	○	2					○			3		2				オムニバス	
		英語Ⅰ	1前			2				○				1						
		英語Ⅱ	1後			2				○				1						
		英語Ⅲ	2前			2				○			1							
		英語Ⅳ	2後			2				○			1							
		英語基礎演習Ⅰ	1前				2			○					1					
		英語基礎演習Ⅱ	1後				2			○					1					
		Communicative Eng.Ⅰ	1・2・3前				1			○								1		
		Communicative Eng.Ⅱ	1・2・3後				1			○								1		
		TOEFL英語Ⅰ	2・3前				1			○								1		
		TOEFL英語Ⅱ	2・3後				1			○								1		
		TOEIC英語Ⅰ	2・3前				2			○			1					1		
	TOEIC英語Ⅱ	2・3後				2			○			1					1			
	科体保 目育健	スポーツ	1前			2						○	1							
		健康科学	1・2後				2			○								1		
		デキ コザ 目イ リ ン ア	キャリアデザインⅠ	1通			2				○		10						共同	
			キャリアデザインⅡ	2通			2				○		10						共同	
			キャリアデザインⅢ	3通			2				○		10						共同	
	キャリアデザインⅣ		4通			2				○		10						共同		
	小計（38科目）			—	—	22	50				—		18	2	6	0	0	18		
	専門教育科目	共通専門 教育科目	微分積分学基礎Ⅰ	1前	○	2				○				1	1	2			1	
			微分積分学基礎Ⅱ	1後	○		2			○				1	1	2			1	※1※3※4
線形代数学基礎Ⅰ			1前	○	2				○				1		3					
線形代数学基礎Ⅱ			1後	○		2			○				1		3				※1※3※4	
集合と論理			1後			2			○				1							
確率と統計			1後	○		2			○							2			※1	
応用解析Ⅰ			2前	○		2			○				2						※3※4	
応用解析Ⅱ			2後			2			○				2							
数理統計学			2前			2			○						1					
数値解析			2後			2			○						1					
現代理工学序論			1前	○	2				○				10						オムニバス	
理工学基礎セミナー			1後	○	2				○				23	4	7				共同	
数理科学概論			1後	○		2			○				2	1	2				※1※6オムニバス	
遺伝学・生化学概論			1前			2			○				2	2					※2オムニバス	
情報科学概論			1後	○		2			○				1		2				※3※4オムニバス	
生命科学概論			1後	○		2			○				2	1					※2※6オムニバス	
生物工学概論			1後	○		2			○				1	1				2	※2オムニバス	
機械システム工学概論			1後	○		2			○				5						※3※6オムニバス	
電気電子情報工学概論			1後	○		2			○				5						※4※6オムニバス	
建築学概論			1前	○		2			○				5						※5※6オムニバス	

専 門 教 育 科 目	共 通 専 門 教 育 科 目	近現代建築史	1 後	○	2	○	1							※5
		建築設備学	1 後	○	2	○	1							※5
		物質科学基礎	1 後	○	2	○	1							
		プログラミング基礎	1 前	○	2	○	1		2					
		Webプログラミング演習	1 後	○	2	○			2					
		人工知能	1 後	○	2	○			2					
		データエンジニアリング基礎	2 前		2	○			1				1	
		コンピュータシステム基礎	2 前		2	○							1	
		力学Ⅰ	1 後	○	2	○		2						※3※5
		機構学	1 前	○	2	○		1						※3
		機械システム設計基礎	1 後	○	2	○		2						※3
		電磁気学Ⅰ	1 後	○	2	○		2		1				※4
		電気回路Ⅰ	1 後	○	2	○			1	1				※4
		生命科学と社会	1 前	○	2	○		3	2					※2
		バイオ環境学	2 後	○	2	○			1				2	※2
		知的財産権	4 前	○	2	○							1	
		工学倫理・研究倫理	3 後	○	2	○		3						※3※4※5
		情報社会と情報倫理	4 前	○	2	○		1						※1※2
		小計（38科目）	—		10	66	—	25	4	7	0	0	8	
	数 理 科 学 専 攻 専 門 科 目	微分積分学基礎演習Ⅰ	1 前	○	2	○			1					※7
		線形代数学基礎演習Ⅰ	1 前	○	2	○				1				※7
		微分積分学基礎演習Ⅱ	1 後	○	2	○			1					※7
		線形代数学基礎演習Ⅱ	1 後	○	2	○				1				※7
		解析学Ⅰ	2 前	○	2	○			1					※7
		解析学演習Ⅰ	2 前	○	2	○			1					※7
		微分方程式	2 前	○	2	○		1						※7
		解析学Ⅱ	2 後	○	2	○			1					※7
		解析学演習Ⅱ	2 後	○	2	○			1					※7
		代数学Ⅰ	2 前	○	2	○				1				※7
		幾何学Ⅰ	2 前	○	2	○		1						※7
		幾何学Ⅱ	2 後	○	2	○		1						※7
		幾何学演習Ⅰ	2 前	○	2	○		1						※7
		幾何学演習Ⅱ	2 後	○	2	○		1						※7
		代数学Ⅱ	2 後	○	2	○				1				※7
		代数学演習	2 後	○	2	○				1				※7
		代数学Ⅲ	3 前	○	2	○				1				※7
		代数学Ⅳ	3 後	○	2	○				1			1	
		幾何学Ⅲ	2 後	○	2	○		1						※7
		幾何学演習Ⅲ	2 後	○	2	○		1						※7
		幾何学Ⅳ	3 前	○	2	○		1					1	
		幾何学Ⅴ	3 後	○	2	○		1					1	
		解析学Ⅲ	2 後	○	2	○		1						※7
		解析学演習Ⅲ	3 前	○	2	○		1						※7
		解析学Ⅳ	3 前	○	2	○		1						※7
		解析学Ⅴ	3 後	○	2	○			1				1	
		解析学Ⅵ	4 前	○	2	○			1				1	
		複素関数論	3 前	○	2	○		1						※7
		複素関数論演習	3 前	○	2	○		1						※7
		数理科学実践演習Ⅰ	3 前	○	2	○		2	1	2				※7共同
		数理科学実践演習Ⅱ	3 後	○	2	○		2	1	2				※7共同
		小計（31科目）	—		10	62	—	2	1	2	0	0	5	
	専 攻 専 門 科 目	分子生物学Ⅰ	1 後	○	2	○		2						※8
		分子生物学Ⅱ	2 前	○	2	○		2						※8
		細胞生物学Ⅰ	1 後	○	2	○		1	2					※8
		細胞生物学Ⅱ	2 前	○	2	○		1	2					※8
		細胞生物学実践演習	1 後	○	2	○		3	2					※8共同
		分子遺伝学	2 前	○	2	○		2						※8
		分子細胞制御学	3 前	○	2	○		2						
		DNA生物学	2 前	○	2	○		2						※8
		ゲノム生物学・進化学	2 後	○	2	○		1						※8
		メディカル生物学	2 後	○	2	○			1					※8
		動物発生学・生理学	2 後	○	2	○			1					
		植物発生学・生理学	2 後	○	2	○			1					※8
		基礎生物学実験	2 前	○	2	○		3	2					※8共同
		生物生命科学実験	2 後	○	2	○		3	2					※8共同
		生物生命科学演習	2 後	○	2	○		3	2					※8共同
		先端微生物学	3 前	○	2	○		1						
		生命情報学	3 前	○	2	○		2	1					※8
		構造生物学・タンパク質工学	3 前	○	2	○		1						※8
		先端メディカル生物学	3 前	○	2	○			1					
		植物分子生物学	3 前	○	2	○			1					
		先端生命科学実習Ⅰ	3 前	○	4	○		3	2					※8共同
		先端生命科学実習Ⅱ	3 後	○	4	○		3	2					※8共同
		先端生命科学演習Ⅰ	3 前	○	2	○		3	2					※8共同
		先端生命科学演習Ⅱ	3 後	○	2	○		3	2					※8共同
		小計（24科目）	—		52	—		3	2	0	0	0	0	

専門教育科目	機械システム工学専攻専門科目	機械図学・製図基礎	1後	○		2	○		1				※9
		機械設計製図	2前	○		2	○		1				※9
		機械システム設計工学	3前	○		2	○		1				※9
		機械材料学	2後	○		2	○		1				※9
		材料力学	2後	○		2	○		1				※9
		材料力学演習	3前	○		2		○	1				※9
		材料強度学	3後	○		2		○	1				※9
		力学Ⅱ	2前	○		2	○		2				※9
		機械力学Ⅰ（振動工学）	2前	○		2	○		1				※9
		機械力学Ⅱ（構造振動学）	2後	○		2	○		1				※9
		流れ学	2前	○		2	○		1				※9
		流れ学演習	2後	○		2		○	1				※9
		流体力学	3前	○		2	○		1				※9
		熱工学	2後	○		2	○		1				※9
		熱工学演習	3前	○		2		○	1				※9
		生産工学	3前	○		2		○	1				※9
		生産システム工学	3後	○		2		○	1				※9
		機械システム工学実験・実習Ⅰ	2後	○		2			5				※9共同
		機械システム工学実験・実習Ⅱ	3前	○		2			5				※9共同
		機械計測	2前	○		2		○	1				※9
		機械制御システム工学	3前	○		2		○	1				※9
		伝熱工学	3後	○		2		○	1				※9
		機械システム工学特論Ⅰ（産業・交通機械）	3後	○		2		○	1				※9
		機械システム工学特論Ⅱ（航空宇宙システム）	3後	○		2		○	1				※9
		ロボティクス基礎	3後	○		2		○	1				※9
		機械システム工学実践演習Ⅰ	3前	○		2			5				※9共同
		機械システム工学実践演習Ⅱ	3後	○		2			5				※9共同
	小計（27科目）	—			54		—	6	0	0	0	0	
	電気電子情報工学専攻専門科目	電磁気学Ⅱ	1後	○		2	○		1		1		※10
		電磁気学Ⅲ	2前	○		2	○		1		1		※10
		電磁気学Ⅳ	2前	○		2	○		1		1		※10
		電気回路演習Ⅰ	1後	○		2		○		1			※10
		電気回路Ⅱ	2前	○		2		○		1			※10
		電気回路演習Ⅱ	2前	○		2		○		1			※10
		電子回路	2後	○		2		○	1				※10
		論理回路	3前	○		2		○	1				※10
		半導体工学	3前	○		2		○	2				※10
		電子デバイス工学	3後	○		2		○	2				※10
		電気電子計測	2後	○		2		○	1				※10
		プログラミング（C言語）	2前	○		2		○	1				※10
		デジタル信号処理	2後	○		2		○	1				※10
		固体電子物性	2後	○		2		○	1				※10
		発変電工学	3前	○		2		○		1			※10
送配電工学		3後	○		2		○		1			※10	
設備工学		3前	○		2		○	1				※10	
電気電子材料学		2前	○		2		○	1				※10	
電気法規・電気施設管理		4前	○		2		○		1			※10	
電気エネルギー工学		3後	○		2		○	1				※10	
電気機器工学		3前	○		2		○	1				※10	
パワーエレクトロニクス		3後	○		2		○		1			※10	
電気電子制御工学		3前	○		2		○	1				※10	
電気電子制御工学演習		3後	○		2			1				※10	
電子情報通信システム		3前	○		2		○	1				※10	
電気電子情報工学実習		3後	○		2			4	1	1		※10共同	
電気電子情報工学実験Ⅰ	2前	○		2			4	1	1		※10共同		
電気電子情報工学実験Ⅱ	3前	○		2			4	1	1		※10共同		
電気電子回路設計	3前	○		2		○	1				※10共同		
光・電波工学	2後	○		2		○	1				※10共同		
量子力学	2後	○		2		○	1				※10共同		
電波・電気通信法規	4前	○		2		○			1		※10共同		
無線工学特論	4前	○		2		○			1		※10共同		
電気電子情報工学実践演習Ⅰ	2後	○		2			4	1	1		※10共同		
電気電子情報工学実践演習Ⅱ	3前	○		2		○	4	1	1		※10共同		
小計（35科目）	—			70		—	4	1	1	0	0	0	

専 門 教 育 科 目	建 築 学 専 攻 専 門 科 目	スケッチ表現演習	1後	○		2		○				1		1			※12
		建築構法	1後	○		2		○				1				※11※12	
		造形デザイン	1前	○		2		○					1				
		建築設計製図基礎Ⅰ	1前	○		2		○				1		1			※11※12共同
		建築設計製図基礎Ⅱ	1後	○		2		○				1		1			※11※12共同
		インテリアデザイン	2前	○		2		○						1			※12
		建築設計学	2後	○		2		○				1					※11
		建築設計製図Ⅰ	2前	○		2			○			4		1			※11※12共同
		建築設計製図Ⅱ	2後	○		2			○			4		1			※11※12共同
		建築設計製図Ⅲ	3前	○		2			○			4		1			※11※12共同
		建築設計製図Ⅳ	3後	○		2			○			4		1			※11※12共同
		建築C A D	2後	○		2			○					1			※12
		建築計画学Ⅰ	1後	○		2		○				1					※11※12
		建築計画学Ⅱ	2前	○		2		○				1					※12
		建築史Ⅰ（日本建築史）	2前	○		2		○				1					※11※12
		建築史Ⅱ（西洋建築史）	2後	○		2		○				1					※12
		都市計画論	2後	○		2		○				1					※12
		建築都市保存再生論	3前	○		2		○				1					※12
		建築環境工学Ⅰ	2前	○		2		○				1					※11※12
		建築環境工学Ⅱ	2後	○		2		○				1					※12
		環境デザイン論	3前	○		2		○				1					
		建築構造力学Ⅰ	2前	○		2		○				1					※11※12
		建築構造力学Ⅱ	2後	○		2		○				1					※11※12
		建築構造学Ⅰ	3前	○		2		○				1					※11※12
		建築構造学Ⅱ	3後	○		2		○				1					※11※12
		耐震設計法	4前	○		2		○				1					※12
		建築材料学	2後	○		2		○				1				1	※11※1
		建築学実験Ⅰ	3前	○		2				○		3		1			※11※12共同
	建築学実験Ⅱ	3後	○		2				○		3		1			※11※12共同	
	建築施工	3後	○		2		○				1				1	※11※12	
	建築法規	4前	○		2		○				1				1	※11※12	
	建築学基礎セミナーⅠ	2前	○		2				○		5		1			※11共同	
	建築学基礎セミナーⅡ	2後	○		2				○		5		1			※11共同	
	建築学セミナー演習Ⅰ	3前	○		2				○		5		1			※11共同	
	建築学セミナー演習Ⅱ	3後	○		2				○		5		1			※11共同	
	小計（35科目）		—			70			—		6	0	1	0	0	0	
研 卒 究 業		卒業研究Ⅰ	4前	○	3			○		25	4	7				共同	
		卒業研究Ⅱ	4後	○	3			○		25	4	7				共同	
		小計（2科目）	—		6			—		25	4	7	0	0	0		
合計（228科目）		—		38	414			—		29	4	8	0	0	31		
学位又は称号	学士（理学、工学）	学位又は学科の分野					理学関係、工学関係										
卒業・修了要件及び履修方法						授業期間等											
卒業要件は、以下に掲げる基準を満たし、合計126単位以上修得すること。 ただし、履修科目の登録の上限は、年50単位とする。						1学年の学期区分					2期						
						1学期の授業期間					15週						
						1時限の授業の標準時間					90分						

(数理科学専攻)

<必修科目>

以下の基準を満たし、合計38単位を修得すること。

- 「共通基礎科目」から22単位
- 「専門教育科目」から10単位
- 「卒業研究」から6単位

<選択科目>

以下の基準を満たし、合計88単位以上を修得すること。

- 「共通基礎科目」
「人間と文化」から2単位以上、上限4単位まで
「人間と社会」から2単位以上、上限4単位まで
「人間と自然」から2単位以上
「外国語科目」または「保健体育科目」から4単位以上
- 「共通専門教育科目」
専攻選択必修科目(※1)10単位、及び、他専攻概論科目(※6)2単位以上
- 「数理科学専攻専門科目」
専攻選択必修科目(※7)48単位を含み、合計52単位以上

※ 上記の最低修得条件を超える14単位分はいずれの科目区分から修得しても構わない。但し、自由選択科目は除く。

(生物生命科学専攻)

<必修科目>

以下の基準を満たし、合計38単位以上を修得すること。

- 「共通基礎科目」から22単位
- 「専門教育科目」から10単位
- 「卒業研究」から6単位

<選択科目>

以下の基準を満たし、合計88単位以上を修得すること。

- 「共通基礎科目」
「人間と文化」から2単位以上、上限4単位まで
「人間と社会」から2単位以上、上限4単位まで
「人間と自然」から専攻選択必修科目(※2)4単位を含み、合計4単位以上
「外国語科目」または「保健体育科目」から4単位以上
- 「共通専門教育科目」
専攻選択必修科目(※2)12単位、及び、他専攻概論科目(※6)2単位以上
- 「生物生命科学専攻専門科目」
専攻選択必修科目(※8)42単位を含み、合計46単位以上

※ 上記の最低修得条件を超える16単位分はいずれの科目区分から修得しても構わない。但し、自由選択科目は除く。

(機械システム工学専攻)

<必修科目>

以下の基準を満たし、合計38単位以上を修得すること。

- 「共通基礎科目」から22単位
- 「専門教育科目」から10単位
- 「卒業研究」から6単位

<選択科目>

以下の基準を満たし、合計88単位以上を修得すること。

- 「共通基礎科目」
「人間と文化」から2単位以上、上限4単位まで
「人間と社会」から2単位以上、上限4単位まで
「人間と自然」から2単位以上
「外国語科目」または「保健体育科目」から4単位以上
- 「共通専門教育科目」
専攻選択必修科目(※3)18単位、及び、他専攻概論科目(※6)2単位以上
- 「機械システム工学専攻専門科目」
専攻選択必修科目(※9)36単位を含み、合計44単位以上

※ 上記の最低修得条件を超える14単位分はいずれの科目区分から修得しても構わない。但し、自由選択科目は除く。

(電気電子情報工学専攻)

<必修科目>

以下の基準を満たし、合計38単位を修得すること。

- 「共通基礎科目」から２２単位
- 「専門教育科目」から１０単位
- 「卒業研究」から６単位

<選択科目>

以下の基準を満たし、合計８８単位以上を修得すること。

- 「共通基礎科目」
「人間と文化」から２単位以上、上限４単位まで
「人間と社会」から２単位以上、上限４単位まで
「人間と自然」から２単位以上
「外国語科目」または「保健体育科目」から４単位以上
- 「共通専門教育科目」
専攻選択必修科目（※４）１６単位、及び、他専攻概論科目（※６）２単位以上
- 「電気電子情報工学専攻専門科目」
専攻選択必修科目（※１０）４０単位を含み、合計４８単位以上

※ 上記の最低修得条件を超える１２単位分はいずれの科目区分から修得しても構わない。但し、自由選択科目は除く。

(建築学専攻)

<必修科目>

以下の基準を満たし、合計３８単位を修得すること。

- 「共通基礎科目」から２２単位
- 「専門教育科目」から１０単位
- 「卒業研究」から６単位

<選択科目>

以下の基準を満たし、合計８８単位以上を修得すること。

- 「共通基礎科目」
「人間と文化」から２単位以上、上限４単位まで
「人間と社会」から２単位以上、上限４単位まで
「人間と自然」から２単位以上
「外国語科目」または「保健体育科目」から４単位以上
- 「共通専門教育科目」
専攻選択必修科目（※５）１０単位、及び、他専攻概論科目（※６）２単位以上
- 「建築学専攻専門科目」
専攻選択必修科目（※１１）４８単位を含み、合計６２単位以上

※ ただし、二級・木造建築士試験、一級建築士試験の受験資格取得には指定科目（※１２）を別表の通り修得すること。

※ 上記の最低修得条件を超える４単位分はいずれの科目区分から修得しても構わない。但し、自由選択科目は除く。

教 育 課 程 等 の 概 要																
(情報学部情報学科)																
科目 区分	授業科目の名称	配当年次	主要授業科目	単位数			授業形態			基幹教員等の配置						備考
				必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手	基幹へ教員以外を除く教員	
共通基礎科目	哲学入門	1後			2		○			1						
	心理学入門	1後			2		○								1	
	倫理学入門	1前			2		○				1					
	日本国憲法	1後			2		○				1					
	人間関係論	1後			2		○								1	
	数学入門	1前	○		2		○			1	1					
	統計学入門	1前	○		2		○			1						
	AI・データサイエンス入門	1前	○		2		○			1						
	英語Ⅰ	1前		1			○			1						
	英語Ⅱ	1後		1			○			1						
	英語Ⅲ	2前		1			○			1						
	英語Ⅳ	2後		1			○			1						
	体育・健康	1通			2				○	1						
	キャリアデザインⅠ	1通		1			○			6	2					共同
	キャリアデザインⅡ	2通		1			○			7	3					共同
	キャリアデザインⅢ	3通		1			○			7	3					共同
	キャリアデザインⅣ	4通		1			○			6	2					共同
	小計（17科目）	—	—	8	18		—			11	3	0	0	0	2	
専門教育科目	基礎数学Ⅰ	1前	○	2			○			2	1					
	基礎数学Ⅱ	1後	○		2		○			2	1					
	情報数学	1後	○	2			○			5						
	微分積分	1後	○	2			○			4	1					
	線形代数	1後	○	2			○			4	1					
	確率統計	1後	○	2			○			4	1					
	情報学概論	1前	○	2			○			2						
	データサイエンス基礎	1前	○	2			○			1						
	データエンジニアリング基礎	2前	○	2			○			1	1					
	コンピュータシステム基礎	2前	○	2			○			2						
	AI 基礎	2前	○	2			○			2						
	情報科学	2前	○	2			○			2						
	AI 社会の情報倫理と法	2前	○	2			○			2						
	データ構造とアルゴリズム	2後	○	2			○			2						
	データベース工学	2後	○	2			○			1						
	データ分析基礎	2後	○	1				○		1	1					
	データ分析演習	3前			1			○		1	1					
	プログラミングⅠ	2後	○	1				○		2						
	プログラミングⅡ	3前			1			○		2						
	情報システム	2・3前	○		2		○			2						
	データマイニング	2・3後	○		2		○			2						
	数理モデリング	2・3後	○		2		○			2						
	オペレーティングシステム	2・3前	○		2		○			1						
	最適化理論	2・3前	○		2		○			1						
	グラフ理論	2・3前	○		2		○			2						
	多変量解析	2・3後	○		2		○			2						
	画像解析	2・3後	○		2		○			2						
	信号処理	2・3後	○		2		○			1						
	意思決定論	2・3後	○		2		○			1						
	ソフトウェア工学	2・3後	○		1			○		2						
	コンピュータネットワーク	2・3前	○		2		○			1	1					
	コンピュータアーキテクチャ	2・3前	○		2		○			2						
	コンピュータグラフィックス	2・3後	○		2		○			2						
	マルチメディア論	2・3後	○		2		○			2						
	ヒューマンインターフェイス	2・3前	○		2		○			2						
	AI 技術と社会	2・3前	○	2			○			2						
	機械学習・深層学習	2・3後	○	2			○			2						
	情報セキュリティ	2・3後	○	2			○			2						

専門教育科目	経済学概論	2前	○	2			○			1							
	経営学概論	2前	○	2			○			1							
	ミクロ経済学	2・3後	○		2		○			1							
	マクロ経済学	2・3後	○		2		○								1		
	計量経済学	2・3後	○		2		○			2							
	経営情報論	2・3前	○		2		○			2							
	マーケティング論	2・3後	○		2		○			2							
	ビジネスイノベーション論	2・3後	○		2		○			2							
	金融論	2・3後	○		2		○									1	
	社会学概論	2前	○	2			○			1							
	情報社会論	2・3前	○	2			○			1	1						
	情報政策論	2・3前	○	2			○			1	1						
	社会調査法	2・3後			1		○				1						
	認知科学	2・3後	○		2		○			2							
	情報行動論	2・3前	○		2		○			2							
	情報文化論	2・3前	○		2		○			1	1						
	情報メディア論	2・3前	○		2		○			2							
基礎・専門演習科目	基礎演習	1通	○	2			○			7	2						共同
	専門演習Ⅰ	2通	○	2			○			11	2						共同
	専門演習Ⅱ	3通	○	2			○			12	3						共同
卒業研究	卒業研究	4通	○	4			○			12	3						
小計（59科目）		—	—	56	58	0	—			12	3	0	0	0	2		
合計（76科目）		—	—	68	76	0	—			16	3	0	0	0	4		
自由選択科目	中等教科教育法（情報）Ⅰ	2前				2	○				1						
	中等教科教育法（情報）Ⅱ	2前				2	○				1						
	教育基礎論	2前				2	○									1	
	教師論	2前				2	○									1	
	教育制度論	2後				2	○									1	
	教育心理学	3前				2	○									1	
	特別支援教育	2後				1	○									1	
	教育課程論	4前				2	○									1	
	特別活動及び総合的な学習の時間の指導法	3前				2	○									1	
	教育の方法技術	3後				2	○									2	オムニバス
	生徒・進路指導論	4前				2	○									1	
	教育相談	2後				2	○									1	
	中等教育実習事前事後指導	4前				1	○									2	共同
	中等教育実習Ⅰ	4後				2	○									3	共同
中等教育実習Ⅱ	4後				2		○								2	共同	
教職実践演習（中・高）	4後				2		○								4	共同	
学位又は称号		学士（情報学）				学位又は学科の分野				工学関係、経済学関係							
卒業・修了要件及び履修方法										授業期間等							
以下に掲げる基準を満たし、合計124単位以上修得することを卒業要件とする。 ＜共通基礎科目＞ ・必修科目12単位を修得すること。 ・合計22単位以上修得すること。 ＜専門教育科目＞ （専門科目） ・「基盤科目」の必修科目20単位を修得すること。 ・「情報・データサイエンス分野科目」の必修科目16単位を修得すること。 ・「経済・経営分野科目」の必修科目10単位を修得すること。 ・合計92単位以上修得すること。 （基礎・専門演習科目） ・6単位修得すること。 （卒業研究） ・4単位修得すること。 ※ 履修科目の登録の上限は、年間45単位を上限とする。										1 学年の学期区分				2期			
										1 学期の授業期間				15週			
										1 時限の授業の標準時間				90分			

学生の確保の見通し等を記載した書類

目次

(1) 収容定員を増加する組織の概要	・・・ p.2
(2) 人材需要の社会的な動向等	・・・ p.3
(3) 学生確保の見通し	・・・ p.8
(4) 収容定員を増加する組織の定員設定の理由	・・・ p.25

学生の確保の見通し等を記載した書類

(1) 収容定員を増加する組織の概要

①収容定員を増加する組織の概要（名称、入学定員（編入学定員）、収容定員、所在地）

収容定員を増加する組織	入学定員	4年次 編入学 定員	収容 定員	所在地 (教育研究を行うキャンパス)
大和大学保健医療学部看護学科	100	10	410	大阪府吹田市片山町 2丁目5番1号
大和大学理工学部理工学科	295	—	1,180	
大和大学情報学部情報学科	250	—	1,000	

②収容定員を増加する組織の特色

○ 保健医療学部看護学科

本学科は、本学の建学の精神である「ひと」を見つめ、世の中、社会に尽くす人材を育てることを原点に、「ひと」のいのちを守る確かな知識技術、豊かな人間性を備えた看護師、保健師、助産師を育成することを目的とし、「看護学」の学びについて、その特色は、大きく次の3点で構成される。

- (a) 人間愛にあふれ向上心をもった看護に携わる人材を育成
- (b) 専門的知識・技術、看護アセスメント能力をもった人材を育成
- (c) 統合的視野、臨床実践力を備えた人材を育成

○ 理工学部理工学科

本学部学科は、人文科学や社会科学の幅広い教養と倫理観、理工の基礎力と各専攻専門領域に関する知識、技術、能力を基盤に、「理学」「工学」を俯瞰的に見つめる幅広い視野、客観的な観察、論理的・創造的な思考力により、新たな価値を作り出し、社会の発展に貢献しようとする技術者、研究者を育成することを目的とし、「理学」「工学」の学びについて、その特色は、大きく次の3点で構成される。

- (a) 1学科複数専攻制により他分野の教員や学生との交流や、他分野の学びを実践
- (b) 理工学融合学修の展開により「理学」「工学」分野の視野をもった人材の育成
- (c) 課題を見出す観点や課題解決、新たな価値の創出をする能力を身に付ける

○ 情報学部情報学科

本学部学科は、「情報学」を基軸とする情報科学、社会科学の文理融合の学びにより、多角的な視点で情報をとらえ、課題解決に意欲的に取り組み、社会の発展と豊かな暮らしの創造に貢献する人材を養成することを教育上の目的とし、その特色は大きく次の2点で構成される。

- (a) 情報に関する知識、技術とともに、文系、理系の枠組みを超えた幅広い知識、視野をもった人材を養成
- (b) 企業現場の活きた話題にふれる機会を設けることにより、学ぶ意欲や、将来進路に対する意識喚起を図る

(2) 人材需要の社会的な動向等

①収容定員を増加する組織で養成する人材の全国的、地域的、社会的動向の分析

○ 保健医療学部看護学科

看護職の将来における人材需給については、全国的、社会的動向としては、厚生労働省医政局看護課が令和元年11月18日に発表した「医療従事者の需給に関する検討会 看護職員需給分科会 中間とりまとめ」の中の「2025年度(令和7年度)における看護職員の需給推計結果(都道府県別)」において、大阪府は全国で2番目に看護職員が不足する都道府県とする推計結果を発表している【資料1】。また、地域的には、大阪府が2024年3月29日に発表した第8次大阪府医療計画(保健医療従事者の確保と資質の向上)の中で、大阪府の人口10万対の看護師数は959.8(全国1015.4)で全国第37位となっており、とりわけ本学が位置する大阪府北摂エリア(三島)については、人口10万対の看護師数は、大阪府平均をも下回っている【資料2】。

また、日本看護協会では、これからの社会・医療に対応できる看護師を育成できるよう、看護師基礎教育の4年制化の実現に取り組まれていることから、看護師養成の必要な教育の場として大学での教育のニーズが高まっている。

以上のことから、この度、本学の看護学部看護学科の編入定員を設定、収容定員を増加することについて、全国的、地域的、社会的動向において人材需要があると考えます。

【資料1】看護職員の需給推計(都道府県別)

(第2回看護師等確保基本指針検討部会 参考資料2(令和5年7月7日))

看護師等(看護職員)の確保を巡る状況 医療従事者の需給に関する検討会看護職員需給分科会中間とりまとめ(概要版)より)

【資料 2】人口 10 万対の府内二次医療圏別 就業看護職員数（令和 2 年度）

（第 8 次大阪府医療計画（2024 年 3 月 29 日更新）保健医療従事者の確保と資質の向上 看護職員の確保と資質の向上に関する現状と課題より）

○ 理工学部理工学科

超高齢化社会に直面するわが国は、国際競争力の維持・向上・活力ある地域経済社会の構築、医療・介護サービスの持続的・効率的提供など、重要課題に取り組みつつ、豊かさを実感できる社会を力強く築いていかなければならない。

その実現において、未来を築く最先端研究開発から、グローバルに人々の生活を一変させる全く新しい商品開発、日常生活を堅実に支える製品開発・運用まで、新しいアイデアと高い技術力を駆使し実用へと導くことができる付加価値の高い理工系人材は、欠くことのできない存在である。

この社会的要請をふまえ、平成 27 年 3 月、文部科学省は、「理工系人材育成戦略」を取りまとめ、理工系人材の質的充実・量的確保に向け、戦略的に人材育成に取り組んでいるところである。

また、OECD 諸国の多くが理工系学部の学生数を増やしているなか、わが国は大学において理工系を専攻する学生が OECD 平均より低いうえに、ほとんど変わっていない現状にある状況をふまえ、令和 5 年 4 月、文部科学省は、「大学・高等機能強化支援事業の創設について」を取りまとめ、意欲ある大学・高専によるデジタル・グリーン等の成長分野の理工系人材育成に対する基金による継続的支援を打ち出し取り組んでいるところである。

また、地域的な観点においては、本学が立地する関西地域は、日本三大工業地帯の一つ、阪神工業地帯に位置しており、第 2 次、第 3 次産業の割合が高く、機械製造や化学工業、鉄鋼業などの事業所、関係する中小企業が集積しており、製造業の事業所数は全国第 2 位の全国比 8.11%にあたる 1 万 5,600 件超の事業所が集まっている【資料 3】。

以上の全国的、地域的、社会的動向から、本学部学科が養成する人材の需要は高いものとする。

【資料 3】製造業事業所数の上位 20 都道府県

（資料：総務省・経済産業省「令和 3 年経済センサス活動調査」）

○ 情報学部情報学科

前述の理工学部理工学科において記載の通り、わが国は、理工系人材の質的充実・量的確保に向け、戦略的に人材育成に取り組んでいく必要があるという趣旨から、平成 27 年 3 月、文部科学省は、「理工系人材育成戦略」を取りまとめ、精力的に取り組んでいるところである。

また、わが国は大学において理工系を専攻する学生が OECD 平均より低く、ほとんど変わ

っていない現状をふまえ、令和 5 年 4 月、文部科学省は、「大学・高等機能強化支援事業の創設について」を取りまとめ、意欲ある大学・高専によるデジタル・グリーン等の成長分野の理工系人材育成に対する基金による継続的支援を打ち出し取り組んでいるところである。

また特に、本学部学科において養成する IT 人材については、人材のスキル転換が停滞した場合、2030 年には先端 IT 人材が 54.5 万人不足するという試算が経済産業省委託調査において示されている。

また、地域的な観点においても、りそな総合研究所のレポートによると、2025 年には、関東地域では必要な IT 人材の 69%を確保できる一方で、中小・中堅の IT 企業が多い関西地域ではわずか 38%にとどまると予測しており【資料 4】、本学が立地する関西地域の IT 人材需要は非常に高い状況にあるといえる。

以上の全国的、地域的、社会的動向から、本学部学科が養成する人材の需要は高いものと考ええる。

【資料 4】確実に不足する AI、IoT 人材 ～関西での 2025 年の充足率はわずか 38%～
(りそな総合研究所)

②中長期的な 18 歳人口等入学対象人口の全国的、地域的動向の分析

18 歳人口減少については、令和 5 年 9 月 25 日開催の中央教育審議会総会（第 137 回）会議資料「18 歳人口と高等教育機関への進学率等の推移」【資料 5】において、10 年後の令和 16 年には約 100 万人に、更にその 5 年後の令和 21 年には約 86 万人に急激に減少することが予想されることが示されたが、その先においても近年の大幅な出生数減少傾向により、さらに減少速度が速まるものと考えられる。

この 18 歳人口が毎年減少する厳しい状況の中、「大阪府」「兵庫県」の人口増減率をみると、平成 25(2013)年度から令和 5(2023)年度の 10 年間の人口増減率が全国平均 97.72%のところ、「大阪府」「兵庫県」は平均 97.83%、平成 30(2018)年度から令和 5(2023)年度の 5 年間の人口増減率が、全国平均 98.34%のところ、「大阪府」「兵庫県」は平均 98.68%と、いずれも全国平均に比べ高い数値を示している【資料 6】。

また、令和 5(2023)年度の都道府県別・年齢階層別人口統計データをみると、本学の主な募集地域「大阪府」「兵庫県」の人口総数は 14,244 千人と、全国総人口 125,416 千人の 11.36%を占めており、若年年齢階層の人口比率をみると、15～19 歳の年齢階層では、全国平均 4.46%に対して、「大阪府」「兵庫県」の平均が 4.53%、10～14 歳の年齢階層では、全国平均 4.31%に対して 4.34%、5～9 歳の年齢階層では、全国平均 4.03%に対して 4.02%、0～4 歳の年齢階層では、全国平均 3.41%に対して 3.48%と、全国平均に比べ概ね高い数値を示している【資料 7】。

更に、平成 24(2012)年度と令和 4(2022)年度の都道府県別・出生数対比データをみると、全国平均増減率 74.31%に対して、「大阪府」「兵庫県」の平均は 75.39%と高い数値を示しており、

全国的な傾向同様、「大阪府」「兵庫県」においても 18 歳人口減少の傾向は続くものの、全国と比べると緩やかな傾向にあるといえる【資料 8】。

【資料 5】18 歳人口と高等教育機関への進学率等の推移

(中央教育審議会総会 (第 137 回) 会議資料)

【資料 6】都道府県別 人口増減率 (総務省統計局データより作成)

【資料 7】都道府県別 階層別人口 (令和 5 年住民基本台帳年齢階級別人口 (都道府県別))

【資料 8】都道府県別 出生数増減率

(「人口動態調査」厚生労働省 人口動態・保健社会統計室データ)

③収容定員を増加する組織の主な学生募集地域

本学のキャンパスは、京阪神都市圏の中心に位置する大阪府吹田市にあり、最寄駅は、京阪神大都市圏を横断する JR 京都線の「吹田駅」、大阪市を縦断する大阪メトロ堺筋線と相互乗り入れをする阪急千里線の「吹田駅」で、各駅から徒歩 10 分前後と交通至便の恵まれた立地にあり、通学 1 時間圏内のエリアは、大阪府全域、兵庫県神戸市以東、京都市以南で、主な学生募集地域は、「大阪府」「兵庫県」と考えている。

この両府県からの過去 3 年間の平均入学者数 (全体比率) をみると、保健医療学部看護学科が、大阪府 90 名 (72.1%)、兵庫県 15 名 (12.0%)、理工学部理工学科が、大阪府 151 名 (59.8%)、兵庫県 46 名 (18.4%)、情報学部情報学科が、大阪府 122 名 (55.4%)、兵庫県 38 名 (17.3%) と、全体の約 80% を占めている【資料 9】。

また一方、2023 年度の学校基本調査における出身高校の所在地県別の入学者数の構成比 (上位 5 都道府県) をみると、大阪府が 49.3%、兵庫県が 13.1% となり【別紙 1】、両府県の本学の入学者比率は、学校基本調査よりも高い数値を示しており、「大阪府」「兵庫県」を主な募集地域として設定することは妥当であると考ええる。

【別紙 1】収容定員を増加する組織が置かれる都道府県への入学状況

(出身高校の所在地県別の入学者数の構成比 (上位 5 都道府県))

【資料 9】本学における出身高校の所在地別入学者数データ

④既設組織の定員充足の状況

本学の直近 5 年間の各学部学科の入試結果推移データをみると、まず、教育学部教育学科の志願倍率は、実志願者数において、令和 2(2020)年度が 5.56 倍、令和 3(2021)年度が 5.06 倍、令和 4(2022)年度が 4.83 倍、令和 5(2023)年度が 3.62 倍、令和 6(2024)年度が 3.19 倍と堅調に推移しており、入学定員充足率も、令和 2(2020)年度が 1.16、令和 3(2021)年度が 1.02、令和 4(2022)年度が 1.16、令和 5(2023)年度が 1.07、令和 6(2024)年度が 1.16 と定員充足を続けている (別紙 2 - 1)。

次に、保健医療学部看護学科の志願倍率は、実志願者数において、令和 2(2020)年度が 5.71 倍、令和 3(2021)年度が 4.91 倍、令和 4(2022)年度が 6.16 倍、令和 5(2023)年度が 5.19 倍、令和 6(2024)年度が 3.74 倍と堅調に推移しており、入学定員充足率も、令和 2(2020)年度が 1.20、令和 3(2021)年度が 1.05、令和 4(2022)年度が 1.10、令和 5(2023)年度が 1.26、令和 6(2024)年度が 1.40 と定員充足を続けている（別紙 2－2）。

次に、保健医療学部総合リハビリテーション学科の志願倍率は、実志願者数において、令和 2(2020)年度が 3.97 倍、令和 3(2021)年度が 3.42 倍、令和 4(2022)年度が 4.86 倍、令和 5(2023)年度が 5.45 倍、令和 6(2024)年度が 2.55 倍と堅調に推移しており、入学定員充足率も、令和 2(2020)年度が 1.16、令和 3(2021)年度が 1.05、令和 4(2022)年度が 1.02、令和 5(2023)年度が 1.01、令和 6(2024)年度が 1.03 と定員充足を続けている（別紙 2－3）。

次に、政治経済学部政治・政策学科の志願倍率は、実志願者数において、令和 2(2020)年度が 4.21 倍、令和 3(2021)年度が 4.57 倍、令和 4(2022)年度が 3.34 倍、令和 5(2023)年度が 3.00 倍、令和 6(2024)年度が 3.06 倍と堅調に推移しており、入学定員充足率も、令和 2(2020)年度が 1.08、令和 3(2021)年度が 1.15、令和 4(2022)年度が 1.03、令和 5(2023)年度が 1.07、令和 6(2024)年度が 1.10 と定員充足を続けている（別紙 2－4）。

次に、政治経済学部経済経営学科の志願倍率は、実志願者数において、令和 2(2020)年度が 4.67 倍、令和 3(2021)年度が 5.08 倍、令和 4(2022)年度が 3.57 倍、令和 5(2023)年度が 4.28 倍、令和 6(2024)年度が 4.37 倍と堅調に推移しており、入学定員充足率も、令和 2(2020)年度が 1.10、令和 3(2021)年度が 1.08、令和 4(2022)年度が 1.05、令和 5(2023)年度が 1.17、令和 6(2024)年度が 1.17 と定員充足を続けている（別紙 2－5）。

次に、令和 6 年度開設の政治経済学部グローバルビジネス学科の志願倍率は、実志願者数において、令和 6(2024)年度が 3.03 倍、入学定員充足率は、令和 6(2024)年度が 0.81 と定員に満たなかった（別紙 2－6）。これは、本学では、養成する人材像、ディプロマ・ポリシーをふまえ、本学科入学生の学力レベルを一定の高さで保ちたく考えており、合否判定ラインを厳しく設定したこと、また、認可後の学生募集期間が短く、十分に周知を図ることができなかったことが要因と考えている。次年度以降は、一層、広報活動・学生活動に努め、定員充足を図りたい。

次に、令和 2(2020)年度開設の理工学部理工学科の志願倍率は、実志願者数において、令和 2(2020)年度が 3.97 倍、令和 3(2021)年度が 2.26 倍、令和 4(2022)年度が 2.61 倍、令和 5(2023)年度が 2.31 倍、令和 6(2024)年度が 2.46 倍と堅調に推移しており、入学定員充足率も、令和 2(2020)年度が 1.13、令和 3(2021)年度が 1.02、令和 4(2022)年度が 1.11、令和 5(2023)年度が 1.10、令和 6(2024)年度が 1.08 と定員充足を続けている（別紙 2－7）。

次に、令和 3(2021)年度開設の社会学部社会学科の志願倍率は、実志願者数において、令和 3(2021)年度が 4.73 倍、令和 4(2022)年度が 5.27 倍、令和 5(2023)年度が 4.11 倍、令和 6(2024)年度が 3.64 倍と堅調に推移しており、入学定員充足率も、令和 3(2021)年度が 1.09、令和 4(2022)年度が 1.17、令和 5(2023)年度が 1.08、令和 6(2024)年度が 1.04 と定員充足を続けている（別紙 2－8）。

最後に、令和 5（2023）年度開設の情報学部情報学科は、志願倍率は、実志願者数におい

て、令和 5(2023)年度が 2.94 倍、令和 6(2024)年度が 3.85 倍、入学定員充足率は、令和 5(2023)年度が 1.28、令和 6(2024)年度が 0.91 であった（別紙 2－9）。

令和 5（2023）年度の入学定員の大幅超過は、開設初年度入試であり、歩留まり設定が非常に難しかったことが要因と考えており、この結果を受けて、令和 6（2024）年度は、高い歩留まり率を設定していたが、学校推薦型選抜（公募制）において志願者数が前年を上回り、さらに歩留まり率設定を高めたところ、想定比率に至らず、入学定員を割り込む結果となった。

次年度以降は、過去の入試分析、併願校把握の取り組みを徹底し、歩留まり率設定の精度を上げ、適正な入学者数確保に努めたい。

【別紙 2－1～2－9】各学部学科の既設学科等の入学定員・収容定員の充足状況等（直近 5 年間）

（3）学生確保の見通し

①学生確保に向けた具体的な取組と見込まれる効果

ア 既設組織における取組とその目標

○ 保健医療学部看護学科

（オープンキャンパス参加者数）

保健医療学部（看護学科及び総合リハビリテーション学科）における過去 3 年間のオープンキャンパス参加者数・入学率データをみると、令和 4 年度入試においては、受験対象参加者数 858 人に対して 135 人（入学率 15.7%）、令和 5 年度入試においては、受験対象参加者数 1061 人に対して 169 人（入学率 15.9%）、令和 6 年度入試においては、受験対象参加者数 792 人に対して 133 人が入学しており（入学率 16.8%）、オープンキャンパスの受験対象参加者の入学率は堅調に推移している（別紙 3－1 ①）。

【別紙 3－1 ①】 既設学科等の学生募集のための PR 活動の過去の実績
（大和大学保健医療学部のオープンキャンパス）

（資料請求者数）

保健医療学部（看護学科及び総合リハビリテーション学科）における過去 3 年間の資料請求者数・入学率データをみると、令和 4 年度入試においては、受験対象請求者数 3,882 人に対して 210 人（入学率 5.4%）、令和 5 年度入試においては、受験対象請求者

数 5,625 人に対して 208 人（入学率 3.7%）、令和 6 年度入試においては、受験対象請求者数 6,112 人に対して 211 人が入学しており（入学率 3.5%）、受験対象資料請求者数、入学率とも堅調に推移している（別紙 3－1 ②）。

【別紙 3－1 ②】 既設学科等の学生募集のための PR 活動の過去の実績
（大和大学保健医療学部資料請求者数）

（ホームページアクセス数）

保健医療学部（看護学科）における過去 3 年間のホームページアクセス数データを見ると、令和 4 年度は 24,500 アクセス、令和 5 年度は 20,631 アクセス、令和 6 年度は 34,083 アクセスと堅調に推移している（別紙 3－1 ③）。

【別紙 3－1 ③】 既設学科等の学生募集のための PR 活動の過去の実績
（大和大学保健医療学部看護学科のホームページアクセス数）

○ 理工学部理工学科

（オープンキャンパス参加者数）

理工学部理工学科における過去 3 年間のオープンキャンパス参加者数・入学率データをみると、令和 4 年度入試においては、受験対象参加者数 339 人に対して 55 人（入学率 16.2%）、令和 5 年度入試においては、受験対象参加者数 375 人に対して 60 人（入学率 16.0%）、令和 6 年度入試においては、受験対象参加者数 286 人に対して 54 人が入学しており（入学率 18.9%）、オープンキャンパスの受験対象参加者の入学率は堅調に推移している（別紙 3－2 ①）。

【別紙 3－2 ①】 既設学科等の学生募集のための PR 活動の過去の実績
（大和大学理工学部のオープンキャンパス）

（資料請求者数）

理工学部理工学科における過去 3 年間の資料請求者数・入学率データをみると、令和 4 年度入試においては、受験対象請求者数 3,481 人に対して 180 人（入学率 5.2%）、令和 5 年度入試においては、受験対象請求者数 6,636 人に対して 199 人（入学率 3.0%）、令和 6 年度入試においては、受験対象請求者数 7,069 人に対して 203 人が入学しており（入学率 2.9%）、受験対象資料請求者数、入学率とも堅調に推移している（別紙 3－2 ②）。

【別紙 3－2 ②】 既設学科等の学生募集のための PR 活動の過去の実績
(大和大学理工学部の資料請求者数)

(ホームページアクセス数)

理工学部理工学科における過去 3 年間のホームページアクセス数データをみると、令和 4 年度は 48,262 アクセス、令和 5 年度 34,625 アクセス、令和 6 年度は 76,620 アクセスと堅調に推移している (別紙 3－2 ③)。

【別紙 3－2 ③】 既設学科等の学生募集のための PR 活動の過去の実績
(大和大学理工学部理工学科のホームページアクセス数)

○ 情報学部情報学科

(オープンキャンパス参加者数)

情報学部情報学科における開設後の過去 2 年間のオープンキャンパス参加者数・入学率データをみると、令和 5 年度入試においては、受験対象参加者数 339 人に対して 54 人 (入学率 15.9%)、令和 6 年度入試においては、受験対象参加者数 390 人に対して 65 人が入学しており (入学率 16.7%)、オープンキャンパスの受験対象参加者の入学率は堅調に推移している (別紙 3－3 ①)。

【別紙 3－3 ①】 既設学科等の学生募集のための PR 活動の過去の実績
(大和大学情報学部情報学科のオープンキャンパス)

(資料請求者数)

情報学部情報学科における開設後の過去 2 年間の資料請求者数・入学率データをみると、令和 5 年度入試においては、受験対象請求者数 2,667 人に対して 238 人が入学しており (入学率 8.9%)、令和 6 年度入試においては、受験対象請求者数 4,121 人に対して 176 人が入学しており (入学率 4.3%)、受験対象資料請求者数、入学率とも堅調に推移している (別紙 3－3 ②)。

【別紙 3－3 ②】 既設学科等の学生募集のための PR 活動の過去の実績
(大和大学情報学部の資料請求者数)

(ホームページアクセス数)

情報学部情報学科における開設後の過去2年間のホームページアクセス数データを見ると、令和5年度62,435アクセス、令和6年度は112,363アクセスと堅調に推移している(別紙3-3③)。

【別紙3-3③】 既設学科等の学生募集のためのPR活動の過去の実績
(大和大学理工学部理工学科のホームページアクセス数)

イ 収容定員を増加する組織における取組とその目標

○ 保健医療学部看護学科

本学科における学生募集のためのPR活動は、既設の保健医療学部看護学科の1年次入学生の広報展開の一層の強化とともに、4年次編入学生のPR対象となる3年制課程看護師養成校への広報展開を図ることにより、本学科全体の志願者数の拡充を図ることを基本方針とする。

特に、オープンキャンパスにおいては、模擬講義や、在学生によるフリートークコーナーに重点を置き、入学後の学び、学生生活へのイメージや、安心感を抱いて帰っていただく取り組みを展開し、オープンキャンパス参加者の満足度、受験率を上げることを広報戦略の柱に据えている。

広報展開は、ホームページ、大学案内配布、専用リーフレット、入試ガイド、各種広報媒体による広報展開とともに、高等学校・塾予備校、3年制課程看護師養成校への訪問、説明会実施による広報展開を年間通じて実施するとともに、6月から12月の間、計6回のオープンキャンパスを開催し、年間を通じてキャンパス見学会を開催する計画である。

以上の広報展開により、保健医療学部の令和7年度入試においては、オープンキャンパスの受験対象参加者数約904人(うち編入対象者約39人)、受験対象資料請求者数約5,206人(うち編入対象者約226人)、保健医療学部看護学科のホームページアクセス数約26,400アクセスの達成を目標とする(別紙3-1)。

【別紙3-1】 既設学科等の学生募集のためのPR活動の過去の実績

○ 理工学部理工学科

本学部学科における学生募集のためのPR活動は、既設の理工学部理工学科の広報展開の一層の強化とともに、「情報科学専攻」の「情報学部」への発展的一本化、「情報」関連の学びを含む「機械工学専攻」「電気電子工学専攻」の各専攻の名称変更、また「生

物生命科学専攻」開設を周知するための広報展開を図ることにより、本学科全体の志願者数の拡充を図ることを基本方針とする。

特に、オープンキャンパスにおいて、模擬講義や、在学生によるフリートークコーナーに重点を置き、入学後の学び、学生生活へのイメージや、安心感を抱いて帰っていただく取り組みを展開し、オープンキャンパス参加者の満足度、受験率を上げることを広報戦略の柱に据えている。

広報展開は、ホームページ、大学案内配布、専用リーフレット、入試ガイド、各種広報媒体による広報展開とともに、高等学校・塾予備校への訪問、説明会実施による広報展開を年間通じて実施するとともに、6月から12月の間、計6回のオープンキャンパスを開催し、年間を通じてキャンパス見学会を開催する計画である。

以上の広報展開により、本学部学科の令和7年度入試においては、オープンキャンパスの受験対象参加者数約427人、受験対象資料請求者数約7,332件、ホームページアクセス数約68,000アクセスの達成を目標とする（別紙3-2）。

【別紙3-2】 既設学科等の学生募集のためのPR活動の過去の実績

○ 情報学部情報学科

本学部学科における学生募集のためのPR活動は、既設の情報学部情報学科の広報展開の一層の強化とともに、理工学部理工学科の「情報科学専攻」を「情報学部」に発展的一本化させ、「情報学部」の収容定員変更を増員することを周知するための広報展開を図ることにより、本学科全体の志願者数の拡充を図ることを基本方針とする。

特に、オープンキャンパスにおいて、模擬講義や、在学生によるフリートークコーナーに重点を置き、入学後の学び、学生生活へのイメージや、安心感を抱いて帰っていただく取り組みを展開し、オープンキャンパス参加者の満足度、受験率を上げることを広報戦略の柱に据えている。

広報展開は、ホームページ、大学案内配布、専用リーフレット、入試ガイド、各種広報媒体による広報展開とともに、高等学校・塾予備校への訪問、説明会実施による広報展開を年間通じて実施するとともに、6月から12月の間、計6回のオープンキャンパスを開催し、年間を通じてキャンパス見学会を開催する計画である。

以上の広報展開により、本学部学科の令和7年度入試においては、オープンキャンパスの受験対象参加者数約456人、受験対象資料請求者数約4,243件、ホームページアクセス数約109,000アクセスの達成を目標とする（別紙3-3）。

【別紙3-3】 既設学科等の学生募集のためのPR活動の過去の実績

ウ 当該取組の実績の分析結果に基づく、収容定員を増加する組織での入学者の見込み数

○ 保健医療学部（看護学科、総合リハビリテーション学科）

前述の本学科における学生募集のための PR 活動を展開するとともに、オープンキャンパスについては、過去 3 年間の平均値である保健医療学部の受験対象参加者数約 904 人（うち編入対象者約 39 人）を達成することによって、資料請求者数については、過去 3 年間の平均値である保健医療学部の受験対象資料請求者数約 5,206 人（うち編入対象者約 226 人）を達成することによって、本学科のホームページアクセス数については、過去 3 年間の平均値である約 26,400 アクセスを達成することによって、入学定員を充足している現行相当の志願者数、及び、編入学定員 10 人が確保できるものと見込んでいる。

○ 理工学部理工学科

前述の本学部学科における学生募集のための PR 活動を展開するとともに、オープンキャンパスについては、過去 3 年間の平均値の入学定員増加率（1.28 倍）にあたる受験対象参加者数約 427 人を達成することによって、資料請求者数については、過去 3 年間の平均値の入学定員増加率（1.28 倍）にあたる受験対象資料請求者数約 7,332 人を達成することによって、ホームページアクセス数については、過去 3 年間の平均値の入学定員増加率（1.28 倍）にあたる約 68,000 アクセスを達成することによって、入学定員を充足している現行相当の志願者数、及び、入学定員 295 人を十分確保できるものと見込んでいる。

【別紙 3－2】 既設学科等の学生募集のための PR 活動の過去の実績

○ 情報学部情報学科

前述の本学部学科における学生募集のための PR 活動を展開するとともに、オープンキャンパスについては、過去 3 年間の平均値の入学定員増加率（1.25 倍）にあたる受験対象参加者数約 456 人を達成することによって、資料請求者数については、過去 3 年間の平均値の入学定員増加率（1.25 倍）にあたる受験対象資料請求者数約 4,243 人を達成することによって、ホームページアクセス数については、過去 3 年間の平均値の入学定員増加率（1.25 倍）にあたる約 109,000 アクセスを達成することによって、入学定員を充足している現行相当の志願者数、及び、入学定員 250 人を十分確保できるものと見込んでいる。

【別紙 3－3】 既設学科等の学生募集のための PR 活動の過去の実績

②競合校の状況分析（立地条件、養成人材、教育内容と方法の類似性と定員充足状況）

ア 競合校の選定理由と収容定員を増加する組織との比較分析、優位性

○ 保健医療学部看護学科

<競合校>

大阪医科薬科大学看護学部看護学科・関西医科大学看護学部看護学科

<競合校の選定理由>

この度の収容定員変更は4年次編入定員設定であるため、直接の競合校は存在しないが、同学校種、同学部系統分野の学部系統で、学科単位の定員規模も概ね同規模、所在地も本学から半径15km圏内に位置し、学力層においても同程度レベルの本学保健医療学部看護学科の1年次入学における上記の競合校を設定した。

<競合校との比較分析>

上記競合校と本学保健医療学部看護学科を比較すると、まず、教育内容と方法の観点において、本学保健医療学部看護学科では、ディプロマ・ポリシーにおいて「豊かな人間性と幅広い教養、自他の人権の尊重を基盤とした価値観」を身に付けることを教育目的に掲げ、「チーム医療概論」等の授業科目を開設するなど、総合リハビリテーション学科と連携した学びを展開する点、学科の枠組みを超えて広い知識、視野をみにつけることができる点において優位性があると考ええる。

また、就職支援の観点において、本学科では、キャリアセンターを拠点に学生への情報提供、指導展開を図るとともに、1年次から4年次までクラス担任制を導入することで、所属学生に対するきめ細かな進路指導を展開し、高い進路実績を上げている。また、大学院進学によりステップアップを図ることができる点においても優位性があると考ええる。

入試については、入試日程を同時期に設定するとともに、入学手続時期を調整することにより、競合校と本学を併願する志願者の取り込みと、入学者レベルの向上を図る取り組みを展開しており、学生納付金、奨学金制度、取得可能資格などの学生支援においては、同程度の金額、内容の設定としている。

また、本学保健医療学部看護学科では、3年制課程看護師養成校において修得した単位の読み替え、及び本学科の他学年開授業科目の履修による単位修得とともに、4年次編入学生用の授業科目を開設し、3年制課程看護師養成校において身につけた知識、技術を基礎に、幅広い医療領域の学び、発展的、実践的な研究を展開して

いる点において優位性があると考ええる。

以上の各点から、総合的に、本学科 4 年次編入は、競合校に対して優位性が高いと考える。

○ 理工学部理工学科

<競合校>

関西大学システム理工学部・立命館大学理工学部・近畿大学理工学部

<競合校の選定理由>

上記の競合校は、同学校種、同学部系統分野の学部系統で、学科単位の定員規模も概ね同規模である。所在地も、本学から半径 15km 圏内又は同じ鉄道路線の沿線に位置し、学力層においても同程度レベルであることから、競合校として選定した。

<競合校との比較分析>

上記競合校と比較すると、まず、教育内容と方法の観点において、本学部学科は、ディプロマ・ポリシーに掲げる『「理学」「工学」を俯瞰的に見つめ、学科共通となる基礎力、各専攻の専門領域に関する知識、技術、能力とともに、他分野の知識、技術を有し、それらを融合させる論理的、創造的思考力』を身につけることを教育目的の柱としており、理工の基礎力と幅広い視野をもった人材を養成するとともに、卒業後の進路において、国公立大学大学院への進学に力点を置いている点で優位性があると考ええる。

また、就職支援の観点において、本学部学科では、キャリアセンターを拠点に学生への情報提供、指導展開しつつ、1 年次から 4 年次までクラス担任制を導入することで、所属学生に対するきめ細かな進路指導を展開し、高い進路実績を上げている点、また、大学院進学によりステップアップを図ることができる点においても優位性があると考ええる。

入試については、入試日程を同時期に設定するとともに、入学手続時期を調整することにより、競合校と本学を併願する志願者の取り込みと、入学者レベルの向上を図る取り組みを展開しており、学生納付金、奨学金制度、取得可能資格などの学生支援においては、同程度の金額、内容の設定としている。

また、本学部学科では、理工系人材に求められる情報に関する知識、英語力の向上を図るべく、情報、英語関連の資格取得の推進に精力的に取り組んでいる点においても、優位性があるものと考ええる。

以上の各点から、総合的に、本学部学科は、競合校に対して優位性が高いと考え

る。

○ 情報学部情報学科

<競合校>

関西大学総合情報学部・立命館大学情報理工学部・近畿大学情報学部

<競合校の選定理由>

上記の競合校は、同学校種、同学部系統分野の学部系統で、学科単位の定員規模も概ね同規模である。所在地も、本学から半径 15km 圏内又は同じ鉄道路線の沿線に位置し、学力層においても同程度レベルであることから、競合校として選定した。

<競合校との比較分析>

上記競合校と比較すると、まず、教育内容と方法の観点において、本学部学科は、ディプロマ・ポリシーに掲げる「多角的な視点で情報をとらえ、課題解決に取り組むことにより、情報を収集、考察し、自らの考えを発信する力」を身につけることを教育目的の柱としており、情報科学、社会科学にわたる幅広い知識、視野を身につけた人材を養成している点、また、卒業後の進路において、国公立大学大学院への進学に力点を置いている点で優位性があると考ええる。

また、就職支援の観点において、本学部学科では、キャリアセンターを拠点に学生への情報提供、指導展開しつつ、1 年次から 4 年次までクラス担任制を導入することで、所属学生に対するきめ細かな進路指導を展開し、高い進路実績を上げている。また、大学院進学によりステップアップを図ることができる点においても優位性があると考ええる。

入試については、入試日程を同時期に設定するとともに、入学手続時期を調整することにより、競合校と本学を併願する志願者の取り込みと入学者レベルの向上を図る取り組みを展開しており、学生納付金、奨学金制度、取得可能資格などの学生支援においては、同程度の金額、内容の設定としている。

また、本学部学科では、IT 人材に求められる情報に関する知識、英語力の向上を図るべく、情報、英語関連の資格取得の推進に精力的に取り組んでいる点においても優位性があるものと考ええる。

以上の各点から、総合的に、本学部学科は、競合校に対して優位性が高いと考える。

イ 競合校の入学志願動向等

○ 保健医療学部看護学科

競合校となる学科等の過去3年間の入学志願状況等については、まず、大阪医科薬科大学看護学部看護学科の令和3(2021)年度入試の結果をみると、志願者数907名、受験者数896名、合格者数254名、入学者数93名、定員充足率1.09。令和4(2022)年度入試の結果をみると、志願者数927名、受験者数909名、合格者数251名、入学者数88名、定員充足率1.03。令和5(2023)年度入試の結果をみると、志願者数746名、受験者数729名、合格者数286名、入学者数89名、定員充足率1.04となっている。

関西医科大学看護学部看護学科の令和3(2021)年度入試の結果をみると、志願者数1,207名、受験者数1,190名、合格者数261名、入学者数100名、定員充足率1.00。令和4(2022)年度入試の結果をみると、志願者数1,282名、受験者数1,259名、合格者数287名、入学者数104名、定員充足率1.04。令和5(2023)年度入試の結果をみると、志願者数1,539名、受験者数1,519名、合格者数269名、入学者数101名、定員充足率1.01となっている。

以上の通り、競合校の過去3年間の入学定員充足率平均をそれぞれみると、大阪医科薬科大学看護学部看護学科は1.05、関西医科大学看護学部看護学科は1.01、大和大学理工学部は1.13となり、競合校及び本学科のいずれにおいても入学定員を充足できている状況にあり、前述の過去3年間の本学科の入学定員充足状況、本学科の有意性、また、4年次編入定員を設定している競合校が存在しないこと、及び、後述の第三者機関による「学生確保に関するアンケート調査」結果から定員充足できるものとする。

○ 理工学部理工学科

競合校となる学科等の過去3年間の入学志願状況等については、まず、関西大学システム理工学部の令和3(2021)年度入試の結果をみると、志願者数8,139名、受験者数7,933名、合格者数2,367名、入学者数501名、定員充足率1.00。令和4(2022)年度入試の結果をみると、志願者数7,952名、受験者数7,690名、合格者数2,427名、入学者数521名、定員充足率1.03。令和5(2023)年度入試の結果をみると、志願者数7,992名、受験者数7,748名、合格者数2,651名、入学者数535名、定員充足率1.06となっている。

立命館大学理工学部の令和3(2021)年度入試の結果をみると、志願者数16,426名、合格者数7,836名、入学者数1,022名、定員充足率1.06。令和4(2022)年度入試の結果をみると、志願者数18,140名、合格者数7,981名、入学者数959名、定員充足率1.01。令和5(2023)年度入試の結果をみると、志願者数18,657名、合格者数8,046名、入学者数1,086名、定員充足率1.13となっている。

近畿大学理工学部の令和 3（2021）年度入試の結果をみると、志願者数 32,313 名、受験者数 30,230 名、合格者数 9,194 名、入学者数 1,223 名、定員充足率 1.08。令和 4（2022）年度入試の結果をみると、志願者数 31,564 名、受験者数 29,191 名、合格者数 8,596 名、入学者数 1,156 名、定員充足率 1.11。令和 5（2023）年度入試の結果をみると、志願者数 31,564 名、受験者数 29,191 名、合格者数 8,596 名、入学者数 1,049 名、定員充足率 1.00 となっている。

以上の通り、競合校の過去 3 年間の入学定員充足率平均をそれぞれみると、関西大学システム理工学部は 1.03、近畿大学理工学部は 1.06、本学部学科は 1.07 となり、競合校及び本学部学科のいずれにおいても入学定員を充足できている状況にあり、前述の過去 3 年間の入学定員充足状況、本学部学科の優位性等を総合的に判断し、定員充足ができると考える。

○ 情報学部情報学科

競合校となる学科等の過去 3 年間の入学志願状況等については、まず、関西大学総合情報学部の令和 3（2021）年度入試の結果をみると、志願者数 5,066 名、受験者数 5,012 名、合格者数 831 名、入学者数 513 名、定員充足率 1.02。令和 4（2022）年度入試の結果をみると、志願者数 4,728 名、受験者数 4,629 名、合格者数 1,009 名、入学者数 557 名、定員充足率 1.11。令和 5（2023）年度入試の結果をみると、志願者数 5,536 名、受験者数 5,378 名、合格者数 877 名、入学者数 502 名、定員充足率 1.00 となっている。

立命館大学情報理工学部の令和 3（2021）年度入試の結果をみると、志願者数 5,200 名、合格者数 2,047 名、入学者数 496 名、定員充足率 1.04。令和 4（2022）年度入試の結果をみると、志願者数 5,698 名、合格者数 1,976 名、入学者数 478 名、定員充足率 1.00。令和 5（2023）年度入試の結果をみると、志願者数 6,297 名、合格者数 1,989 名、入学者数 499 名、定員充足率 1.05 となっている。

近畿大学情報学部の入試結果は、開設年度にあたる令和 4（2022）年度入試をみると、志願者数 15,624 名、受験者数 16,253 名、合格者数 2,507 名、入学者数 360 名、定員充足率 1.09。令和 5（2023）年度入試の結果をみると、志願者数 12,507 名、受験者数 12,307 名、合格者数 1,140 名、入学者数 323 名、定員充足率 0.97 となっている。

以上の通り、競合校の過去 3 年間の入学定員充足率平均をそれぞれみると、関西大学システム理工学部は 1.04、近畿大学理工学部は 1.08、本学部学科は 1.28 となり、いずれの学部においても入学定員を充足できる状況にあり、前述の過去 2 年間の本学部学科の入学定員充足状況、優位性等を総合的に判断し、定員充足ができると考える。

ウ 収容定員を増加する組織において定員を充足できる根拠等

競合校定員充足のため該当しない。

エ 学生納付金等の金額設定の理由

○ 保健医療学部看護学科

競合大学の学生納付金をみると、大阪医科薬科大学看護学部看護学科は 170.0 万円、関西医科大看護学部看護学科は 165.0 万円で、平均 167.5 万円となり、本学科は 176.0 万円となることから、学生納付金はほぼ同等であり妥当と考える。

○ 理工学部理工学科

競合大学の学生納付金をみると、関西大学システム理工学部は、669.3 万円、立命館大学理工学部は、689.0 万円、近畿大学理工学部は、630.4 万円で、平均 649.5 万円なり、本学部は 635.0 万円となることから、学生納付金はほぼ同等であり妥当と考える。

○ 情報学部情報学科

競合大学の学生納付金をみると、関西大学総合情報学部は、592.6 万円、立命館大学情報理工学部は、689.0 万円、近畿大学情報学部は、630.4 万円、平均 611.5 万円となり、本学部は 514.0 万円となることから、本学部の学費負担は少なく競合校と比べ優位性があると考ええる。

③先行事例分析

既設組織を廃止しての新設組織設置ではないため該当しない。

④学生確保に関するアンケート調査

○ 保健医療学部看護学科

この度の本学科の編入定員設定にあたり、3 年制課程看護師養成校に在籍する現 3 年生を対象に、本学科 4 年次への編入受験、入学意欲に関するアンケート調査を第三者機関に依頼実施し、以下の調査結果を得た。

<大和大学「保健医療学部 看護学科」4 年次編入学についてのアンケート調査 概要>

調査目的	令和 7 年(2025 年)度大和大学が 4 年次編入学を受け入れ開始予定の大和大学保健医療学部看護学科(編入学定員 10 名)における志願者、入学者等の学生確保
------	---

	保の見通しを測定することを目的とした。
調査時期	令和 6 年 5 月～6 月
調査対象者	近隣の 3 年制課程看護師養成校に在学する令和 6 年度時点 3 年生の学生（令和 7 年 3 月卒業予定者）
調査内容	・回答者の基本情報（居住地、性別） ・卒業後の希望進路 ・希望する大学等の設置者 ・興味のある学問分野 ・大和大学保健医療学部への受験・編入学意向
調査方法	教職員の監督のもと実施、その場で回収形式
実施人数	有効回答数 2 校 106 件

以上の通り、近隣の 3 年制課程看護師養成校に在学する令和 6 年度時点 3 年生の学生を対象とするアンケート調査を 56 校に依頼し、2 校計 106 名から回答を得た。

アンケート調査においては、本学の看護学科の特色・学費・アクセスなどを具体的に示したうえで、受験意欲について回答を求めた。

その結果の 5 重クロス集計を行ったところ、20 名（回答者全体の 18.8%）が看護学科への編入学試験を「受験したい」と回答し、また、受験意欲を示した 20 名に対し、合格した場合の編入学意欲について回答を求めたところ、2 名が「第一志望として受験し、合格した場合、編入学する」、6 名が「第二志望として受験し、合格した場合、編入学する」、10 名が「第二志望として受験し、合格した場合、志望順位が上位の他の志望校が不合格の場合に編入学する」、1 名が「第三志望として受験し、合格した場合、編入学する」、1 名が「第三志望として受験し、合格した場合、志望順位が上位の他の志望校が不合格の場合に編入学する」と回答し、「合格した場合、編入学する」「志望順位が上位の他の志望校が不合格の場合に編入学する」と回答した編入学意向を示した者は計 20 名（編入学定員 10 名の 2.0 倍）との結果を得た【資料 10】。

認可後、さらに広報・募集活動展開を図ることにより、受験希望者、編入学希望者の一層の増加が見込まれ、編入学定員は十分確保できるものとする。

【資料 10】 大和大学「保健医療学部 看護学科」4 年次編入学についてのアンケート調査報告書

○ 理工学部理工学科

この度、本学部学科の収容定員変更にあたり、まず、入試状況について、志願者数推移をみると、令和 2(2020)年度が 4,591 人、令和 3(2021)年度が 3,226 人、令和 4(2022)年度が 4,196 人、令和 5(2023)年度が 4,096 人、令和 6(2024)年度が 4,555 人、次に、入学者数推移は、令和 2(2020)年度が 260 人、令和 3(2021)年度が 234 人、令和 4(2022)

年度が 255 人、令和 5(2023)年度が 253 人、令和 6(2024)年度が 249 人、歩留率推移は、令和 2(2020)年度が 0.20、令和 3(2021)年度が 0.16、令和 4(2022)年度が 0.16、令和 5(2023)年度が 0.15、令和 6(2024)年度が 0.15 と堅調に推移している【別紙 2－7】。

また、本学部学科の志願者動向について、オープンキャンパス参加者数をみると、令和 4(2022)年度が 599 人、令和 5(2023)年度が 673 人、令和 6(2024)年度が 501 人、受験率は、令和 4(2022)年度が 35.7%、令和 5(2023)年度が 35.5%、令和 6(2024)年度が 42.0%、入学率は、令和 4(2022)年度が 13.5%、令和 5(2023)年度が 12.4%、令和 6(2024)年度が 14.1%と堅調に推移している。

次に、資料請求者数をみると、令和 4(2022)年度が 25,498 人、令和 5(2023)年度が 39,541 人、令和 6(2024)年度が 39,681 人、受験率は、令和 4(2022)年度が 13.5%、令和 5(2023)年度が 12.4%、令和 6(2024)年度が 14.1%といずれも堅調に推移している【別紙 3－2】。

また、この度の本学部学科の収容定員変更は、一部専攻組織の改編を伴うため、さらに、第三者機関に依頼し、現高等学校 3 年生を対象に、受験、入学意欲に関するアンケート調査を実施し、以下の調査結果を得た。

＜大和大学「理工学部」入学定員増構想に係る高校生アンケート調査 概要＞

調査目的	令和 7 年(2025 年)度到大和大学が入学定員増構想中の大和大学理工学部(入学定員 295 名)における志願者・入学者等の学生確保の見込みを測定することを目的とした。
調査時期	令和 6 年 4 月～6 月
調査対象者	調査対象：令和 7 年 3 月に高等学校卒業予定である現 3 年生(令和 6 年度) 調査地域：大和大学理工学部への志願者実績が多かった主に大阪府、兵庫県を中心とする近畿地方の高等学校 381 校に高校生アンケートを依頼し、期日までに 88 校から返送を得た
調査内容	・回答者の基本情報(居住地、性別) ・卒業後の希望進路 ・希望する大学等の設置者 ・興味のある学問分野 ・大和大学理工学部への受験・入学意向
調査方法	調査実施の了承が得られた高校に対しアンケート用紙を送付し、各校の教職員の監督のもと、高校において実施した。(紙方式・web 方式での回答方法を案内し、いずれかで回答を依頼)
実施人数	5,587 件

以上の通り、アンケート調査は、本学が学生確保の基盤とする近畿地方を中心とした高等学校に依頼し、88校（大阪府50校、兵庫県20校、京都府3校、滋賀県3校、奈良県8校、和歌山県1校）より実施協力をいただき、これら88校に在籍する高等学校3年生（（令和7（2025）年3月卒業予定・令和7（2025）年度に大学進学時期を迎える者）合計5,587人を対象にアンケート調査を行った。アンケート調査においては、本学の理工学科の特色・学費・アクセスなどを具体的に示したうえで、受験意欲について回答を求めた。

なお、5,587名のアンケート対象者のうち、卒業後の進路を大学と回答した者は、4,118名（回答者全体の73.7%）。また、進学先大学として国立大学と回答した者は、1,319名（回答者全体の23.6%）になり、国立大学への進学希望者は広く私立大学を受験する傾向にあると考えられる。

今回のアンケート結果をみると、1,213名（回答者全体の21.7%）が卒業後、私立大学への進路を検討しており、そのうち興味のある学問分野として「理学」または「工学」に属する分野をあげ、本学部学科を「受験する」と回答した者が306名いた。この受験意欲を示した306名に対し合格した場合の入学意欲について回答を求めたところ、「入学する」「合格した場合、志望順位が上位の他の志望校が不合格の場合に入学する」と回答した入学意欲を有する回答者が290名との結果を得た【資料11】。

また、さらに、直近実施の令和6年度第1回オープンキャンパス（令和6年6月15日実施）において、本学部学科、及びこの度の収容定員変更、専攻組織改編予定に関する情報の周知説明を十分図ったうえで、終了後にウェブ形式による参加者アンケートを実施したところ、前述の第三者機関実施のアンケート調査で回答があった高等学校以外的高等学校に在籍する現3年生の参加者98名のうち49名（回答率50.0%）から回答を得た。

これら回答者の「本学の受験を希望しますか」の質問に対する回答は、「第1志望で入学する」と回答した者が15名（対回答者比30.6%）、「第2志望で入学する」と回答した者が4名（対回答者比8.1%）、「第2志望で、志望上位校が不合格となった場合に入学する」と回答した者が11名（対回答者比22.4%）と第2志望までで計30名（対回答者比61.2%）が入学意向を示す結果となった【資料12】。

上記の両アンケート調査で回答を得た高等学校以外的高等学校に在籍する入学希望者の存在、また、前述の現行組織の入試状況、志願者動向、及び、認可後、尚一層、広報・募集活動の展開を図ることによる入学希望者増を考慮すると、入学定員は十分確保できるものとする。

【別紙2-7】 各学部学科の既設学科等の入学定員・収容定員の充足状況（直近5年間）理工学部理工学科

【別紙3-2】 既設学科等の学生募集のためのPR活動の過去の実績（大和大学理工学部）

【資料11】 大和大学理工学部理工学科収容定員の変更に係る学生確保の見通し調査報告

【資料 1 2】 6 月 1 5 日オープンキャンパス理工学部参加者アンケート集計結果

○ 情報学部情報学科

この度、本学部学科の収容定員を変更するにあたり、まず、入試状況について、令和 5 年度開設以来の志願者数推移をみると、令和 5(2023)年度が 2,553 人、令和 6(2024)年度が 2,426 人、入学者数推移は、令和 5(2023)年度が 256 人、令和 6(2024)年度が 182 人、同様に歩留率の推移は、令和 5(2023)年度が 0.30、令和 6(2024)年度が 0.30 と、堅調に推移している【別紙 2－9】。

また、本学部学科の志願者動向について、オープンキャンパス参加者数をみると、令和 5(2023)年度が 599 人、令和 6(2024)年度が 693 人、受験率は、令和 5(2023)年度が 35.1%、令和 6(2024)年度が 35.1%、入学率は、令和 5(2023)年度が 15.9%、令和 6(2024)年度が 16.7%。次に、資料請求者数をみると、令和 5(2023)年度が 34,000 人、令和 6(2024)年度が 34,454 人、受験率は、令和 5(2023)年度が 24.4%、令和 6(2024)年度が 20.5%といずれも堅調に推移している【別紙 3－3】。

また、直近実施の令和 6 年度第 1 回オープンキャンパス（令和 6 年 6 月 15 日実施）において、本学部学科、及びこの度の収容定員変更予定に関する情報の周知説明を十分図ったうえで、終了後にウェブ形式による参加者アンケートを実施したところ、現高等学校 3 年生の参加者 137 名のうち 55 名（回答率 40.1%）から回答を得た。

これら回答者の「本学の受験を希望しますか」の質問に対する回答は、「第 1 志望で入学する」と回答した者が 22 名（対回答者比 40.0%）、「第 2 志望で入学する」と回答した者が 6 名（対回答者比 10.9%）、「第 1 志望及び第 2 志望で、志望上位校が不合格となった場合に入学する」と回答した者が 14 名（対回答者比 25.4%）と第 2 志望までで計 42 名（対回答者比 76.3%）が入学意向を示す結果となった【資料 1 3】。

この第 1 回オープンキャンパス参加回答者以外の入学希望者の存在、また、前述の現行組織の入試状況、志願者動向、及び、認可後、尚一層、広報・募集活動の展開を図ることによる入学希望者増を考慮すると、入学定員は十分確保できるものとする。

【別紙 2－9】 各学部学科の既設学科等の入学定員・収容定員の充足状況（直近 2 年間）情報学部情報学科

【別紙 3－3】 既設学科等の学生募集のための PR 活動の過去の実績（大和大学情報学部）

【資料 1 3】 6 月 1 5 日オープンキャンパス情報学部参加者アンケート集計結果

⑤人材需要に関するアンケート調査等

○ 保健医療学部看護学科

前述の人材需要の社会的な動向等に記載の通り、大阪府は全国で2番目に看護職員が不足する都道府県と推計されており、特に、本学が位置する北摂エリアの人口10万人対看護師数は大阪府平均をも下回っている。

本学科の近年3年間の卒業生の就職実績をみると、令和4年(2022)年3月卒業生106名のうち100名(94.3%)が就職、2名(1.9%)が進学、計102名(96.2%)が就職・進学しており、令和5(2023)年3月卒業生は、110名のうち、106名(96.4%)が就職、4名(3.6%)が進学、計110名(100%)が就職・進学しており、令和6(2024)年3月卒業生は、118名のうち、114名(96.6%)が就職、2名(1.7%)が進学、計114名(98.3%)が就職・進学を果たしている【資料14】。

さらに、本学科の近年3年間の求人状況をみると、令和4年(2022)年3月卒業生106名に対して、求人件数1,057件、求人数4,165人(求人倍率39.3倍)、令和5(2023)年3月卒業生は110名に対して、求人件数1,116件、求人数4,460人(求人倍率40.5倍)、令和6(2024)年3月卒業生118名に対して、求人件数1,169件、求人数4,725人(求人倍率40.0倍)【資料16】と、定員を大きく上回る求人数が継続しており、この度の編入定員設定による増加分を十分満たす人材需要があるものとする。

【資料14】 保健医療学部 看護学科 卒業生就職実績

【資料16】 過去3年間 大和大学求人状況一覧

○ 理工学部理工学科

前述の人材需要の社会的な動向等に記載の通り、理工系人材養成はまさに社会の要請であり、特に、本学が位置する関西地域には、全国第2位の数の製造業事業所が集中している。

本学部学科の第1期の令和6(2024)年3月卒業生の就職実績をみると、卒業生218名のうち、154名(70.6%)が就職、49名(22.5%)が進学、計203名(93.1%)が就職・進学を果たしている【資料15上段】。

さらに、本学部学科の第1期生(昨年度)の求人状況をみると、令和6(2024)年3月卒業生218名に対して、求人件数6,745件、求人数12,427人(求人倍率57.0倍)【資料16】と、定員を大きく上回る求人数を得ており、この度の定員変更による増加分を十分満たす人材需要があるものとする。

【資料15】 理工学部 理工学科 卒業生就職実績

【資料16】 過去3年間 大和大学求人状況一覧

○ 情報学部情報学科

前述の人材需要の社会的な動向等に記載の通り、IT人材の養成はまさに社会の要請であり、特に、本学が位置する関西地域では、2025年には必要なIT人材のわずか38%の確保にとどまるとの予測がある。

本学部学科は、令和5(2023)年4月に開設で現時点、卒業生はいないが、既設組織の理工学部理工学科情報科学専攻が、令和6年3月に第1期卒業生を輩出しており、その就職実績をみると卒業生65名のうち、56名(86.2%)が就職、8名(12.3%)が進学、計64名(98.5%)が就職・進学を果たしている【資料15下段】。

さらに、求人状況について、既設組織の理工学部理工学科情報科学専攻の第1期生をみると、令和6(2024)年3月卒業生65名に対して、求人件数2,976件、求人数5,337(求人倍率82.1倍)人【資料16】と、定員を大きく上回る求人数を得ており、この度の定員変更による増加分を十分満たす人材需要があるものと考ええる。

【資料15】 理工学部 理工学科 卒業生就職実績

【資料16】 過去3年間 大和大学求人状況一覧

(4) 収容定員を増加する組織の定員設定の理由

○ 保健医療学部看護学科

前述の現行組織における入学定員充足状況、1年次入学生の競合校の入学定員充足状況、及び本学科の優位性、また、現行の本学科の学びにおいて編入学生の学びを展開することによる教員組織、教育課程、施設負担を考慮し、編入学定員を10名に設定した。

○ 理工学部理工学科

前述の現行組織における入学定員充足状況、競合校の入学定員充足状況の分析を基礎に、この度、専攻改編を行い、情報科学専攻の学びを情報学部に一本化するとともに、「電気電子」「機械工学」系統専攻に情報に関する学びを継承し、新たに理工の学びを基礎とする「生物生命」の学びを展開すること、また、本学部学科の優位性に対する考慮、そして、この度の定員増に対応し施設設備の充実を図ることを念頭に、入学定員を295名に設定した。

○ 情報学部情報学科

前述の現行組織における入学定員充足状況、競合校の入学定員充足状況の分析を基礎

に、この度、理工学部理工学科情報科学専攻の学びを情報学部に一本化すること、及び、本学部学科の優位性を考慮するとともに、この度の定員増に対応し施設設備の充実を図ることを念頭に、入学定員を 250 名に設定した。

資 料 目 次

資料 1	看護職員の需給推計（都道府県別）	… p.3
資料 2	人口 10 万対の府内二次医療圏別 就業看護職員数	… p.4
資料 3	製造業事業所数の上位 20 都道府県	… p.5
資料 4	確実に不足する AI、IoT 人材	… p.6
資料 5	18 歳人口と高等教育機関への進学率等の推移	… p.7
資料 6	都道府県別 人口増減率	… p.8
資料 7	都道府県別 階層別人口	… p.9
資料 8	都道府県別 出生数増減率	… p.10
別紙 1	収容定員を増加する組織が置かれる都道府県への入学状況	… p.11
資料 9	本学における出身高校の所在地別入学者数	… p.12
別紙 2－1	各学部学科の既設学科等の入学定員・収容定員の充足状況 （直近 5 年間） 教育学部教育学	… p.13
別紙 2－2	各学部学科の既設学科等の入学定員・収容定員の充足状況 （直近 5 年間） 保健医療学部看護学科	… p.14
別紙 2－3	各学部学科の既設学科等の入学定員・収容定員の充足状況 （直近 5 年間） 保健医療学部総合リハビリテーション学科	… p.15
別紙 2－4	各学部学科の既設学科等の入学定員・収容定員の充足状況 （直近 5 年間） 政治経済学部政治・政策学科	… p.16
別紙 2－5	各学部学科の既設学科等の入学定員・収容定員の充足状況 （直近 5 年間） 政治経済学部経済経営学科	… p.17

別紙 2－6	各学部学科の既設学科等の入学定員・収容定員の充足状況 (直近 1 年間) 政治経済学部グローバルビジネス学科 … p.18
別紙 2－7	各学部学科の既設学科等の入学定員・収容定員の充足状況 (直近 5 年間) 理工学部理工学科 … p.19
別紙 2－8	各学部学科の既設学科等の入学定員・収容定員の充足状況 (直近 5 年間) 社会学部社会学 … p.20
別紙 2－9	各学部学科の既設学科等の入学定員・収容定員の充足状況 (直近 2 年間) 情報学部情報学科 … p.21
別紙 3－1	既設学科等の学生募集のための PR 活動の過去の実績 (大和大学保健医療学部) … p.22
別紙 3－2	既設学科等の学生募集のための PR 活動の過去の実績 (大和大学理工学部) … p.24
別紙 3－3	既設学科等の学生募集のための PR 活動の過去の実績 (大和大学情報学部) … p.26
資料 1 0	大和大学「保健医療学部 看護学科」4 年次編入学についての アンケート調査報告書 … p.28
資料 1 1	大和大学理工学部理工学科収容定員の変更に係る学生確保の 見通し調査報告 … p.40
資料 1 2	6 月 1 5 日オープンキャンパス理工学部参加者アンケート集 計結果 … p.53
資料 1 3	6 月 1 5 日オープンキャンパス情報学部参加者アンケート集 計結果 … p.54
資料 1 4	保健医療学部 看護学科 卒業生就職実績 … p.55
資料 1 5	理工学部 理工学科 卒業生就職実績 … p.56
資料 1 6	過去 3 年間の本学に対する求人状況 … p.57

資料 1 看護職員の需給推計（都道府県別）

（第2回看護師等確保基本指針検討部会 参考資料2（令和5年7月7日）看護師等（看護職員）の確保を巡る状況
医療従事者の需給に関する検討会看護職員需給分科会中間とりまとめ（概要版）より

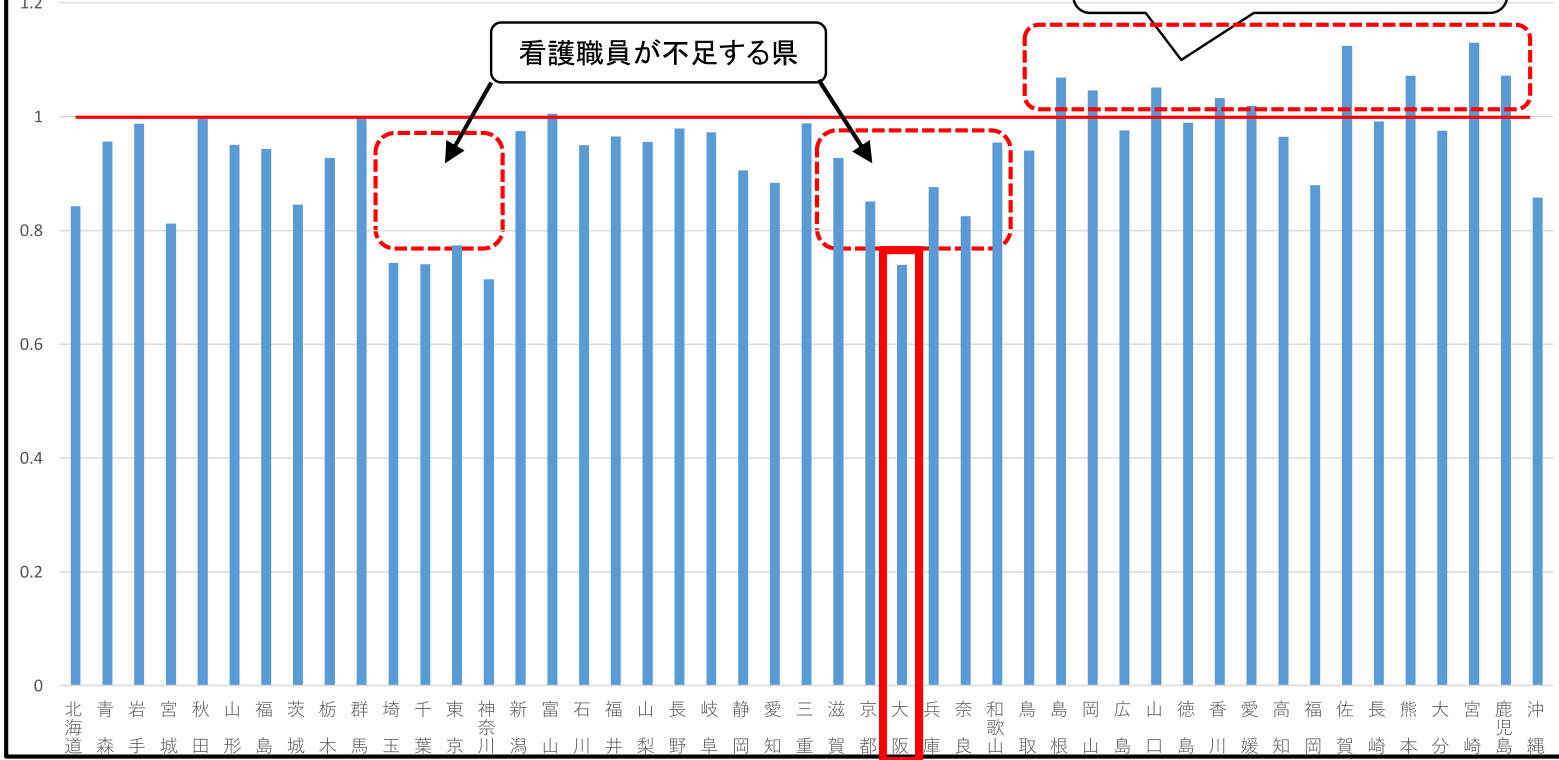
看護職員の需給推計結果（都道府県別）

○ 都道府県別でみた場合、都心部や東北地方では依然として都道府県内全体として看護職員需要数が供給のそれを上回り、看護職員不足となる一方で、一部の都道府県において2016年時点のその県における看護職員総数より需要数が少ない推計結果となるところも生じている。

【各都道府県別の2016年度と2025年度（シナリオ②）の比較（2016年度／2025年度（シナリオ②））】

※ 1より低ければ、2025年度（シナリオ②）は2016年度現在より看護職員数不足

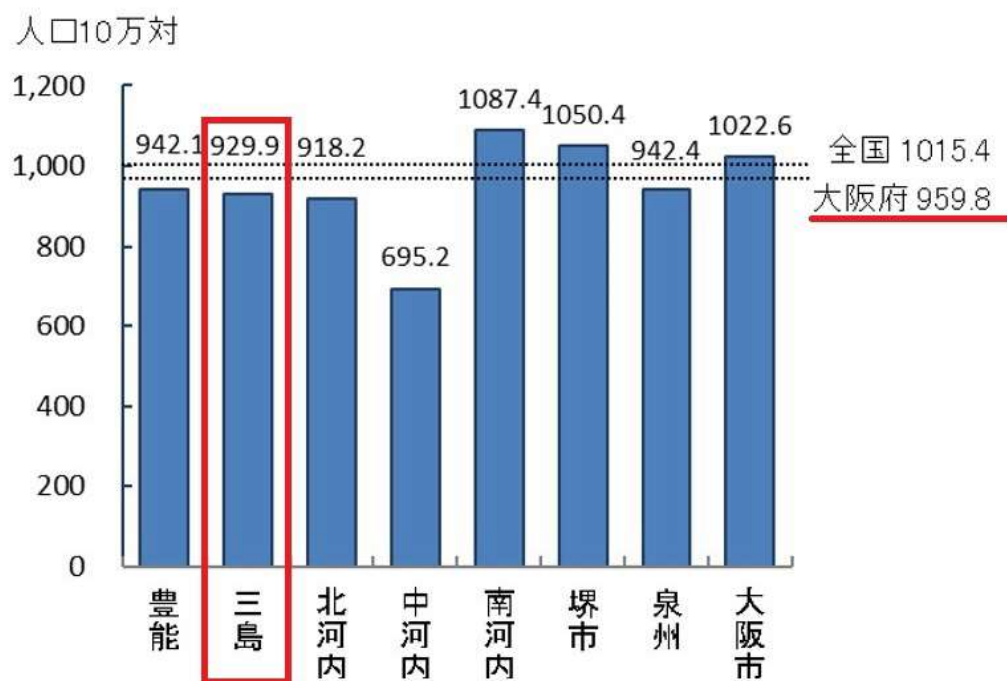
2025年地域医療構想実現時
需要<現職員数（2016年）



【資料2】人口10万対の府内二次医療圏別 就業看護職員数

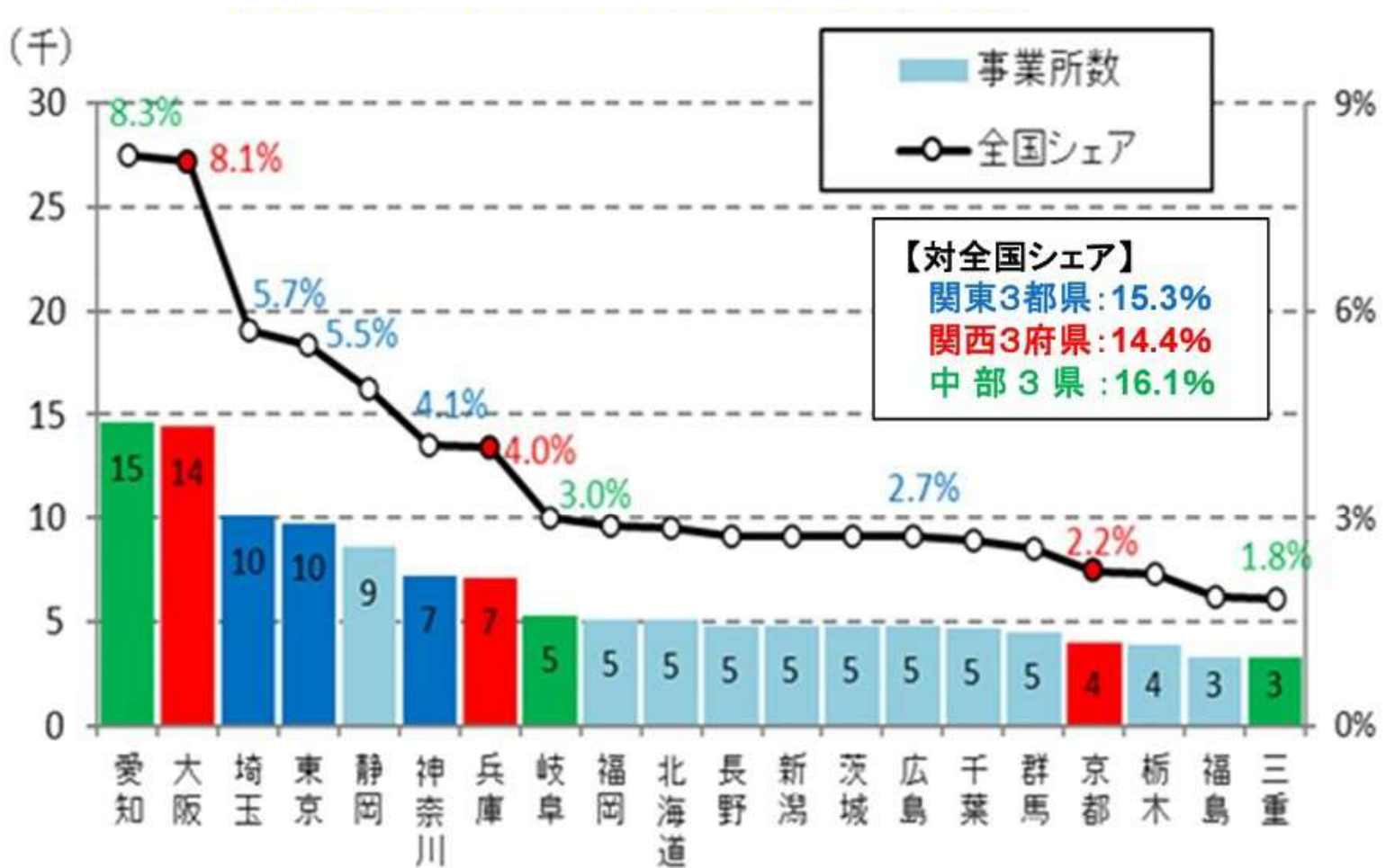
(第8次大阪府医療計画(2024年3月29日更新) 保健医療従事者の確保と資質の向上 看護職員の確保と資質の向上に関する現状と課題より)

看護師



出典 厚生労働省「衛生行政報告例」、大阪府「医療対策課調べ」

【資料3】 製造業事業所数の上位20都道府県



資料: 総務省・経済産業省「令和3年経済センサス活動調査」

1 （書類等の題名）

確実に不足する AI、IoT 人材【資料 4】6 ページ

2 （出典）

荒木秀之 戸泉巧 著（りそな総合研究所）

3 （引用範囲）

「りそな関西経済 Research 2017 06 号」（りそな総合研究所）
(2 ページから 7 ページ)

4 （その他の説明）

該当箇所を赤線で囲んだり、アンダーラインを引いた。

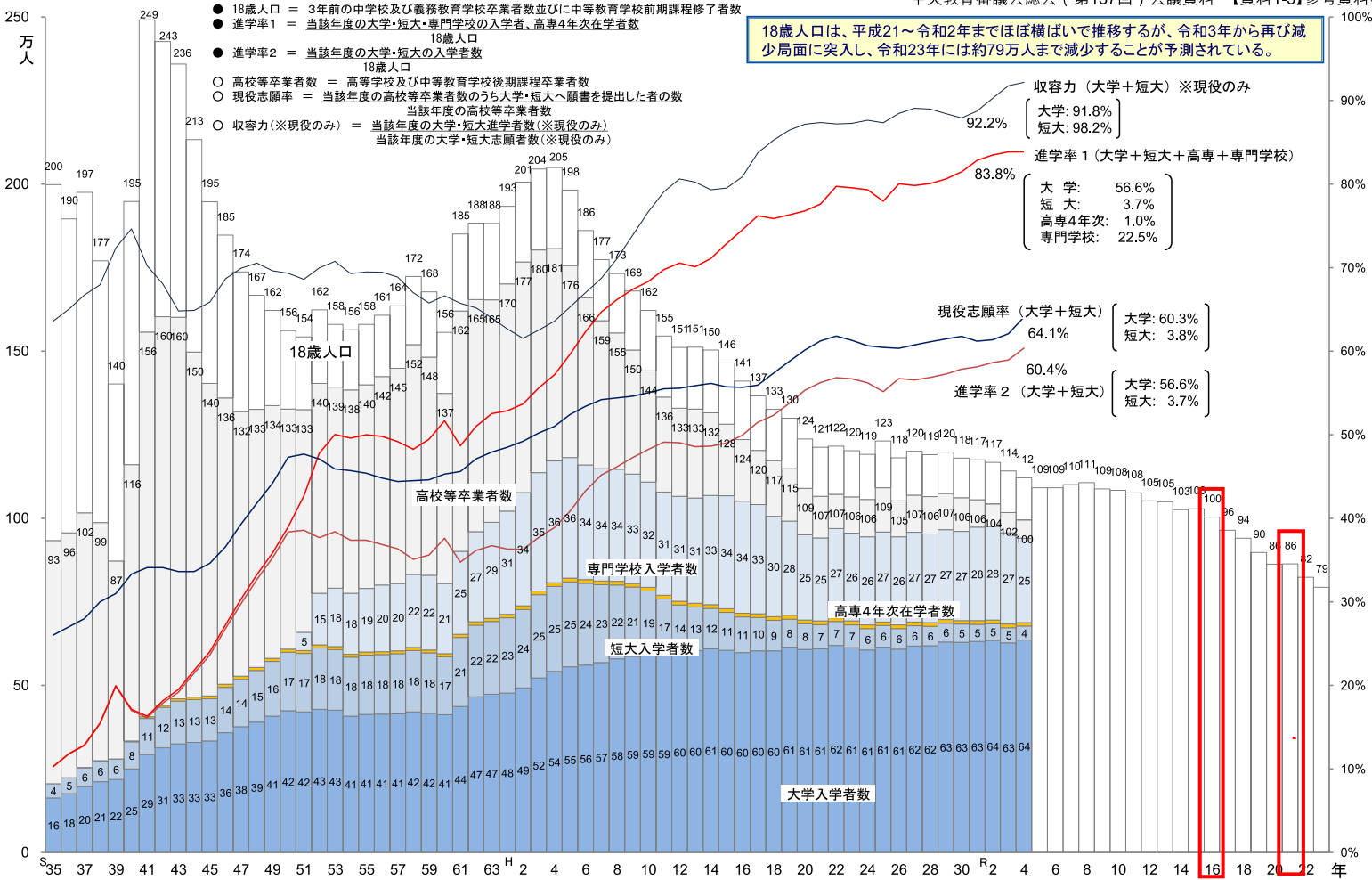
【資料5】

18歳人口と高等教育機関への進学率等の推移

中央教育審議会総会（第137回）会議資料 【資料1-3】参考資料集

18歳人口は、平成21～令和2年までほぼ横ばいで推移するが、令和3年から再び減少局面に突入し、令和23年には約79万人まで減少することが予測されている。

- 18歳人口 = 3年前の中学校及び義務教育学校卒業生並びに中等教育学校前期課程修了者数
- 進学率1 = 当該年度の大学・短大・専門学校の入学数、高専4年次在学者数
- 進学率2 = 当該年度の大学・短大の入学数
- 高校等卒業生数 = 高等学校及び中等教育学校後期課程卒業生数
- 現役志願率 = 当該年度の高校等卒業生数のうち大学・短大へ願書を提出した者の数
- 収容力（※現役のみ） = 当該年度の大学・短大進学率（※現役のみ）
当該年度の大学・短大志願者数（※現役のみ）



出典: 文部科学省「学校基本統計」。令和5～23年については国立社会保障・人口問題研究所「日本の将来推計人口(令和5年推計)(出生中位・死亡中位)」を基に作成。

※進学率、現役志願率については、小数点以下第2位を四捨五入しているため、内訳の計と合計が一致しない場合がある。

【資料6】都道府県別 人口増減率

(総務省統計局データより作成)

	平成25年 2013年	平成30年 2018年	令和5年 2023年	増減率 2013～2023	増減率 2018～2023
全国	127,293,595	126,497,622	124,394,592	97.72%	98.34%
北海道	5,430,909	5,285,430	5,091,680	93.75%	96.33%
青森県	1,336,155	1,262,686	1,184,531	88.65%	93.81%
岩手県	1,294,453	1,240,522	1,163,024	89.85%	93.75%
宮城県	2,328,143	2,313,215	2,263,552	97.23%	97.85%
秋田県	1,050,244	980,694	913,556	86.99%	93.15%
山形県	1,141,260	1,089,806	1,026,228	89.92%	94.17%
福島県	1,947,580	1,865,143	1,766,358	90.70%	94.70%
茨城県	2,933,381	2,882,943	2,826,047	96.34%	98.03%
栃木県	1,987,119	1,952,926	1,895,031	95.37%	97.04%
群馬県	1,984,334	1,949,440	1,900,840	95.79%	97.51%
埼玉県	7,221,806	7,322,645	7,331,296	101.52%	100.12%
千葉県	6,193,007	6,268,585	6,273,530	101.30%	100.08%
東京都	13,286,735	13,843,403	14,099,993	106.12%	101.85%
神奈川県	9,081,742	9,179,835	9,229,713	101.63%	100.54%
新潟県	2,330,797	2,245,057	2,126,276	91.23%	94.71%
富山県	1,076,158	1,050,246	1,006,367	93.51%	95.82%
石川県	1,159,015	1,142,965	1,109,574	95.73%	97.08%
福井県	794,492	773,731	744,568	93.72%	96.23%
山梨県	845,956	818,391	795,544	94.04%	97.21%
長野県	2,120,076	2,063,403	2,004,785	94.56%	97.16%
岐阜県	2,053,286	1,999,406	1,929,669	93.98%	96.51%
静岡県	3,715,901	3,656,487	3,553,518	95.63%	97.18%
愛知県	7,434,996	7,539,185	7,480,897	100.62%	99.23%
三重県	1,829,063	1,790,376	1,727,503	94.45%	96.49%
滋賀県	1,416,952	1,412,881	1,406,103	99.23%	99.52%
京都府	2,620,210	2,591,779	2,536,995	96.82%	97.89%
大阪府	8,860,280	8,824,566	8,774,574	99.03%	99.43%
兵庫県	5,556,788	5,483,450	5,369,834	96.64%	97.93%
奈良県	1,383,549	1,340,070	1,295,681	93.65%	96.69%
和歌山県	979,354	934,051	891,620	91.04%	95.46%
鳥取県	577,642	560,517	537,318	93.02%	95.86%
島根県	702,237	679,626	649,235	92.45%	95.53%
岡山県	1,930,446	1,899,739	1,846,525	95.65%	97.20%
広島県	2,840,211	2,819,962	2,739,446	96.45%	97.14%
山口県	1,420,003	1,368,495	1,296,593	91.31%	94.75%
徳島県	769,844	736,475	694,841	90.26%	94.35%
香川県	985,387	961,900	925,408	93.91%	96.21%
愛媛県	1,405,051	1,351,510	1,291,198	91.90%	95.54%
高知県	745,070	705,880	666,293	89.43%	94.39%
福岡県	5,090,712	5,111,494	5,106,912	100.32%	99.91%
佐賀県	839,615	819,110	794,385	94.61%	96.98%
長崎県	1,396,481	1,339,438	1,266,334	90.68%	94.54%
熊本県	1,801,495	1,756,442	1,707,747	94.80%	97.23%
大分県	1,178,775	1,142,943	1,096,235	93.00%	95.91%
宮崎県	1,120,450	1,079,873	1,041,150	92.92%	96.41%
鹿児島県	1,679,848	1,612,800	1,547,710	92.13%	95.96%
沖縄県	1,416,587	1,448,101	1,468,375	103.66%	101.40%

主な募集地域の平均	
増減率 2013～2023	増減率 2018～2023
97.83%	98.68%

【資料 7】 令和5(2023)年度 都道府県別・年齢階層別人口データ

令和5年住民基本台帳年齢階層別人口（都道府県別）
総務省一住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数

	年齢階層別人口（千人）					若年人口（総数比率）			
	総数	0～4歳	5～9歳	10～14歳	15～19歳	0～4歳	5～9歳	10～14歳	15～19歳
全国	125,416,877	4,279,321	5,050,711	5,401,790	5,588,774	3.41%	4.03%	4.31%	4.46%
北海道	5,139,913	149,077	182,693	201,090	212,820	2.90%	3.55%	3.91%	4.14%
青森県	1,225,497	34,273	43,090	47,498	51,271	2.80%	3.52%	3.88%	4.18%
岩手県	1,189,670	33,460	43,633	48,736	51,326	2.81%	3.67%	4.10%	4.31%
宮城県	2,257,472	72,753	90,026	96,797	102,024	3.22%	3.99%	4.29%	4.52%
秋田県	941,021	22,795	29,597	34,711	37,075	2.42%	3.15%	3.69%	3.94%
山形県	1,042,396	31,203	38,873	43,604	46,339	2.99%	3.73%	4.18%	4.45%
福島県	1,818,581	55,627	70,733	74,381	82,200	3.06%	3.89%	4.09%	4.52%
茨城県	2,879,808	91,315	112,899	123,867	131,119	3.17%	3.92%	4.30%	4.55%
栃木県	1,929,434	61,372	76,366	83,394	88,401	3.18%	3.96%	4.32%	4.58%
群馬県	1,930,976	61,481	73,987	83,300	90,275	3.18%	3.83%	4.31%	4.68%
埼玉県	7,381,035	251,006	296,053	313,412	326,767	3.40%	4.01%	4.25%	4.43%
千葉県	6,310,075	212,996	248,756	265,828	277,122	3.38%	3.94%	4.21%	4.39%
東京都	13,841,665	485,192	542,560	533,613	538,024	3.51%	3.92%	3.86%	3.89%
神奈川県	9,212,003	314,975	365,671	388,859	404,397	3.42%	3.97%	4.22%	4.39%
新潟県	2,163,908	65,589	81,016	90,139	94,578	3.03%	3.74%	4.17%	4.37%
富山県	1,028,440	32,453	38,266	42,004	45,704	3.16%	3.72%	4.08%	4.44%
石川県	1,117,303	38,367	45,645	49,098	53,049	3.43%	4.09%	4.39%	4.75%
福井県	759,777	26,712	31,134	34,631	36,224	3.52%	4.10%	4.56%	4.77%
山梨県	812,615	26,442	30,810	33,712	37,662	3.25%	3.79%	4.15%	4.63%
長野県	2,043,798	66,943	80,879	89,126	94,699	3.28%	3.96%	4.36%	4.63%
岐阜県	1,982,294	64,712	79,960	89,873	94,510	3.26%	4.03%	4.53%	4.77%
静岡県	3,633,773	116,532	143,997	160,475	166,116	3.21%	3.96%	4.42%	4.57%
愛知県	7,512,703	284,070	327,637	349,092	354,638	3.78%	4.36%	4.65%	4.72%
三重県	1,772,427	58,984	70,582	78,543	82,171	3.33%	3.98%	4.43%	4.64%
滋賀県	1,413,989	54,697	64,666	69,766	70,696	3.87%	4.57%	4.93%	5.00%
京都府	2,501,269	82,572	98,152	105,893	115,439	3.30%	3.92%	4.23%	4.62%
大阪府	8,784,421	308,340	344,546	369,230	389,956	3.51%	3.92%	4.20%	4.44%
兵庫県	5,459,867	188,332	225,120	244,302	251,881	3.45%	4.12%	4.47%	4.61%
奈良県	1,325,385	42,026	51,444	57,241	62,116	3.17%	3.88%	4.32%	4.69%
和歌山県	924,469	28,833	34,966	38,636	40,166	3.12%	3.78%	4.18%	4.34%
鳥取県	546,558	19,558	22,997	24,175	25,353	3.58%	4.21%	4.42%	4.64%
島根県	658,809	22,823	27,548	29,084	29,935	3.46%	4.18%	4.41%	4.54%
岡山県	1,865,478	67,260	78,510	83,916	86,935	3.61%	4.21%	4.50%	4.66%
広島県	2,770,623	98,100	117,434	127,099	128,400	3.54%	4.24%	4.59%	4.63%
山口県	1,326,218	41,926	50,664	56,556	58,609	3.16%	3.82%	4.26%	4.42%
徳島県	718,879	22,497	27,243	29,439	30,721	3.13%	3.79%	4.10%	4.27%
香川県	956,787	32,065	39,016	42,281	44,047	3.35%	4.08%	4.42%	4.60%
愛媛県	1,327,185	41,632	51,508	57,707	58,954	3.14%	3.88%	4.35%	4.44%
高知県	684,964	20,718	25,052	27,248	29,386	3.02%	3.66%	3.98%	4.29%
福岡県	5,104,921	197,014	229,561	239,333	235,304	3.86%	4.50%	4.69%	4.61%
佐賀県	806,877	30,815	36,317	39,368	39,093	3.82%	4.50%	4.88%	4.84%
長崎県	1,306,060	45,791	55,098	58,953	59,017	3.51%	4.22%	4.51%	4.52%
熊本県	1,737,946	65,656	77,957	82,386	80,222	3.78%	4.49%	4.74%	4.62%
大分県	1,123,525	37,662	45,658	49,690	50,390	3.35%	4.06%	4.42%	4.48%
宮崎県	1,068,838	39,252	47,124	51,428	49,720	3.67%	4.41%	4.81%	4.65%
鹿児島県	1,591,699	59,183	71,194	76,664	73,264	3.72%	4.47%	4.82%	4.60%
沖縄県	1,485,526	74,197	84,017	85,579	80,519	4.99%	5.66%	5.76%	5.42%

主な募集地域の平均

若年人口（総数比率）			
0～4歳	5～9歳	10～14歳	15～19歳
3.48%	4.02%	4.34%	4.53%

本学の主な募集地域（大阪府、兵庫県）

人口総数 14,244,288
11.36%

【資料8】 都道府県別・出生数対比データ

「人口動態調査」厚生労働省 人口動態・保健社会統計室データより

	令和4(2022)年	平成24(2012)年	増減率 2012～2022
全国	770,750	1,037,164	74.31%
北海道	26,407	38,686	68.26%
青森	5,985	9,168	65.28%
岩手	5,788	9,276	62.40%
宮城	12,852	18,707	68.70%
秋田	3,992	6,543	61.01%
山形	5,674	8,212	69.09%
福島	9,709	13,770	70.51%
茨城	15,905	22,896	69.47%
栃木	10,518	15,973	65.85%
群馬	10,688	14,914	71.66%
埼玉	43,451	56,943	76.31%
千葉	36,966	48,881	75.62%
東京	91,097	107,401	84.82%
神奈川	56,498	75,477	74.85%
新潟	11,732	17,476	67.13%
富山	6,022	7,880	76.42%
石川	7,075	9,544	74.13%
福井	4,861	6,712	72.42%
山梨	4,759	6,336	75.11%
長野	12,143	16,661	72.88%
岐阜	11,124	16,496	67.43%
静岡	20,575	30,810	66.78%
愛知	51,152	67,913	75.32%
三重	10,489	14,729	71.21%
滋賀	9,766	13,236	73.78%
京都	15,068	20,111	74.92%
大阪	57,315	73,012	78.50%
兵庫	33,565	46,436	72.28%
奈良	7,315	10,565	69.24%
和歌山	5,238	7,424	70.55%
鳥取	3,752	4,771	78.64%
島根	4,161	5,585	74.50%
岡山	12,371	16,279	75.99%
広島	17,903	24,846	72.06%
山口	7,762	10,797	71.89%
徳島	4,148	5,744	72.21%
香川	5,802	8,161	71.09%
愛媛	7,572	11,130	68.03%
高知	3,721	5,266	70.66%
福岡	35,970	45,815	78.51%
佐賀	5,552	7,440	74.62%
長崎	8,364	11,723	71.35%
熊本	11,875	15,996	74.24%
大分	6,798	9,650	70.45%
宮崎	7,136	9,858	72.39%
鹿児島	10,540	14,841	71.02%
沖縄	13,594	17,074	79.62%

主な募集地域の平均

増減率
2012～2022

75.39%

収容定員を増加する組織が置かれる都道府県への入学状況

別紙 1

○出身高校の所在地県別の入学者数の構成比(上位5都道府県)

	都道府県名	人 数	構成比
1	大阪府	28,156人	49.3%
2	兵庫県	7,486人	13.1%
3	京都府	3,156人	5.5%
4	奈良県	2,919人	5.1%
5	和歌山県	1,657人	2.9%
	全 体	57,089人	100.0%

※「学校基本調査」の「出身高校の所在地県別入学者数」から作成すること。

※大学、学部、学部の学科、短期大学、短期大学の学科を設置する場合のみ作成（専門職大学、専門職短期大学、高等専門学校を含む）。大学院は作成不要。

○収容定員を増加する組織が置かれる都道府県の定員充足状況

	新組織所在地 (都道府県)	充足率		
		令和3年度	令和4年度	令和5年度
1	大阪府	103.58%	102.69%	101.65%

※2校地で教育課程を実施する場合はそれぞれの状況を記載すること。

○収容定員を増加する組織の学問分野（系統区分）の定員充足状況

	系統区分	充足率		
		令和3年度	令和4年度	令和5年度
1	保健系（大学）	99.97%	99.28%	96.79%
2	理・工学系（大学）	100.90%	104.35%	101.88%
3	社会科学系（大学）	101.56%	102.73%	102.70%

※「系統区分」は日本私立学校振興・共済事業団の「今日の私学財政」の系統区分に従うこと。

【資料9】 本学における出身高校の所在地別入学者数データ

本学入学者数（保健医療学部看護学科）データ

単位：名

高校の所在地	2022年度	2023年度	2024年度	過去3年間の平均値
合計	110	126	140	125
滋賀県	5	5	5	5
京都府	3	3	4	3
大阪府	80	91	100	90
兵庫県	14	13	18	15
奈良県	2	2	1	2
その他	8	14	12	11

本学入学者率（保健医療学部看護学科）データ

高校の所在地	2022年度	2023年度	2024年度	過去3年間の平均値
滋賀	4.5%	4.0%	3.6%	4.0%
京都	2.7%	2.4%	2.9%	2.7%
大阪	72.7%	72.2%	71.4%	72.1%
兵庫	12.7%	10.3%	12.9%	12.0%
奈良県	1.8%	1.6%	0.7%	1.4%
その他	7.3%	11.1%	8.6%	9.0%

本学入学者数（理工学部理工学科）データ

単位：名

高校の所在地	2022年度	2023年度	2024年度	過去3年間の平均値
合計	255	253	249	252
滋賀	8	10	7	8
京都	9	10	7	9
大阪	155	150	148	151
兵庫	47	47	45	46
奈良	9	8	9	9
その他	36	36	33	35

本学入学者率（理工学部理工学科）データ

高校の所在地	2022年度	2023年度	2024年度	過去3年間の平均値
滋賀	3.1%	4.0%	2.8%	3.3%
京都	3.5%	4.0%	2.8%	3.4%
大阪	60.8%	59.3%	59.4%	59.8%
兵庫	18.4%	18.6%	18.1%	18.4%
奈良	3.5%	3.2%	3.6%	3.4%
その他	14.1%	14.2%	13.3%	13.9%

本学入学者数（情報学部情報学科）データ

単位：名

高校の所在地	2022年度	2023年度	2024年度	過去3年間の平均値
合計	開設前	256	182	219
滋賀		10	8	9
京都		11	5	8
大阪		146	98	122
兵庫		41	34	38
奈良		18	12	15
その他		48	25	37

本学入学者率（情報学部情報学科）データ

高校の所在地	2022年度	2023年度	2024年度	過去3年間の平均値
滋賀	開設前	3.9%	4.4%	4.2%
京都		4.3%	2.7%	3.5%
大阪		57.0%	53.8%	55.4%
兵庫		16.0%	18.7%	17.3%
奈良		7.0%	6.6%	6.8%
その他		18.8%	13.7%	16.2%

1 （書類等の題名）

既設学科等の入学定員の充足状況（13 ページ～21 ページ）

2 （出典）

文部科学省当該申請における指定様式 2

3 （引用範囲）

各選抜方法の状況

4 （その他の説明）

入試に関する内部資料であり公表を差し控えた

既設学科等の学生募集のためのPR活動の過去の実績

別紙 3 - 1

①募集を行った学科等名称及び取組の名称：大和大学保健医療学部オープンキャンパス

	R4年度入試	R5年度入試	R6年度入試	取組概要と入学者数等に関する分析
参加者等総数 (a)	1431人	1813人	1317人	①取組概要 本学志望者を対象としてキャンパスを開放し、各学部の特徴の紹介、模擬講義、在学生との懇談、入試個別相談、キャンパスツアー（施設案内）を実施。 R6年度入試対象（R5開催）：計7回開催（6/10. 7/08. 8/04. 8/05. 9/16. 12/09） R5年度入試対象（R4開催）：計7回開催（6/11. 7/23. 8/05. 8/06. 9/17. 12/10） R4年度入試対象（R3開催）：計7回開催（6/12. 7/24. 8/06. 8/07. 9/25. 12/11） ②過去の取組実績を踏まえた収容定員を増加する組織の入学者数の見込みに関する分析 オープンキャンパス参加者数目標は、過去3年間のオープンキャンパス平均参加者数（受験対象者）から、約904人と設定する。 $(858+1061+792) / 3 = 903.6$ うち編入対象者参加者数目標は、本学部入学定員及び当該編入定員数の割合から、約39人と設定する。 $904 \times 10 / (220 + 10) = 39.3人$ 過去3年間の平均入学者数から入学者見込数を算定すると約248人となるため、編入定員10名は十分満たすと考え。 $(232+247+264) / 3 = 248$
うち受験対象者数 (b)	858人	1061人	792人	
うち受験者数 (c)	301人	371人	290人	
うち入学者数 (d)	135人	169人	133人	
(受験率 c/b)	35.1%	35.0%	36.6%	
(入学率 d/b)	15.7%	15.9%	16.8%	
入学者数	232人	247人	264人	
入学者の内のオープンキャンパスに参加した入学者の割合	58.2%	68.4%	50.4%	

②募集を行った学科等名称及び取組の名称：大和大学保健医療学部の大学案内の配布（郵送）

	R4年度入試	R5年度入試	R6年度入試	取組概要と入学者数等に関する分析
資料請求等総数 (a)	24,291件	37,377件	36,515件	①取組概要 本学を志望し、本学の大学案内資料を請求した者に対し、本学より資料を郵送。 また、日々の資料請求者に対し定期的（下記実施時期）に、本学の教育の取り組みの様子、入試に関する情報等を郵送する方法で提供している。 R6年度入試対象（R5実施）：計2回実施（4月下旬：新パンフレット発送、6月下旬：入試ガイド発送） R5年度入試対象（R4実施）：計2回実施（4月下旬：新パンフレット発送、6月下旬：入試ガイド発送） R4年度入試対象（R3実施）：計2回実施（4月下旬：新パンフレット発送、6月下旬：入試ガイド発送） ②過去の取組実績を踏まえた収容定員を増加する組織の入学者数の見込みに関する分析 資料請求者数目標は、過去3年間の平均資料請求者数（受験対象者）から、約5,206人と設定する。 $(3882+5625+6112) / 3 = 5,206$ うち編入対象者の資料請求者数目標は、本学部入学定員及び当該編入定員数の割合から、約226人と設定する。 $5206 \times 10 / (220 + 10) = 226.3$ 過去3年間の平均入学者数から入学者見込数を算定すると約248人となるため、編入定員10名は十分満たすと考え。 $(232+247+264) / 3 = 248$
うち受験対象者数 (b)	3882人	5625人	6112人	
うち受験者数 (c)	598人	928人	876人	
うち入学者数 (d)	210人	208人	211人	
(受験率 c/b)	15.4%	16.5%	14.3%	
(入学率 d/b)	5.4%	3.7%	3.5%	
入学者数	232人	247人	264人	
入学者の内の資料請求した割合	90.5%	84.2%	79.9%	

③募集を行った学科等名称及び取組の名称：大和大学保健医療学部看護学科のホームページアクセス数

	R4年度入試	R5年度入試	R6年度入試	取組概要と入学者数等に関する分析
ホームページアクセス数 (a)	24,500アクセス	20,631アクセス	34,083アクセス	①取組概要 本学の教育の最新情報を伝える手段として、ホームページを活用している。その情報更新計画として、1週間に一度、各学部、各部署から集めた原稿をもとに、TOPICSとして最新情報をアップしている。 また、専属のホームページ制作担当者が、日々、学年歴等を確認し、本学の教育の様子を取材し、同じくホームページにTOPICSとしてアップしている。 ②過去の取組実績を踏まえた収容定員を増加する組織の入学者数の見込みに関する分析 ホームページアクセス数の目標は、過去3年間の平均アクセス数から、約26,400件と設定する。 (過去3年間の平均アクセス数) $(24,500 + 20,631 + 34,083) / 3 = 26,404.6$
うち受験対象者数 (b)	—	—	—	
うち受験者数 (c)	—	—	—	
うち入学者数 (d)	—	—	—	
(受験率 c/b)	—	—	—	
(入学率 d/b)	—	—	—	
入学者数	110人	126人	140人	
入学者の内の資料請求した割合	—	—	—	

①募集を行った学科等名称及び取組の名称：大和大学理工学部のオープンキャンパス

	R4年度入試	R5年度入試	R6年度入試	取組概要と入学者数等に関する分析
参加者等総数(a)	599人	673人	501人	①取組概要 本学志望者を対象としてキャンパスを開放し、各学部の特徴の紹介、模擬講義、在学生との懇談、入試個別相談、キャンパスツアー（施設案内）を実施。 R6年度入試対象（R5開催）：計7回開催（6/10. 7/08. 8/04. 8/05. 9/16. 12/09） R5年度入試対象（R4開催）：計7回開催（6/11. 7/23. 8/05. 8/06. 9/17. 12/10） R4年度入試対象（R3開催）：計7回開催（6/12. 7/24. 8/06. 8/07. 9/25. 12/11）
うち受験対象者数(b)	339人	375人	286人	②過去の取組実績を踏まえた収容定員を増加する組織の入学者数の見込みに関する分析 オープンキャンパス参加者（受験対象者）の目標人数は、過去3年間のオープンキャンパス平均参加者数、及び収容定員変更に伴う入学定員の増加率（1.28倍）から、 約427人 に設定する。 （過去3年間の平均参加者数（受験対象者数）×（入学定員の対前年度増加率）） $(339+375+286) / 3 \times 1.28 = 426.6$ 人 また、この目標人数をもとに、過去3年間の平均入学率、及び、入学者のうちオープンキャンパスに参加した人数の過去3年間の割合から入学者見込数（X）を算定すると 約326人 になる。 （入学者の内のオープンキャンパスに参加した入学者の割合（過去3年間の平均））＝（オープンキャンパス見込み者数×過去3年間の平均入学率）／X $(21.6+23.7+21.7) / 3 = (427 \times ((16.2+16.0+18.9) / 3)) / X$ X＝約326.1 入学見込数：約326人（＞295人（収容定員変更後の入学定員））
うち受験者数(c)	121人	133人	120人	
うち入学者数(d)	55人	60人	54人	
（受験率 c/b）	35.7%	35.5%	42.0%	
（入学率 d/b）	16.2%	16.0%	18.9%	この入学見込数は、変更後の入学定員295人をはるかに超える数値であり、入学定員確保は十分できるものと考ええる。
入学者数	255人	253人	249人	
入学者の内のオープンキャンパスに参加した入学者の割合	21.6%	23.7%	21.7%	

②募集を行った学科等名称及び取組の名称：大和大学理工学部の大学案内の配布（郵送）

	R4年度入試	R5年度入試	R6年度入試	取組概要と入学者数等に関する分析
資料請求等総数(a)	25,498件	39,541件	39,681件	①取組概要 本学を志望し、本学の大学案内資料を請求した者に対し、本学より資料を郵送。 また、日々の資料請求者に対し定期的（下記実施時期）に、本学の教育の取り組みの様子、入試に関する情報等を郵送する方法で提供している。 R7年度入試対象（R6実施）：計2回実施予定（4月下旬：新パンフレット発送、6月下旬：入試ガイド発送） R6年度入試対象（R5実施）：計2回実施（4月下旬：新パンフレット発送、6月下旬：入試ガイド発送） R5年度入試対象（R4実施）：計2回実施（4月下旬：新パンフレット発送、6月下旬：入試ガイド発送） R4年度入試対象（R3実施）：計2回実施（4月下旬：新パンフレット発送、6月下旬：入試ガイド発送）
うち受験対象者数(b)	3,481人	6,636人	7,069人	②過去の取組実績を踏まえた収容定員を増加する組織の入学者数の見込みに関する分析 資料請求者数（受験対象者）の目標数は、過去3年間の平均請求者数、及び収容定員変更に伴う入学定員の増加率（1.28倍）から、 約7,332件 と設定する。 （過去3年間の平均資料請求者数（受験対象者数）×（入学定員の対前年度増加率）） $(3,481+6,636+7,069) / 3 \times 1.28 = 7,332.7$ 件 また、この目標数をもとに、過去3年間の平均入学率、及び、入学者のうち資料請求をした人数の過去3年間の割合から入学者見込数を算定すると 約353人 になる。 （入学者の内の資料請求をした割合（過去3年間の平均））＝（資料請求見込み者数×過去3年間の平均入学率）／X $(70.6+78.7+81.5) / 3 = (7332 \times ((5.2+3.0+2.9) / 3)) / X$ X＝352.6 入学見込数：約353人（＞295人（収容定員変更後の入学定員）） この入学見込数は、変更後の入学定員295人をはるかに超える数値であり、入学定員確保は十分できるものと考ええる。
うち受験者数(c)	470人	825人	996人	
うち入学者数(d)	180人	199人	203人	
（受験率 c/b）	13.5%	12.4%	14.1%	
（入学率 d/b）	5.2%	3.0%	2.9%	
入学者数	255人	253人	249人	
入学者の内の資料請求した割合	70.6%	78.7%	81.5%	

③募集を行った学科等名称及び取組の名称：大和大学理工学部ホームページアクセス数

	R4年度入試	R5年度入試	R6年度入試	取組概要と入学者数等に関する分析
ホームページアクセス数(a)	48,262アクセス	34,625アクセス	76,620アクセス	①取組概要 本学の教育の最新情報を伝える手段として、ホームページを活用している。 その情報更新計画として、1週間に一度、各学部、各部署から集めた原稿をもとに、TOPICSとして最新情報をアップしている。 また、専属のホームページ制作担当者が、日々、学年歴等を確認し、 本学の教育の様子を取材し、同じくホームページにTOPICSとしてアップしている。 ホームページアクセス数の目標は、過去3年間の平均アクセス数、及び収容定員の変更に 伴う入学定員の増加率（1.28倍）から、約68,000件と設定する。 （過去3年間の平均アクセス数×入学定員の対前年度増加率） $(48,262+34,625+76,620) / 3 \times 1.28 = 68,056.3$
うち受験対象者数(b)	—	—	—	
うち受験者数(c)	—	—	—	
うち入学者数(d)	—	—	—	
(受験率 c/b)	—	—	—	
(入学率 d/b)	—	—	—	
入学者数	255人	253人	249人	
入学者の内の資料請求した割合	—	—	—	

①募集を行った学科等名称及び取組の名称：大和大学情報学部オープンキャンパス

	R5年度入試	R6年度入試	取組概要と入学者数等に関する分析
参加者等総数(a)	599人	693人	①取組概要 本学志望者を対象としてキャンパスを開放し、各学部の特徴の紹介、模擬講義、在学生との懇談、入試個別相談、キャンパスツアー（施設案内）を実施。 R6年度入試対象（R5開催）：計7回開催（6/10. 7/08. 8/04. 8/05. 9/16. 12/09） R5年度入試対象（R4開催）：計7回開催（6/11. 7/23. 8/05. 8/06. 9/17. 12/10） R4年度入試対象（R3開催）：計7回開催（6/12. 7/24. 8/06. 8/07. 9/25. 12/11）
うち受験対象者数(b)	339人	390人	②過去の取組実績を踏まえた収容定員を増加する組織の入学者数の見込みに関する分析 オープンキャンパス参加者（受験対象者）の目標人数は、過去2年間のオープンキャンパス平均参加者数、及び収容定員変更に伴う入学定員の増加率（1.25倍）から、 約456人 に設定する。
うち受験者数(c)	119人	137人	（過去2年間の平均参加者数（受験対象者数）×（入学定員の対前年度増加率）） $(339+390)/2 \times 1.25 = 455.6$ 人
うち入学者数(d)	54人	65人	また、この目標人数をもとに、過去3年間の平均入学率、及び、入学者のうちオープンキャンパスに参加した人数の過去2年間の割合から入学者見込数（X）を算定すると 約262人 になる。 $(\text{入学者の内のオープンキャンパスに参加した入学者の割合（過去2年間の平均）}) = (\text{オープンキャンパス見込み者数} \times \text{過去3年間の平均入学率}) / X$ $(21.1+35.7)/2 = (456 \times ((15.9+16.7)/2)) / X$ $X = 261.7$
（受験率 c/b）	35.1%	35.1%	入学者見込数：約262人（>250人（収容定員変更後の入学定員））
（入学率 d/b）	15.9%	16.7%	この入学者見込数は、変更後の入学定員250人をはるかに超える数値であり、入学定員確保は十分できるものとする。
入学者数	256人	182人	
入学者の内のオープンキャンパスに参加した入学者の割合	21.1%	35.7%	

②募集を行った学科等名称及び取組の名称：大和大学情報学部の大学案内の配布（郵送）

	R5年度入試	R6年度入試	取組概要と入学者数等に関する分析
資料請求等総数(a)	34,000件	34,454件	①取組概要 本学を志望し、本学の大学案内資料を請求した者に対し、本学より資料を郵送。 また、日々の資料請求者に対し定期的（下記実施時期）に、本学の教育の取り組みの様子、入試に関する情報等を郵送する方法で提供している。 R7年度入試対象（R6実施）：計2回実施予定（4月下旬：新パンフレット発送、6月下旬：入試ガイド発送） R6年度入試対象（R5実施）：計2回実施（4月下旬：新パンフレット発送、6月下旬：入試ガイド発送） R5年度入試対象（R4実施）：計2回実施（4月下旬：新パンフレット発送、6月下旬：入試ガイド発送） R4年度入試対象（R3実施）：計2回実施（4月下旬：新パンフレット発送、6月下旬：入試ガイド発送）
うち受験対象者数(b)	2,667人	4,121人	②過去の取組実績を踏まえた収容定員を増加する組織の入学者数の見込みに関する分析 資料請求者数（受験対象者）の目標数は、過去3年間の平均請求者数、及び収容定員変更に伴う入学定員の増加率（1.28倍）から、 約4,243件 と設定する。
うち受験者数(c)	651人	846人	（過去2年間の平均資料請求者数（受験対象者数）×（入学定員の対前年度増加率）） $(2,667+4,121)/2 \times 1.25 = 4,242.5$ 件
うち入学者数(d)	238人	176人	また、この目標数をもとに、過去2年間の平均入学率、及び、入学者のうち資料請求をした人数の過去2年間の割合から入学者見込数を算定すると 約295人 になる。 $(\text{入学者の内の資料請求をした割合（過去2年間の平均）}) = (\text{資料請求見込み者数} \times \text{過去2年間の平均入学率}) / X$ $(93.0+96.7)/2 = (4243 \times ((8.9+4.3)/2)) / X$ $X = 295.2$
（受験率 c/b）	24.4%	20.5%	入学者見込数：約295人（>250人（収容定員変更後の入学定員））
（入学率 d/b）	8.9%	4.3%	この入学者見込数は、変更後の入学定員250人をはるかに超える数値であり、入学定員確保は十分できるものとする。
入学者数	256人	182人	
入学者の内の資料請求した割合	93.0%	96.7%	

③募集を行った学科等名称及び取組の名称：大和大学情報学部 ホームページアクセス数

	R5年度入試	R6年度入試	取組概要と入学者数等に関する分析
ホームページアクセス数(a)	62,435アクセス	112,363アクセス	①取組概要 本学の教育の最新情報を伝える手段として、ホームページを活用している。その情報更新計画として、1週間に一度、各学部、各部署から集めた原稿をもとに、TOPICSとして最新情報をアップしている。 また、専属のホームページ制作担当者が、日々、学年歴等を確認し、本学の教育の様子を取材し、同じくホームページにTOPICSとしてアップしている。 ホームページアクセス数の目標は、過去2年間の平均アクセス数、及び収容定員の変更に伴う入学定員の増加率（1.25倍）から、約109,000件と設定する。 （過去2年間の平均アクセス数×入学定員の対前年度増加率） $(62,435+112,363) / 2 \times 1.25 = 109,248.8$
うち受験対象者数(b)	—	—	
うち受験者数(c)	—	—	
うち入学者数(d)	—	—	
(受験率 c/b)	—	—	
(入学率 d/b)	—	—	
入学者数	256人	182人	
入学者の内の資料請求した割合	—	—	

【資料 10】

大和大学「保健医療学部 看護学科」
4 年次編入学についてのアンケート調査
報告書

令和6年6月
株式会社高等教育総合研究所

目 次

1. 4 年次編入学についてのアンケート調査 概要	3
2. 4 年次編入学についてのアンケート調査 集計結果	4
3. 4 年次編入学についてのアンケート調査 結果の要点	5
(添付資料)	
4 年次編入学についてのアンケート調査用紙	8
大和大学 保健医療学部 看護学科 4 年次編入学制度の概要	10
アンケート依頼先一覧	11

1. 4年次編入学についてのアンケート調査 概要

調査目的	令和7年(2025年)度に大和大学が4年次編入学を受け入れ開始予定の大和大学保健医療学部看護学科(編入学定員10名)における志願者・入学者等の学生確保の見込みを測定することを目的とした。
調査対象	3年制の看護専門学校・短期大学に在学し、令和6年度時点で3年の学生(令和7年3月卒業予定者)
調査内容	・回答者の基本情報(居住地、性別) ・卒業後の希望進路 ・希望する大学等の設置者 ・興味のある学問分野 ・大和大学保健医療学部への受験・編入学意向
調査時期	令和6年5月
調査方法	教職員の監督のもと実施し、その場で回収した。
回収件数	有効回答数106件(専門学校1校・短期大学1校の合計2校から実施協力を得た)

3. 4年次編入学についてのアンケート調査 集計結果

※「構成比」(%)はいずれも、小数点第二位を四捨五入。

問1 あなたの現在の居住地をお答えください。

選択肢		回答数	構成比
1	奈良県	36	34.0%
2	大阪府	63	59.4%
3	京都府	3	2.8%
4	兵庫県	0	0.0%
5	和歌山県	1	0.9%
6	滋賀県	0	0.0%
7	その他	2	1.9%
	無回答	1	0.9%
合計		106	100.0%

問2 あなたの性別をお答えください。

選択肢		回答数	構成比
1	女性	101	95.3%
2	男性	4	3.8%
3	回答しない	0	0.0%
	無回答	1	0.9%
合計		106	100.0%

問3 あなたは、在籍校卒業後の進路をどのように考えていますか。現在検討している進路すべてにマークしてください。
(複数選択可能)

※複数回答項目のため、回答数はのべ／構成比＝各回答数÷全回答者106人

選択肢		回答数	構成比
1	①大学への編入学	7	6.6%
2	②専攻科への進学	78	73.6%
3	③就職	35	33.0%
4	④その他	2	1.9%

問4は問3で「大学への編入学」「専攻科への進学」のいずれか又は複数を選択した53人が回答対象。

問3で①～④を選択した方に質問です。(※問3で①～④を選択しなかった方は問6に進んでください)
志望する大学等の設置者の希望を選択してください。現在希望している設置者すべてにマークをしてください。

※複数回答項目のため、回答数はのべ／構成比＝各回答数÷回答対象者数53人

選択肢		回答数	構成比
1	私立	74	139.6%
2	公立	15	28.3%
3	国立	8	15.1%

問5 所属校を卒業後、学びたいと考えている興味のある学問分野を次の中からすべて選択してください。
(複数選択可能)

※複数回答項目のため、回答数はのべ／構成比＝各回答数÷回答対象者53人

選択肢		回答数	構成比
保健	1 看護学	61	115.1%
	2 医学	2	3.8%
	3 歯学	0	0.0%
	4 薬学	3	5.7%
	5 保健その他	25	47.2%
人文科学	6 文学	1	1.9%
	7 史学	0	0.0%
	8 哲学	0	0.0%
	9 心理学	10	18.9%
	10 人文科学その他	0	0.0%
社会科学	11 法学・政治学	2	3.8%
	12 経済学	1	1.9%
	13 商学・経営学	0	0.0%
	14 社会学	1	1.9%
	15 社会科学その他	0	0.0%
理学	16 数学	1	1.9%
	17 物理学	0	0.0%
	18 化学	0	0.0%
	19 生物	3	5.7%
	20 理学その他	0	0.0%
工学	21 機械工学	0	0.0%
	22 電気通信工学	0	0.0%
	23 土木建築工学	0	0.0%
	24 応用化学	0	0.0%
	25 工学その他	0	0.0%
農学	26 農学	0	0.0%
	27 農芸化学	0	0.0%
	28 農業経済学	0	0.0%
	29 獣医学	1	1.9%
	30 農学その他	0	0.0%
商船	31 商船	0	0.0%
家政	32 家政学	0	0.0%
	33 食物学	1	1.9%
	34 家政その他	0	0.0%
教育	35 教育学	4	7.5%
	36 小学校課程	2	3.8%
	37 中・高校課程	0	0.0%
	38 体育学	0	0.0%
	39 教育その他	1	1.9%
芸術	40 芸術	2	3.8%
	41 デザイン	4	7.5%
	42 音楽	4	7.5%
	43 芸術その他	1	1.9%
その他	44 環境学	1	1.9%
	45 国際関係学	6	11.3%
	46 情報学	0	0.0%
	47 その他	0	0.0%

問6以降は「大和大学 保健医療学部 看護学科 4年次編入学制度の概要」を確認の上で回答を求めた。

問 6 大和大学 保健医療学部 看護学科の4年次編入学試験の受験を希望しますか。次より1つ選択してください。

選択肢		回答数	構成比
1	①第一志望として受験する	6	5.7%
2	②第二志望として受験する	23	21.7%
3	③第三志望以降として受験する	8	7.5%
4	④受験しない	68	64.2%
	無回答	1	0.9%
合計		106	100.0%

問7は問6で「第一志望として受験する」「第二志望として受験する」「第三志望以下として受験する」を選択した37人が回答対象。

上記、問6で①～④を選択した方に質問です。大和大学 保健医療学部 看護学科の4年次編入学試験を受験して合格した場合、入学を希望しますか。次より1つ選択してください。

選択肢		回答数	構成比
1	編入学する	14	37.8%
2	志望順位が上位の他の志望校が不合格の場合に編入学する	23	62.2%
3	編入学しない	0	0.0%
	無回答	0	0.0%
合計		37	100.0%

3. 4年次編入学についてのアンケート調査 結果の要点

要点1) 大和大学保健医療学部 看護学科への受験・編入学意向

アンケート回答者合計106名のうち、37名（回答者全体の34.9%）より受験意向（第一志望～第三志望以下）が示された。合格した場合、「編入学する」は14名、「志望順位が上位の他の志望校が不合格の場合に編入学する」は23名で、合計37名であった。

問6（受験意向）の結果

第一志望として受験する	6名	5.7%	37名	34.9%
第二志望として受験する	23名	21.7%		
第三志望以下として受験する	8名	7.5%		
合計	106名			100.0%

問7（編入学意向）の結果

【全体】

編入学する	14名	37.8%	37名	100.0%
志望順位が上位の他の志望校が不合格の場合に編入学する	23名	62.2%		
合計	37名			100.0%

【問6で「第一志望として受験する」】

編入学する	5名	83.3%	6名	100.0%
志望順位が上位の他の志望校が不合格の場合に編入学する	1名	16.7%		
合計	6名			100.0%

【問6で「第二志望として受験する」】

編入学する	7名	30.4%	23名	100.0%
志望順位が上位の他の志望校が不合格の場合に編入学する	16名	69.6%		
合計	23名			100.0%

【問6で「第三志望以下として受験する」】

編入学する	2名	25.0%	8名	100.0%
志望順位が上位の他の志望校が不合格の場合に編入学する	6名	75.0%		
合計	8名			100.0%

要点2) クロス集計

「卒業後の希望進路」(問3)、「学校の設置者種別」(問4)、「興味のある学問分野」(問5)、「受験意向」(問6)、「編入学意向」(問7)の5重クロス集計を行ったところ、「大学への編入学」または「専攻科への進学」を希望し、「私立大学を希望」し、「看護学」に興味を持ち、大和大学保健医療学部 看護学科4年次編入学試験を「受験意向」の回答者は20名いた。その上で編入学意向を示した者は20名いた(「編入学する」「志望順位が上位の他の志望校が不合格の場合に編入学する」の合計)。

[クロス集計表]

回答者合計	[卒業後の希望進路] (問3)	[学校の設置者種別] (問4)	[興味のある学問分野] (問5)	[受験意向] (問6)	[編入学意向] (問7)
回答者合計 106名	「大学への編入学」 または 「専攻科への進学」 いずれか または両方選択 79名	「私立」 74名	「看護」 53名	「受験する (第一志望)」 2名	「編入学する」 2名
				「受験する (第二志望)」 16名	「編入学する」 6名
					「志望順位が上位の他の志望校が不合格の場合に編入学する」 10名
				「受験する (第三志望)」 2名	「編入学する」 1名
					「志望順位が上位の他の志望校が不合格の場合に編入学する」 1名
				5重クロスを行ってもなお、入学定員増後の編入学10名を上回る20名が受験意欲。 20名が編入学意欲 ※大和大学白鳳短期大学部からの結果に留まり、他校からも入学者確保の可能性。	

※表の面積は回答者数を示すものではない。

以上

大和大学 保健医療学部 看護学科 4 年次編入学についてのアンケート調査

大和大学では、2025 年 4 月より保健医療学部看護学科において 4 年次編入学の受け入れを構想中です。別紙の概要をご覧くださいの上、同学科への編入学意向に関する調査にご協力をお願いします。なお、この調査の結果は、統計資料としてのみ用い、他の用途に使用することはありません。また、設置計画は予定であり、今後変更となる可能性があります。

※このアンケート調査は大和大学から委託された第三者機関（株式会社高等教育総合研究所）が実施しています。

※本アンケートおよび別紙概要に記載されている内容については予定であり、変更される可能性があります。

記入要領	1. 回答は 所定の欄を塗りつぶしてください 。 2. この用紙は電算処理しますので汚さないようにしてください。 3. 記入は必ず 鉛筆及びシャープペンシル で濃く書いてください。	【記入例】 ☒ ① 大学 ☐ ② 短期大学
------	--	---

◆最初にあなた自身についてお聞きます。

問 1 あなたの現在の居住地をお答えください。

☐ 奈良県 ☐ 大阪府 ☐ 京都府 ☐ 兵庫県 ☐ 和歌山県 ☐ 滋賀県 ☐ その他

問 2 あなたの性別をお答えください。

☐ 女性 ☐ 男性 ☐ 回答しない

◆在籍校卒業後の進路や、興味のある学びについてお聞きます。

問 3 あなたは、在籍校卒業後の進路をどのように考えていますか。現在検討している進路すべてにマークしてください。（複数選択可能）

☐ ① 大学への編入学 ☐ ② 専攻科への進学 ☐ ③ 就職 ☐ ④ その他

問 4 問 3 で①～②を選択した方に質問です。（※問 3 で①～②を選択しなかった方は問 6 に進んでください）

志望する大学等の設置者の希望を選択してください。現在希望している設置者すべてにマークをしてください。

（複数選択可能）

☐ 私立 ☐ 公立 ☐ 国立

→裏面に続く

問5 所属校を卒業後、学びたいと考えている興味のある学問分野を次の中からすべて選択してください。
(複数選択可能)。

保健	人文科学	社会科学	理学	工学
☐ 看護学	☐ 文学	☐ 法学・政治学	☐ 数学	☐ 機械工学
☐ 医学	☐ 史学	☐ 経済学	☐ 物理学	☐ 電気通信工学
☐ 歯学	☐ 哲学	☐ 商学・経営学	☐ 化学	☐ 土木建築工学
☐ 薬学	☐ 心理学	☐ 社会学	☐ 生物	☐ 応用化学
☐ 保健その他	☐ 人文科学その他	☐ 社会科学その他	☐ 理学その他	☐ 工学その他
農学	商船	教育	芸術	その他
☐ 農学	☐ 商船	☐ 教育学	☐ 芸術	☐ 環境学
☐ 農芸化学	家政	☐ 小学校課程	☐ デザイン	☐ 国際関係学
☐ 農業経済学	☐ 家政学	☐ 中・高校課程	☐ 音楽	☐ 情報学
☐ 獣医学	☐ 食物学	☐ 体育学	☐ 芸術その他	☐ その他
☐ 農学その他	☐ 家政その他	☐ 教育その他		

ここからは別添・大和大学 保健医療学部 看護学科 4年次編入学制度の概要を見てからお答えください

問6 大和大学 保健医療学部 看護学科の4年次編入学試験の受験を希望しますか。次より1つ選択してください。

☐ ① 第一志望として受験する
 ☐ ④ 受験しない

☐ ② 第二志望として受験する

☐ ③ 第三志望以降として受験する

問7 上記、問6で①～③を選択した方に質問です。大和大学 保健医療学部 看護学科の4年次編入学試験を受験して合格した場合、入学を希望しますか。次より1つ選択してください。

☐ 編入学する

☐ 志望順位が上位の他の志望校が不合格の場合に編入学する

☐ 編入学しない

質問は以上です。ご協力ありがとうございました。

大和大学 保健医療学部 看護学科

4年次編入制度が始まります！

(2025年(令和7年)4月より受け入れ開始を予定)

◆ 制度開始時期

2025年(令和7年)4月予定

◆ 募集学部学科等（編入学定員）

保健医療学部 看護学科（10名）

◆ 設置の理念

高い専門性と幅広い視野を授けるとともに、豊かな人間性を涵養し、一人ひとりの「ひと」を見つめ、学術文化の向上と社会の発展に貢献しようとする人材を育成する

◆ 編入学の要件

以下の①②の要件をともに満たす者とする。

- ① 2025年3月末時点で、看護系の大学、短期大学または専修学校専門課程での在籍期間が3年間以上ある者。
- ② 2025年3月末時点で、看護師国家試験を合格している者（看護師免許取得者を含む）。

◆ アドミッションポリシー

保健医療学部看護学科では、以下の能力・資質を備えた学生を入学者として受け入れる。

- ① 人間・健康・医療に関心を持つ人
- ② 看護学を学ぶ強い意欲と基礎学力を持つ人
- ③ 思いやりの心を持って他人と接することができる人
- ④ 自己研鑽と他者との協力によって社会に貢献しようとする人

◆ 養成する人材像

看護学について、理論及び応用の研究を行うとともに、十分な知識と技能を有し、保健医療の実践を担うことができる应用能力と豊かな人間性・社会性を備えた看護師を育成する。

◆ 授与学位

学士(看護学)

◆ 想定される卒業後の進路

医療機関・福祉施設等への就職／大学院への進学

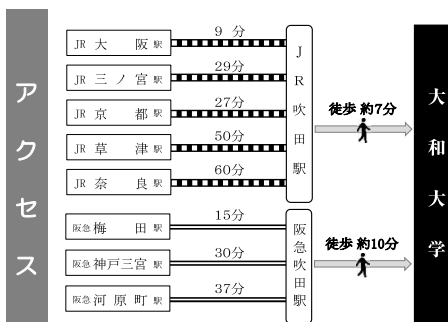
(単位:円)

大学名・学部名 所在地	入学金	授業料等	合計
大和大学 保健医療学部 (4年次編入) 大阪府吹田市片山町2-5-1	200,000	1,760,000	1,960,000

※ 系列校からの編入学生には入学金減免制度があります。
※ 金額は予定のため、変更となる場合があります。詳しくは2025年度編入学試験要項(2024年10月頃ホームページで公表予定)にてご確認ください。

【参考】編入学制度を設ける他大学看護学科(3年次編入)

- 京都看護大学看護学部看護学科(京都市)
- 藍野大学医療保健学部看護学科(大阪府茨木市)
- 関西福祉大学看護学部看護学科(兵庫県赤穂市)



アンケート依頼先一覧

番号	高校名	番号	高校名
1	愛仁会看護助産専門学校	45	奈良県医師会看護専門学校
2	大阪医療看護専門学校	46	奈良県病院協会看護専門学校
3	大阪医専	47	阪奈中央看護専門学校 看護学科
4	大阪医療センター附属看護学校	48	関西学研医療福祉学院 看護学科
5	大阪警察病院看護専門学校	49	京都中央看護保健大学校
6	大阪済生会中津看護専門学校	50	京都第二赤十字看護専門学校
7	大阪済生会野江看護専門学校	51	京都保健衛生専門学校
8	大阪病院附属看護専門学校	52	近畿高等看護専門学校
9	大阪府病院協会看護専門学校	53	京都第一赤十字看護専門学校
10	大阪保健福祉専門学校	54	洛和会京都厚生学校
11	南大阪看護専門学校	55	京都府医師会看護専門学校
12	行岡医学技術専門学校	56	独立行政法人国立病院機構京都医療センター附属京都看護助産学校
13	ベガサス大阪南看護学校	57	大和大学白鳳短期大学部
14	関西看護専門学校		
15	近畿大学附属看護専門学校		
16	錦秀会看護専門学校		
17	香里ヶ丘看護専門学校		
18	ピーエル学園衛生看護専門学校		
19	パナソニック健康保険組合立松下看護専門学校		
20	公益財団法人浅香山病院看護専門学校		
21	泉佐野泉南医師会看護専門学校		
22	大阪労災看護専門学校		
23	河崎会看護専門学校		
24	岸和田市医師会看護専門学校		
25	久米田看護専門学校		
26	堺看護専門学校		
27	清恵会医療専門学院		
28	泉州看護専門学校		
29	南海福祉看護専門学校		
30	ベルランド看護助産大学校		
31	美原看護専門学校		
32	公益社団法人神戸市民間病院協会 神戸看護専門学校		
33	西神看護専門学校		
34	神戸市医師会看護専門学校		
35	独立行政法人労働者健康安全機構 関西労災看護専門学校		
36	公益財団法人尼崎健康医療財団看護専門学校		
37	西宮市医師会看護専門学校		
38	宝塚市立看護専門学校		
39	奈良県立病院機構奈良看護大学校		
40	南奈良看護専門学校		
41	大和高田市立看護専門学校		
42	奈良市立看護専門学校		
43	ハートランドしぎさん看護専門学校		
44	田北看護専門学校		

【資料 1 1】

大和大学「理工学部」
入学定員増構想に係る高校生アンケート調査
報告書

令和6年6月
株式会社高等教育総合研究所

目 次

1. 高校生アンケート調査 概要	3
2. 調査実施高等学校等 一覧	4
2. 高校生アンケート調査 集計結果	5
3. 高校生アンケート調査 結果の要点	8
(添付資料)	
高校生アンケート調査用紙	10
大和大学理工学部概要	12

1. 高校生アンケート調査 概要

調査目的	令和7年(2025年)度に大和大学が入学定員増構想中の大和大学理工学部(入学定員80名)における志願者・入学者等の学生確保の見込みを測定することを目的とした。
調査対象	調査対象: 令和7年3月に高校卒業予定である高校3年生(令和6年度) 調査地域: 大和大学理工学部への志願者実績が多かった主に大阪府を中心とする近畿地方の高等学校381校に高校生アンケートを依頼し、期日までに88校から返送を得た
調査内容	・回答者の基本情報(居住地、性別) ・卒業後の希望進路 ・希望する大学等の設置者 ・興味のある学問分野 ・大和大学理工学部への受験・入学意向
調査時期	令和6年4月～6月
調査方法	調査実施の了承が得られた高校に対しアンケート用紙を送付し、各校の教職員の監督のもと、高校において実施した。(紙方式・web方式での回答方法を案内し、いずれかで回答を依頼)
回収件数	有効回答数5,587件

2. 調査実施高等学校等一覧

番号	高校名	回答者数	番号	高校名	回答者数
1	滋賀県立玉川高等学校	101	45	四天王寺高等学校	123
2	滋賀県立甲西高等学校	37	46	関西福祉科学大学高等学校	20
3	近江兄弟社高等学校	139	47	箕面自由学園高等学校	55
4	京都府立桂高等学校	38	48	常翔学園高等学校	90
5	京都府立亀岡高等学校	46	49	阪南大学高等学校	69
6	京都外大西高等学校	68	50	東大阪大学敬愛高等学校	111
7	龍谷大学付属平安高等学校	36	51	近畿大学泉州高等学校	126
8	京都文教高等学校	26	52	大阪国際高等学校	64
9	京都明德高等学校	171	53	追手門学院高等学校	30
10	大阪府立桜塚高等学校	33	54	大阪青凌高等学校	94
11	大阪府立豊島高等学校	80	55	初芝富田林高等学校	88
12	大阪府立柴島高等学校	45	56	上宮太子高等学校	33
13	大阪府立茨木西高等学校	3	57	天王寺学館高等学校	80
14	大阪府立交野高等学校	36	58	ルネサンス大阪高等学校	19
15	大阪府立布施高等学校	40	59	四天王寺東高等学校	35
16	大阪府立河南高等学校	71	60	兵庫県立鳴尾高等学校	82
17	大阪府立登美丘高等学校	26	61	兵庫県立西宮南高等学校	36
18	大阪府立堺東高等学校	216	62	兵庫県立尼崎北高等学校	38
19	大阪府立金岡高等学校	16	63	兵庫県立明石高等学校	305
20	大阪府立和泉高等学校	36	64	兵庫県立明石南高等学校	36
21	大阪府立佐野高等学校	1	65	兵庫県立福崎高等学校	46
22	大阪府立貝塚南高等学校	42	66	兵庫県立洲本高等学校	36
23	大阪府立東高等学校	77	67	兵庫県立西宮今津高等学校	72
24	大阪府立汎愛高等学校	215	68	兵庫県立東播磨高等学校	18
25	大阪府立いちりつ高等学校	106	69	尼崎市立尼崎高等学校	38
26	大阪府立都島工業高等学校	61	70	伊丹市立伊丹高等学校	57
27	大阪府立久米田高等学校	80	71	兵庫県立須磨東高等学校	68
28	大阪府立狭山高等学校	33	72	兵庫県立伊丹西高等学校	41
29	大阪府立金剛高等学校	112	73	兵庫県立川西北陵高等学校	34
30	大阪府立日根野高等学校	72	74	尼崎市立尼崎双星高等学校	15
31	大阪府立緑風冠高等学校	12	75	神港学園高等学校	50
32	大阪府立咲くやこの花高等学校	74	76	育英高等学校	85
33	プール学院高等学校	52	77	仁川学院高等学校	125
34	大阪夕陽丘学園高等学校	15	78	三田松聖高等学校	37
35	大商学園高等学校	89	79	第一学院高等学校 養父本校	16
36	履正社高等学校	48	80	奈良県立生駒高等学校	38
37	大阪体育大学浪商高等学校	52	81	奈良県立郡山高等学校	36
38	大阪偕星学園高等学校	21	82	奈良県立橿原高等学校	55
39	好文学園女子高等学校	4	83	奈良県立高田高等学校	12
40	初芝立命館高等学校	75	84	奈良育英高等学校	43
41	大阪高等学校	159	85	奈良大学附属高等学校	27
42	大阪女学院高等学校	58	86	智辯学園奈良カレッジ高等部	40
43	東大谷高等学校	5	87	飛鳥未来高等学校	13
44	宣真高等学校	74	88	和歌山県立田辺高等学校	250
		総 計			5,587

3. 高校生アンケート調査 集計結果

※「構成比」(%)はいずれも、小数点第二位を四捨五入。

問1 あなたの現在の居住地をお答えください。

選択肢		回答数	構成比
1	滋賀県	260	4.7%
2	京都府	303	5.4%
3	大阪府	2,803	50.2%
4	兵庫県	1,227	22.0%
5	奈良県	270	4.8%
6	和歌山県	255	4.6%
7	その他	11	0.2%
	無回答	458	8.2%
合計		5,587	100.0%

問2 あなたの性別をお答えください。

選択肢		回答数	構成比
1	男性	2,653	47.5%
2	女性	2,223	39.8%
3	回答しない	184	3.3%
	無回答	527	9.4%
合計		5,587	100.0%

問3 あなたは、卒業後の進路をどのように考えていますか。現在検討している進路すべてお答えください。(複数選択可能)

※複数回答項目のため、回答数はのべ／構成比＝各回答数÷全回答者5,587人

選択肢		回答数	構成比
1	① 大学	4,118	73.7%
2	② 短期大学	139	2.5%
3	③ 専門職大学	82	1.5%
4	④ 専門職短期大学	16	0.3%
5	⑤ 専門学校	563	10.1%
6	⑥ 就職	134	2.4%
7	⑦ その他	50	0.9%

問4は問3で「大学」「短期大学」「専門職大学」「専門職短期大学」のいずれか又は複数を選択した3,026人が回答対象。

問4 問3で①～⑦を選択した方に質問です。(※問3で①～⑦を選択しなかった方は問5に進んでください) 現在希望している進学先の大学について、私立・公立・国立別としてあてはまるものをすべてお答えください。(複数選択可能)

※複数回答項目のため、回答数はのべ／構成比＝各回答数÷回答対象者数3,026人

選択肢		回答数	構成比
1	国立	1,319	43.6%
2	公立	1,301	43.0%
3	私立	3,468	114.6%

問5 高校を卒業後、学びたいと考えている興味のある学問分野をすべてお答えください。（複数選択可能）
※現時点で進学を希望されていない方も進学する場合を想定してお答えください。

※複数回答項目のため、回答数はのべ／構成比＝各回答数÷全回答者5,587人

		選択肢	回答数	構成比
理学	1	数学	351	6.3%
	2	物理学	273	4.9%
	3	化学	292	5.2%
	4	生物	391	7.0%
	5	理学その他	197	3.5%
工学	6	機械工学	558	10.0%
	7	電気通信工学	492	8.8%
	8	土木建築工学	372	6.7%
	9	応用化学	179	3.2%
	10	工学その他	329	5.9%
農学	11	農学	310	5.5%
	12	農芸化学	55	1.0%
	13	農業経済学	36	0.6%
	14	獣医学	105	1.9%
	15	農学その他	78	1.4%
文学	16	文学	282	5.0%
	17	史学	82	1.5%
	18	哲学	77	1.4%
	19	心理学	342	6.1%
	20	人文科学その他	54	1.0%
社会科学	21	法学・政治学	212	3.8%
	22	経済学	532	9.5%
	23	商学・経営学	408	7.3%
	24	社会学	249	4.5%
	25	社会科学その他	55	1.0%
保健	26	医学	212	3.8%
	27	歯学	94	1.7%
	28	薬学	318	5.7%
	29	看護学	445	8.0%
	30	保健その他	281	5.0%
商船	31	商船	52	0.9%
家政	32	家政学	70	1.3%
	33	食物学	182	3.3%
	34	家政その他	24	0.4%
教育	35	教育学	317	5.7%
	36	小学校課程	83	1.5%
	37	中・高校課程	179	3.2%
	38	体育学	110	2.0%
	39	教育その他	62	1.1%
芸術	40	芸術	203	3.6%
	41	デザイン	251	4.5%
	42	音楽	126	2.3%
	43	芸術その他	106	1.9%

問6以降は「大和大学理工学部概要」を確認の上で回答を求めた。

問 6 大和大学「理工学部」の受験を希望しますか。最もあてはまるものを1つお答えください。

選択肢		回答数	構成比
1	第一志望として受験する	66	1.2%
2	第二志望として受験する	123	2.2%
3	第三志望以降として受験する	316	5.7%
4	受験しない	3,577	64.0%
	無回答	1,505	26.9%
合計		5,587	100.0%

問7・8は問6で「第一志望として受験する」「第二志望として受験する」「第三志望以下として受験する」を選択した505人が回答対象。

問 7 上記、問6で①～④を選択した方に質問です。大和大学「理工学部」を受験して合格した場合、入学を希望しますか。最もあてはまるものを1つお答えください。

選択肢		回答数	構成比
1	入学する	83	16.4%
2	志望順位が上位の他の志望校が不合格の場合に入学する	381	75.4%
3	入学しない	11	2.2%
	無回答	30	5.9%
合計		505	100.0%

問 8 大和大学「理工学部」において、最も興味のある専攻を1つお答えください。

選択肢		回答件数	構成比
1	数理学専攻	69	13.7%
2	生物生命科学専攻	94	18.6%
3	機械システム工学専攻	113	22.4%
4	電気電子情報工学専攻	101	20.0%
5	建築学専攻	98	19.4%
	無回答	30	5.9%
合計		505	100.0%

4. 高校生アンケート調査 結果の要点

要点1) 大和大学理工学部への受験・入学意向

アンケート実施合計5,587名のうち、505名（回答者全体の9.0％）で増員後の入学定員295名の1.7倍より受験意向（第一志望～第三志望以下）が示された。
合格した場合、「入学する」は83名、「志望順位が上位の他の志望校が不合格の場合に入学する」は381名で、合計464名あった。

問6（受験意向）の結果

第一志望として受験する	66名	1.2%	505名	9.0%
第二志望として受験する	123名	2.2%		
第三志望以下として受験する	316名	5.7%		
合計	5,587名			100.0%

問7（入学意向）の結果

【全体】

入学する	83名	16.4%	464名	91.8%
志望順位が上位の他の志望校が不合格の場合に入学する	381名	75.4%		
合計	505名			100.0%

【問6で「第一志望として受験する」】

入学する	56名	84.8%	62名	93.9%
志望順位が上位の他の志望校が不合格の場合に入学する	5名	7.6%		
合計	66名			100.0%

【問6で「第二志望として受験する」】

入学する	12名	9.8%	117名	95.1%
志望順位が上位の他の志望校が不合格の場合に入学する	105名	85.4%		
合計	123名			100.0%

【問6で「第三志望以下として受験する」】

入学する	14名	4.4%	285名	90.2%
志望順位が上位の他の志望校が不合格の場合に入学する	271名	85.8%		
合計	316名			100.0%

要点2) クロス集計

「卒業後の希望進路」（問3）、「学校の設置者種別」（問4）、「興味のある学問分野」（問5）、「受験意向」（問6）、「入学意向」（問7）の5重クロス集計を行ったところ、「大学進学を希望」し、「私立大学を希望」し、「理学」または「工学」に属する中分類のいずれか1つ以上を選択を持ち、大和大学理工学部「受験意向」を持つ高校生は306名いた。

その上で入学意向を示した者は290名いた（「入学する」「志望順位が上位の他の志望校が不合格の場合に入学する」の合計）。

【クロス集計表】

回答者合計	[卒業後の希望進路] (問3)	[学校の設置者種別] (問4)	[興味のある学問分野] (問5)	[受験意向] (問6)	[入学意向] (問7)
回答者合計 5,587名	「大学」 4,118名	「私立」 3,026名	「理学」 または 「工学」 に属する 中分類の いずれか 1つ以上を 選択 1,213名	「受験する (第一志望)」 25名	「入学する」 20名
					「志望順位が上位の他の 志望校が不合格の場合に 入学する」 5名
				「受験する (第二志望)」 57名	「入学する」 11名
					「志望順位が上位の他の 志望校が不合格の場合に 入学する」 44名
				「受験する (第三志望)」 224名	「入学する」 10名
					「志望順位が上位の他の 志望校が不合格の場合に 入学する」 200名
				290名が入学 意欲 ※ただし、大 和大学理工学 部の実績校381 校のうち88校 からの結果に	

※表の面積は回答者数を示すものではない。

以上

大和大学「理工学部」構想についての高校生アンケート

大和大学では、2025 年 4 月開設に向けて、理工学部理工学科の入学定員増です。別紙「大和大学理工学部概要」をご覧の上、同学部への進学意向に関する調査にご協力をお願いします。なお、この調査の結果は、統計資料としてのみ使い、他の用途に使用することはありません。また、設置計画は予定であり、今後変更となる可能性があります。

※このアンケート調査は大和大学から委託された第三者機関（株式会社高等教育総合研究所）が実施しています。

※本アンケートおよび「大和大学理工学部概要」に記載されている内容については予定であり、変更される可能性があります。

記入要領	1. 回答は 所定の欄を塗りつぶしてください。 2. この用紙は電算処理しますので汚さないようにしてください。 3. 記入は必ず 鉛筆及びシャープペンシル で濃く書いてください。	【記入例】 ☒ ① 大学 ☐ ② 短期大学
------	---	--

在籍校名 [] 学校

◆最初にあなた自身についてお聞きします。

問1 あなたの現在の居住地をお答えください。

☐ 滋賀県 ☐ 京都府 ☐ 大阪府 ☐ 兵庫県 ☐ 奈良県 ☐ 和歌山県 ☐ その他

問2 あなたの性別をお答えください。

☐ 男性 ☐ 女性 ☐ 回答しない

◆高校卒業後の進路や、興味のある学びについてお聞きします。

問3 あなたは、卒業後の進路をどのように考えていますか。現在検討している進路すべてをお答えください。

(複数選択可能)

☐ ① 大学 ☐ ③ 専門職大学 ☐ ⑤ 専門学校 ☐ ⑦ その他
☐ ② 短期大学 ☐ ④ 専門職短期大学 ☐ ⑥ 就職

問4 **問3で①～④を選択した方に質問です。**(※問3で①～④を選択しなかった方は問5に進んでください)

現在希望している進学先の大学について、私立・公立・国立別としてあてはまるものをすべてお答えください。

(複数選択可能)

☐ 国立 ☐ 公立 ☐ 私立

→裏面に続く

問5 高校を卒業後、学びたいと考えている興味のある学問分野をすべてお答えください。(複数選択可能)
 ※現時点で進学を希望されていない方も進学する場合を想定してお答えください。

理学	工学	農学	人文科学	社会科学
☐ 数学	☐ 機械工学	☐ 農学	☐ 文学	☐ 法学・政治学
☐ 物理学	☐ 電気通信工学	☐ 農芸化学	☐ 史学	☐ 経済学
☐ 化学	☐ 土木建築工学	☐ 農業経済学	☐ 哲学	☐ 商学・経営学
☐ 生物	☐ 応用化学	☐ 獣医学	☐ 心理学	☐ 社会学
☐ 理学その他	☐ 工学その他	☐ 農学その他	☐ 人文科学その他	☐ 社会科学その他
保健	商船	教育	芸術	
☐ 医学	☐ 商船	☐ 教育学	☐ 芸術	
☐ 歯学	☐ 家政	☐ 小学校課程	☐ デザイン	
☐ 薬学	☐ 家政学	☐ 中・高校課程	☐ 音楽	
☐ 看護学	☐ 食物学	☐ 体育学	☐ 芸術その他	
☐ 保健その他	☐ 家政その他	☐ 教育その他		

ここからは別紙「大和大学理工学部概要」を見てからお答えください

問6 大和大学「理工学部」の受験を希望しますか。最もあてはまるものを1つお答えください。

☐ ① 第一志望として受験する
 ☐ ④ 受験しない

☐ ② 第二志望として受験する

☐ ③ 第三志望以降として受験する

問7 上記、問6で①～③を選択した方に質問です。大和大学「理工学部」を受験して合格した場合、入学を希望しますか。最もあてはまるものを1つお答えください。

☐ 入学する
 ☐ 志望順位が上位の他の志望校が不合格の場合に入学する
 ☐ 入学しない

問8 大和大学「理工学部」において、最も興味のある専攻を1つお答えください。。

☐ 数理学専攻
 ☐ 生物生命科学専攻
 ☐ 機械システム工学専攻
 ☐ 電気電子情報工学専攻
 ☐ 建築学専攻

質問は以上です。ご協力ありがとうございました。

以下は大和大学が2025年度に定員増構想中の理工学部概要です。

Faculty of Science and Engineering

理工学部

定員増 230名→295名

専門領域の壁を超えた

幅広い知識と視野を兼ね備えた

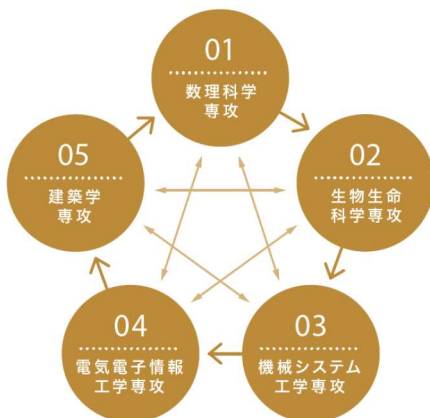
真に社会・企業が求める人材を

育成する理工学部。

Point.1

独自の5専攻融合型カリキュラムで産業界が求める幅広い知識を修得。情報系の学びも充実。

これまでの理工学部では、専門領域以外の学びを深める機会が少ないことが課題でした。しかし、これからの時代、新たな価値を生み出すためには、専門領域の壁を超えた幅広い知識、視野が求められます。そこで、本学ではあえて理工学科1学科の下に「数理科学専攻」、「生物生命科学専攻」、「機械システム工学専攻」、「電気電子情報工学専攻」、「建築学専攻」の5専攻を置くことで専門領域を融合して学べるようにしています。また、劇的なスピードで進化を続ける高度情報化社会に対応できるよう、すべての専攻で情報系の豊富な知識を身につけることができます。



他専攻から自由選択できる科目例 ※一部抜粋

数理科学専攻	生物生命科学専攻	機械システム工学専攻
- 微分方程式 - 数値解析 - 集合と位相 - 離散数学 - 数理統計学 - 応用解析学	- 生命科学と社会 - 分子生物学 - 細胞生物学 - 微生物学 - DNA生物学	- 機械制御工学 - 機械設計基礎 - 流体力学 - 材料力学 - 宇宙システム工学特論 - ロボティクス基礎
など	など	など
電気電子情報工学専攻	建築学専攻	
- 電子回路 - 電磁気学 - 電気通信システム - 半導体・電子デバイス工学 - 電気電子制御工学 - 電気エネルギー工学	- 建築CAD - 建築構造力学 - インテリアデザイン - 耐震設計法 - 都市計画論 - 建築環境工学	など
など	など	

Point.2

日本を代表する企業と連携した実学教育で
社会のニーズを理解し、就職へと直結する実力を身につける

経済界と強い絆を有する本学。多くの企業から、「社会のニーズをしっかりと理解し文系・理系の枠を超えた広い視野を持った人材を育成してほしい」との要請を受け、下記の日本を代表する企業より講師を招き、1年次から政治経済学部と合同で毎週1回の文理融合型実学講座を実施しています。また、各企業から実社会と関係する実践的な課題をいただき、学生がチームを組んで解決に向けて主体的に取り組む Project Based Learning に力を入れています。

連携企業 ※一部抜粋 (50名超)				
アサヒビル株式会社	NTT西日本	大阪ガス	大林組	Kawasaki Powering your potential
関西電力	KINTETSU GROUP HOLDINGS	SUNTORY	JR	住友電工
SEKISUI HOUSE	DAIKIN	NOMURA 野村證券	Daiwa House	竹中工務店
阪急電鉄株式会社	Hitz日立造船	三井住友銀行	MUFG 三菱UFJ銀行	など多数の企業と連携予定。

取得をめざす主な免許・資格

各専攻では、社会に出てから仕事の幅を広げ、業務に役立つ資格取得をサポートします。

数理科学専攻	生物生命科学専攻	機械システム工学専攻
- 基本情報技術者 - 応用情報技術者	- バイオ技術者(上級)^{※1} - バイオ技術者(中級)^{※1} - バイオインフォマティクス技術者^{※1} - 基本情報技術者	1級管工事施工管理技士(受験資格)^{※2} 2級管工事施工管理技士(受験資格)^{※2} 1級建設機械施工技士(受験資格)^{※2} 2級建設機械施工技士(受験資格)^{※2} - ボイラー・タービン主任技術者^{※3} - 消防設備士(受験資格)
など	など	など
電気電子情報工学専攻	建築学専攻	
- 第一種電気主任技術者^{※2} - 電気通信主任技術者(試験一部免除) - 一級陸上特殊無線技士(試験一部免除) - 二級海上特殊無線技士 - 消防設備士(受験資格) 1級電気工事施工管理技士(受験資格) 2級電気工事施工管理技士(受験資格) 1級電気通信工事施工管理技士(受験資格) 2級電気通信工事施工管理技士(受験資格) - 基本情報技術者	- 一級建築士(受験資格)^{※2} - 二級建築士(受験資格) - 測量士(受験資格) 1級建築施工管理技士(受験資格)^{※2} 2級建築施工管理技士(受験資格)^{※2} - インテリアプランナー - インテリアコーディネーター	など
など	など	

※1 生物生命科学専攻で取得できる資格は予定であり変更となる場合があります。
※2 免許登録には卒業後、実務経験
※3 卒業後、実務経験

Point.3

東京大学大学院2名、大阪大学大学院5名など、合計52名合格！
難関国公立大学大学院進学を強力サポート

有名企業、大企業の技術者、研究者のほとんどが国公立大学大学院生から採用されるという実情があります。本学では学生の将来を考え、あえて自ら大学院を設けず、国公立大学大学院への進学を支援しています。他の私立大学には自らの大学院があるため、自学以外の大学院への進学を指導することはありません。本学は全国に類を見ない特色で、東京大学、大阪大学などの難関国公立大学大学院に多くの合格者を輩出しています。

12

就職実績

1期生の就職実績は
関西有名私大に匹敵。
およそ4人に1人が
有名企業に就職。

実就職率

100%

有名企業400社への
実就職率

22.5%



有名企業・大手企業に続々内定!

関西有名私大に匹敵する結果を1期生から達成。

およそ4人に1人が有名人気企業に就職決定!
低学年時からの業界説明会や企業説明会、実際の人事担当者を大学に招いての模擬面接会を実施するなど、本学のきめ細やかなサポートが実を結び、多くの学生が有名人気企業・大手企業に就職を決めています。

主な就職先

企業

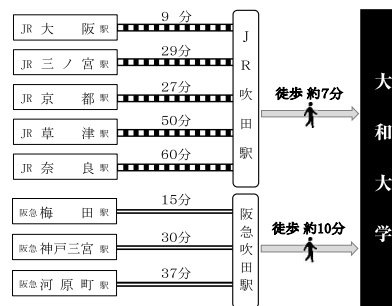
- | | | |
|------------------------|------------------|---------------------|
| ■ 西日本旅客鉄道株式会社 (JR 西日本) | ■ 日本精工株式会社 | ■ 積水ハウス株式会社 |
| ■ 清水建設株式会社 | ■ 株式会社 LIXIL | ■ 三井ホーム株式会社 |
| ■ 高松建設株式会社 | ■ 住友大阪セメント株式会社 | ■ Sky 株式会社 |
| ■ 京セラ株式会社 | ■ SOMPO システム株式会社 | ■ 富士ソフト株式会社 |
| ■ 大和ハウス工業株式会社 | ■ 関西電力株式会社 | ■ ユニチカ株式会社 |
| ■ ミサワホーム株式会社 | ■ 西松建設株式会社 | ■ スミセイ情報システム株式会社 |
| ■ 三菱電機株式会社 | ■ 株式会社熊谷組 | ■ 東京エレクトロン株式会社 など多数 |
| ■ 日立造船株式会社 | ■ シャープ株式会社 | |

公務員

- | | | |
|-------|-------|------------|
| ■ 大阪府 | ■ 奈良県 | ■ 奈良市 など多数 |
|-------|-------|------------|

大和大学理工学部の概要

入学定員増時期	2025年4月(予定)	納付金	入学金200,000円、授業料1,440,000円(年間) 合計1,640,000円
所在地	大阪府吹田市片山町2-5-1		
修業年限	4年		※ 2年次以降は授業料のみ1,570,000円(年間) ※ 金額は予定のため、変更となる場合があります。詳しくは 2025年度入学試験要項にてご確認ください。
入学定員	230名⇒295名を予定 (構想中のため変更となる場合があります)	本学周辺で理工学が学べる大学	関西大学、近畿大学、摂南大学、関西学院大学、立命館大学、同志社大学、京都産業大学 など
学位名称	学士(理学・工学)	本学へのアクセス	
設置の理念	高い専門性と幅広い視野を授けるとともに、豊かな人間性を涵養し、一人ひとりの「ひと」を見つめ、学術文化の向上と社会の発展に貢献しようとする人材を育成する。		
養成する人材像	豊かな発想力・創造力と理工学の深い知識をもち、幅広くものごとを捉えて、高い責任感と倫理観、国際感覚のもとに、新しい科学技術の創成やその利用に関するさまざまな領域で、ものづくりや研究開発、ビジネスに活躍する人材を育成する。		
アドミッションポリシー	①理工分野の高等教育を受けるにふさわしい基礎的学力を有する人。②理工分野に対する関心と、学びへの意欲をもち、課題にねばり強く取り組む姿勢を有する人。③、自ら積極的に関わろうとする姿勢、創造的な発想を有し、人と協力して社会の発展に貢献する意欲のある人。④、幅広い視野で物事を捉え、論理的に思考し、適切に判断することができる人。⑤、感性豊かに物事を捉え、情報をまとめて、伝えたいことを相手に的確に表現することができる人。		



【資料１２】６月１５日オープンキャンパス理工学部参加者アンケート集計結果

（第三者機関実施のアンケート調査で回答があった高等学校以外の高等学校に在籍する現３年生の回答）

	第1志望	第2志望	第3志望以降	受験の予定はない	計
入学する	15	4	0	0	19
志望上位校に不合格 となった場合に入学 する	0	11	17	0	28
入学しない	0	0	0	2	2
計	15	15	17	2	49

参加者数：98名

回答率：50.0%

【資料１３】６月１５日オープンキャンパス情報学部参加者アンケート集計結果

	第1志望	第2志望	第3志望以降	受験の予定はない	計
入学する	22	6	1	1	30
志望上位校に不合格 となった場合に入学 する	2	12	10	0	24
入学しない	0	0	1	0	1
計	24	18	12	1	55

参加者数：137名

回答率：40.1%

【資料 1 4】 卒業生就職実績（保健医療学部看護学科）

4 期生（令和4（2022）年 3 月卒業）

		卒業生数	就職		進学	
			人数	対卒業生	人数	対卒業生
看護学科	男	7	7	100.0%	0	0.0%
	女	99	93	93.9%	2	2.0%
	合計	106	100	94.3%	2	1.9%

5 期生（令和5（2023）年 3 月卒業）

		卒業生数	就職		進学	
			人数	対卒業生	人数	対卒業生
看護学科	男	4	4	100.0%	0	0.0%
	女	106	102	96.2%	4	3.8%
	合計	110	106	96.4%	4	3.6%

6 期生（令和6（2024）年 3 月卒業）

		卒業生数	就職		進学	
			人数	対卒業生	人数	対卒業生
看護学科	男	4	4	100.0%	0	0.0%
	女	114	110	96.5%	2	1.8%
	合計	118	114	96.6%	2	1.7%

【資料 1 5】 卒業生就職実績（理工学部理工学科）

1 期生（令和6（2024）年 3 月卒業

		卒業生数	就職		進学	
			人数	対卒業生	人数	対卒業生
理工学科	男	194	140	72.2%	42	21.6%
	女	24	14	58.3%	7	29.2%
	合計	218	154	70.6%	49	22.5%

		卒業生数	就職		進学	
			人数	対卒業生	人数	対卒業生
内 情報科学専攻	男	56	50	89.3%	5	8.9%
	女	9	6	66.7%	3	33.3%
	合計	65	56	86.2%	8	12.3%

【資料 16】過去 3 年間 大和大学求人状況一覧

		令和4（2022）年3月 卒業生	令和5（2023）年3月 卒業生	令和6（2024）年3月 卒業生
保健医療学部 看護学科	求人件数	1,057	1,116	1,169
	求人数	4,165	4,460	4,725
理工学部 理工学科	求人件数	卒業学年なし	卒業学年なし	6,745
	求人数			12,427
内 理工学部 情報科学専攻	求人件数	卒業学年なし	卒業学年なし	2,976
	求人数			5,337
政治経済学部	求人件数	8,619	8,976	9,116
	求人数	15,612	16,183	17,430
社会学部	求人件数	8,619	8,976	9,116
	求人数	15,612	16,183	17,430
総数（実数）	求人件数	9,030	9,185	16,030
	求人数	18,823	19,356	28,033

※総数以外は、重複件数

教 員 名 簿

学 長 又 は 校 長 の 氏 名 等						
調書 番号	役職名	フリガナ 氏名 ＜就任(予定)年月＞	年齢	保有 学位等	月額基本給 (千円)	現 職 (就任年月)
一	学長	タノセ リョウタロウ 田野瀬良太郎 ＜平成26年4月＞		工学士		学校法人西大和学園 大和大学 学長 (平成26年4月)